

**令和 6 年度
河川水辺の国勢調査結果の概要(事務局案)**

**〔ダム湖版〕
(生物調査編)
〈植物調査結果〉**

令和 8 年 3 月 23 日時点

目次

4. 植物調査の概要	4-1
4.1 調査結果の概要	4-1
(1) 確認種数	4-1
(2) 重要種	4-1
(3) 国外外来種等	4-2
1) 国外外来種の確認状況	4-2
2) 特定外来生物等の確認状況	4-2
4.2 生物多様性	4-16
(1) 特定外来生物等の分布状況（生物多様性への攪乱）	4-16
4.3 ダム管理との関わり（ダム湖周辺の生物相）	4-76
(1) 水位変動域の植物相	4-76
(2) ダム湖周辺の植生	4-85
(3) 新しい環境の植物相	4-105
1) 改変箇所における確認状況	4-105
2) 環境創出箇所における確認状況	4-110
(4) シカの食害状況	4-113
• 分析対象種の確認ダムの経年比較【植物】	4-115
• 令和6年度河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕とりまとめ対象ダム 現地調査実施状況（植物）	
• 令和6年度 とりまとめ対象水系（ダム）位置図（植物）	

1 4. 植物調査の概要

2 4.1 調査結果の概要

3 (1) 確認種数

4 令和6年度に植物相調査を実施した16ダムに、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）
5 を実施した13ダム（内5ダムは両方実施）を合わせた全24ダム^注において178科 2,267種
6 の植物が確認されました。これは、日本の植物として「植物目録（環境庁,1987）」に記載され
7 ている8,118種のうち、約28%に相当します。確認種の内訳は、シダ植物26科 225種、裸子
8 植物5科 27種、基部被子植物（単子葉・真正双子葉以外の被子植物）8科 44種、単子葉植物
9 26科 520種、真正双子葉植物113科 1,451種となっています。また、植物相調査を実施した
10 16ダムでは175科 2,221種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した8ダ
11 ムでは142科 881種が確認されました。確認種数の多いダムは、宮ヶ瀬ダムの143科 1,008
12 種、矢作ダムの142科 800種となっています。

13
14 (注) とりまとめダムについて

15 平成18年度の河川水辺の国勢調査の調査体系の変更に伴い、植物調査では植物相調査、ダム湖環境基図作成調査では、陸域
16 調査（植生図作成調査、群落組成調査、植生断面調査）及び水域調査が実施されました。個別の種に関する分析では、植物調
17 査の結果を用いています。

18 令和6年度は、植物相調査のみ実施したダムが11ダム、植物相調査とダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）の両方を実
19 施したダムが5ダム、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査を含む）のみ実施したダムが8ダムあります。植物調査は、両方
20 を実施した5ダムを含む16ダムを対象として整理しています。両方を実施した5ダムは、植物相調査とダム湖環境基図作成調
21 査の結果を合わせて整理しています。

22 23 (2) 重要種

24 今回とりまとめを行った24ダムにおいて、43科 70種の重要種^注が確認されました。なお、
25 ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した8ダムでは9科9種の重要種が確認
26 されました。

27 植物調査では、確認された重要種のうち、レッドリストのランクごとの内訳をみると、絶滅
28 危惧ⅠA類（CR）がチシマヒメドクサ、絶滅危惧ⅠB類（EN）がクラガリシダ、アオキラン、エ
29 ズトウチソウ、絶滅危惧Ⅱ類（VU）がエゾノヒモカズラ、シラオイエンレイソウ、エゾノハナ
30 シノブ、イヌトウキ等29種、準絶滅危惧（NT）がミズニラ、コシノカンアオイ、ウチョウラ
31 ン、ツメレンゲ等37種が確認されました。

32
33 (注) 重要種について

34 本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- 35 ・「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 36 ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物および緊急指定種
- 37 ・「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2025：令和7年3月18日報
38 道発表資料）

39 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

40 絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

41 絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

42 絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

43 準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

44 情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

45 絶滅のおそれのある地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

46

1 (3) 国外外来種等

2 1) 国外外来種の確認状況

3 今回とりまとめを行った 24 ダムにおいて、74 科 330 種（植物相調査を実施した 16 ダムで
4 は 71 科 319 種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 8 ダムでは 33 科
5 88 種）の国外外来種^{注1)}が確認されました。多くのダムで確認された国外外来種として、総合
6 対策外来種（重点対策外来種）のセイタカアワダチソウ、イタチハギ、セイヨウタンポポ、総
7 合対策外来種（その他の総合対策外来種）のヒメジョオン、アメリカセンダングサ、エゾノギ
8 シギシ、産業のオニウシノケグサ、カモガヤ等が 16～21 ダムで確認されました。

9

10 2) 特定外来生物等の確認状況

11 外来生物法で特定外来生物^{注2)}に指定されている種として、アリノトウグサ科のオオフサモ、
12 ウリ科のアレチウリ、オオバコ科のオオカワヂシャ、キク科のオオキンケイギク、オオハンゴ
13 ンソウの 5 種が確認されました。このうち、植物相調査を実施した 16 ダムでは、オオフサモ
14 を除く 4 種が確認されました。

15 また、生態系被害防止外来種リスト^{注3)}に挙げられている種は 88 種（植物相調査を実施した
16 ダムでは 85 種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 8 ダムでは 38
17 種）が確認されました。

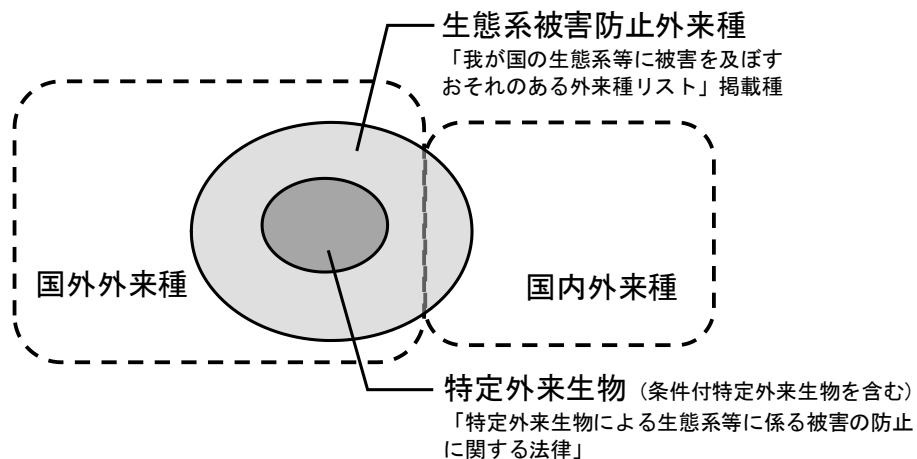
18

1 (注) 国外外来種の選定基準について

2 注1) 外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動等を介して意図的・非意図
3 的に導入された種をいいます。外来種のうち、日本国外から持ち込まれた種を「国外外来種」
4 といい、日本国内の種であっても本来その生物が生息していない地域に、他の場所から持ち込
5 まれた種は「国内外来種」といいます。本資料における国外外来種とは、おおむね明治以降に
6 人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物すべてを指し、侵入以後に国内に定
7 着した種であるか否かの判断は、選定の際に考慮していません。

8 注2) 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（最終改正
9 及び施行令和5年4月）』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、
10 個体だけではなく、卵、種子、器官等も含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入さ
11 れた国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または
12 及ぼすおそれがある生物が指定されています(指定された外来生物と在来種が交雑した生物も
13 含む)

14 注3) 生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)
15 とは、我が国の生物多様性を保全するため、さまざまな主体の参画のもとで外来種対策の一層
16 の進展を図ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産
17 業に被害を及ぼす又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定し
18 た外来種リストです。リスト中には特定外来生物法で指定された生物も含まれています。また、
19 魚類、植物、哺乳類、両生類、爬虫類、陸上昆虫類においては、国内外来種も一部選定されて
20 います。



33 図 4-1 (参考) 国外外来種、生態系被害防止外来種、特定外来生物の関係
34
35

1
2

表 4-1 植物確認種数一覧（令和 6 年度）

調査内容	地方	ダム名	シダ植物		種子植物							合計		
					裸子植物		被子植物							
							基部被子植物**	単子葉植物	真正双子葉植物					
植物相調査	北海道	岩尾内ダム*	15科	42種	3科	8種	4科	6種	14科	100種	67科	323種	103科	479種
	北海道	サンルダム*	12科	33種	1科	4種	4科	6種	15科	108種	60科	291種	92科	442種
	北海道	十勝ダム*	15科	46種	3科	7種	4科	6種	14科	110種	63科	321種	99科	490種
	北海道	札内川ダム*	15科	44種	3科	7種	4科	6種	12科	106種	61科	354種	95科	517種
	東北	白川ダム	12科	35種	3科	5種	5科	7種	19科	137種	72科	346種	111科	530種
	東北	長井ダム	16科	48種	3科	4種	4科	8種	14科	112種	79科	382種	116科	554種
	東北	寒河江ダム	13科	32種	2科	2種	5科	5種	19科	124種	70科	316種	109科	479種
	東北	月山ダム	16科	54種	3科	5種	6科	10種	19科	151種	82科	434種	126科	654種
	関東	宮ヶ瀬ダム	20科	97種	4科	10種	6科	19種	21科	220種	92科	662種	143科	1008種
	北陸	大町ダム	17科	68種	3科	13種	6科	12種	18科	145種	84科	476種	128科	714種
	北陸	三国川ダム	18科	75種	3科	3種	4科	7種	19科	144種	81科	438種	125科	667種
	中部	矢作ダム*	23科	103種	3科	8種	7科	16種	22科	186種	87科	487種	142科	800種
	近畿	九頭竜ダム	20科	85種	3科	6種	6科	13種	17科	147種	89科	528種	135科	779種
	近畿	真名川ダム	20科	72種	3科	5種	3科	9種	15科	127種	85科	453種	126科	666種
	四国	長安口ダム	20科	101種	5科	9種	5科	17種	18科	119種	80科	368種	128科	614種
九州	ななせダム	17科	78種	4科	5種	5科	15種	22科	164種	84科	426種	132科	688種	
		(合計16ダム)	25科	223種	5科	26種	8科	42種	26科	510種	111科	1420種	175科	2221種
ダム湖環境基図作成調査 (陸域調査含む)のみ	北海道	鹿ノ子ダム	13科	28種	1科	4種	3科	4種	10科	62種	54科	207種	81科	305種
	東北	森吉山ダム	8科	16種	2科	2種	3科	4種	7科	26種	42科	114種	62科	162種
	北陸	宇奈月ダム	2科	2種	0科	0種	1科	2種	3科	8種	23科	45種	29科	57種
	中部	蓮ダム	16科	52種	3科	6種	4科	5種	11科	43種	63科	163種	97科	269種
	中国	苦田ダム	11科	21種	1科	1種	3科	4種	13科	59種	65科	183種	93科	268種
	中国	弥栄ダム	2科	2種	0科	0種	2科	3種	5科	16種	31科	47種	40科	68種
	四国	鹿野川ダム	0科	0種	0科	0種	0科	0種	4科	10種	21科	36種	25科	46種
	四国	野村ダム	5科	5種	1科	1種	0科	0種	7科	22種	24科	46種	37科	74種
		(合計8ダム)	26科	196種	3科	11種	6科	16種	19科	150種	88科	508種	142科	881種
植物相+基図調査の合計 (全24ダム)			26科	225種	5科	27種	8科	44種	26科	520種	113科	1451種	178科	2267種

3

4 (注) ※植物相調査とダム湖環境基図作成調査の両方を実施したダム。植物相調査とダム湖環境基図作成調査の結果を合わせて
5 整理。

6 ※※ジュンサイ科、スイレン科、マツブサ科、センリョウ科、ドクダミ科、コシヨウ科、ウマノスズクサ科、モクレン科、
7 バンレイシ科、クスノキ科の植物は、基部被子植物として整理。

表 4-2 植物重要種一覧 (令和 6 年度) (1/2)

No.	科和名	和名	学名	選定基準			確認ダム数	
				①	②	③	植物	基図
1	イワヒバ科	エゾノヒモカズラ	<i>Selaginella sibirica</i>			VU	1	1
2	ミズニラ科	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>			NT	1	0
3	トクサ科	チシマヒメドクサ	<i>Equisetum variegatum</i>			CR	1	0
4	イノモトソウ科	ヒメウラジロ	<i>Cheilanthes argentea</i>			NT	1	0
5	チャセンシダ科	オクタマシダ	<i>Asplenium pseudowilfordii</i>			VU	1	0
6	イワデンダ科	ミヤマイワデンダ	<i>Woodsia ilvensis</i>			NT	1	0
7	ウラボシ科	クラガリシダ	<i>Lepisorus miyoshianus</i>			EN	1	0
8	ウマノスズクサ科	コシノカンアオイ	<i>Asarum megacalyx</i>			NT	2	0
9	サトイモ科	ユキモチソウ	<i>Arisaema sikokianum</i>			NT	1	0
10	オモダカ科	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>			NT	1	0
11	ヒルムシロ科	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>			NT	4	0
12	シュロソウ科	シラオイエンレイソウ	<i>Trillium x haagae</i>			VU	1	0
13	ユリ科	ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> var. <i>monticola</i>			NT	1	0
14	ラン科	コアニチドリ	<i>Amitostigma kinoshitae</i>			VU	1	0
15	ラン科	シラン	<i>Bletilla striata</i>			NT	3	0
16	ラン科	ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i>			NT	1	0
17	ラン科	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>			NT	4	0
18	ラン科	ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>			VU	1	0
19	ラン科	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>			NT	3	0
20	ラン科	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>			VU	1	0
21	ラン科	アオキラン	<i>Epipogium japonicum</i>			EN	1	0
22	ラン科	タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>			NT	2	0
23	ラン科	マツラン	<i>Gastrochilus matsuran</i>			VU	1	0
24	ラン科	ウスキムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i>			NT	1	0
25	ラン科	ムカゴサイシン	<i>Nervilia nipponica</i>			NT	1	0
26	ラン科	ウチョウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i>			NT	1	0
27	アヤメ科	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i>			NT	1	0
28	アヤメ科	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>			NT	1	0
29	ガマ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>			NT	2	0
30	ガマ科	タマミクリ	<i>Sparganium glomeratum</i>			NT	2	0
31	カヤツリグサ科	アポイタヌキラン	<i>Carex apoensis</i>			VU	1	0
32	カヤツリグサ科	アカンスゲ	<i>Carex loliacea</i>			VU	1	0
33	カヤツリグサ科	アカスゲ	<i>Carex quadriflora</i>			VU	0	1
34	カヤツリグサ科	イトヒキスゲ	<i>Carex remotiuscula</i>			VU	2	1
35	イネ科	ユキクラヌカボ	<i>Agrostis hideoi</i>			VU	2	0
36	イネ科	ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis valvata</i>			NT	1	0
37	ケシ科	チドリケマン	<i>Corydalis kushiroensis</i>			VU	2	1
38	ケシ科	ナガミノツルケマン	<i>Corydalis raddeana</i>			NT	1	0
39	キンボウゲ科	ハルカラマツ	<i>Thalictrum baicalense</i>			VU	2	1
40	ボタン科	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>			VU	1	0
41	スグリ科	ヤシャビシャク	<i>Ribes ambiguum</i>			NT	1	0
42	スグリ科	トカチスグリ	<i>Ribes triste</i>			VU	1	0
43	ユキノシタ科	マルバチャルメルソウ	<i>Mitella nuda</i>			VU	0	1
44	ペンケイソウ科	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonica</i>			NT	1	0
45	マメ科	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>			NT	1	0
46	バラ科	エゾトウウチソウ	<i>Sanguisorba japonensis</i>			EN	1	0
47	スミレ科	オオバタチツボスミレ	<i>Viola kamtschadorum</i>			NT	1	0
48	ミソハギ科	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>			NT	1	0
49	アカバナ科	エゾミズタマソウ	<i>Circaea canadensis</i> ssp. <i>quadrisulcata</i>			VU	2	1
50	ムクロジ科	ハナノキ	<i>Acer pycnanthum</i>			VU	1	0

1

表 4-2 植物重要種一覧（令和 6 年度）（2/2）

No.	科和名	和名	学名	選定基準			確認ダム数	
				①	②	③	植物	基図
51	タデ科	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>			VU	4	0
52	ナデシコ科	クシロワチガイソウ	<i>Pseudostellaria sylvatica</i>			VU	3	1
53	ハナシノブ科	エゾノハナシノブ	<i>Polemonium caeruleum</i> ssp. <i>yezoense</i> var. <i>yezoense</i>			VU	1	0
54	サクランソウ科	ソラチコザクラ	<i>Primula sorachiana</i>			VU	1	0
55	ツツジ科	エゾムラサキツツジ	<i>Rhododendron dauricum</i>			VU	3	0
56	リンドウ科	ホソバノツルリンドウ	<i>Pterygocalyx volubilis</i>			VU	4	0
57	キョウチクトウ科	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>			NT	1	0
58	オオバコ科	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>			NT	1	0
59	シソ科	タチキランソウ	<i>Ajuga makinoi</i>			NT	1	0
60	シソ科	タニジャコウソウ	<i>Chelonopsis longipes</i>			NT	1	0
61	シソ科	キセワタ	<i>Leonurus macranthus</i>			VU	1	0
62	シソ科	ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeia</i>			NT	2	0
63	タヌキモ科	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>			NT	1	0
64	キク科	ナカガワノギク	<i>Chrysanthemum yoshinaganthum</i>			NT	1	0
65	キク科	ヒダアザミ	<i>Cirsium tashiroi</i> var. <i>hidaense</i>			VU	1	0
66	キク科	イズハハコ	<i>Eschenbachia japonica</i>			NT	1	0
67	キク科	カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>			NT	2	0
68	キク科	コモチミミコウモリ	<i>Parasenecio kamtschaticus</i> var. <i>bulbifer</i>			NT	3	0
69	セリ科	イヌトウキ	<i>Angelica shikokiana</i>			VU	1	0
70	スイカズラ科	ネムロブシダマ	<i>Lonicera chrysantha</i>			VU	0	1
43科70種							41科67種	9科9種

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

①文化財保護法

②絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律〔種の保存法〕（平成 5 年）

③環境省「レッドリスト 2025」掲載種

CR：絶滅危惧 I A 類 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN：絶滅危惧 I B 類 - I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧 II 類 - 絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧 - 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 - 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 - 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

表 4-3 植物国外外来種一覧（令和6年度）（1/9）

No.	科和名	和名	学名	外来種	植物										基図						植物+基図確認数						
					北海道		東北			関東	北陸	中部	近畿	四国	九州	北海道	東北	北陸	中部	中国		四国					
					岩尾内ダム※	サニールダム※	十勝ダム※	札内川ダム※	白川ダム	長井ダム	寒河江ダム	月山ダム	宮ヶ瀬ダム	大町ダム	三國川ダム	矢作ダム※	九頭竜ダム	真名川ダム	長安口ダム	ななせダム		植物確認数	北海道	東北	北陸	中部	中国
1	イワヒバ科	コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i>	その他																					0	2	
2	サンショウモ科	外来アゾラ類	<i>Azolla</i> sp.	緊急																						1	1
3	イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>																							0	3
4	マツ科	ドイツトウヒ	<i>Picea abies</i>																							0	1
5	マツ科	コロラドトウヒ	<i>Picea pungens</i>																							0	1
6	マツ科	ヨーロッパアカマツ	<i>Pinus sylvestris</i>																							0	1
7	ヒノキ科	ニオイヒバ	<i>Thuja occidentalis</i>																							0	2
8	パンレイシ科	ポポー	<i>Asimina triloba</i>																							0	1
9	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	重点																						0	1
10	ヤマノイモ科	ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i>																							0	8
11	ユリ科	シンテッポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i>	その他																						1	5
12	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crocsmia x crocosmiiflora</i>	その他																						2	6
13	アヤメ科	キシウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	重点																						2	7
14	アヤメ科	ヒトフサニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium mucronatum</i>																							0	1
15	アヤメ科	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>																							0	4
16	アヤメ科	オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium</i> sp.																							0	3
17	ヒガンバナ科	ニラ	<i>Allium tuberosum</i>																							0	2
18	ヒガンバナ科	ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i>	その他																						0	1
19	ヒガンバナ科	スイセン	<i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>																							0	1
20	ヒガンバナ科	ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i>																							0	1
21	クサスギカズラ科	オランダキジカクシ	<i>Asparagus officinalis</i>																							0	2
22	クサスギカズラ科	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i>																							0	1
23	クサスギカズラ科	ムスカリ	<i>Muscari neglectum</i>																							0	1
24	クサスギカズラ科	アツバキミガヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	重点																						0	1
25	ツユクサ科	ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i>	重点																						0	2
26	ツユクサ科	ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohiensis</i>																							0	2
27	バショウ科	バショウ	<i>Musa basjoo</i>																							0	1
28	ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>																							0	10
29	カヤツリグサ科	クシロヤガミスゲ	<i>Carex crawfordii</i>																							1	5
30	カヤツリグサ科	カタガワヤガミスゲ	<i>Carex unilateralis</i>																							0	1
31	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	重点																						0	2
32	イネ科	コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	産業																						2	16
33	イネ科	ハイコヌカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>																							0	2
34	イネ科	ヌカススキ	<i>Aira caryophylla</i>																							0	2
35	イネ科	ハナヌカススキ	<i>Aira elegantissima</i>																							0	3
36	イネ科	オオスズメノテッポウ	<i>Alopecurus pratensis</i>																							0	3
37	イネ科	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	その他																						4	10
38	イネ科	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	その他																						0	12
39	イネ科	ケナシハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> var. <i>alpinum</i>																							0	1
40	イネ科	カラスムギ	<i>Avena fatua</i>																							0	1

表 4-3 植物国外外来種一覧 (令和 6 年度) (4/9)

No.	科和名	和名	学名	外来種	植物														基図					植物 + 基図 確認 数			
					北海道		東北		関東		北陸		中部		近畿		四国		九州		植物	北海道	東北		中部	中国	四国
					岩尾内 ダム※	サンル ダム※	十勝 ダム※	札内川 ダム※	白川 ダム	長井 ダム	寒河江 ダム	月山 ダム	宮ヶ瀬 ダム	大町 ダム	三国 川 ダム	矢作 ダム	九頭 竜 ダム	真名 川 ダム	長安 口 ダム	なな せ ダム	確認 数	鹿ノ 子 ダム	森吉 山 ダム		宇奈 月 ダム	蓮 ダム	吉田 ダム
121	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	特定/緊急					●	●	●	●					4								0	4	
122	シュウカイドウ科	シュウカイドウ	<i>Begonia grandis</i>								●						1								0	1	
123	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>						●		●		●				3								0	3	
124	カタバミ科	ハナカタバミ	<i>Oxalis bowieana</i>						●								1								0	1	
125	カタバミ科	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>						●		●				●	●	4								0	4	
126	カタバミ科	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>					●		●	●	●	●	●	●	●	10			●	●				2	12	
127	トウダイグサ科	ショウジョウソウ	<i>Euphorbia cyathophora</i>						●								1								0	1	
128	トウダイグサ科	コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	●		●			●	●	5	16	
129	トウダイグサ科	オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>					●		●	●	●	●	●	●	●	7			●		●			3	10	
130	トウダイグサ科	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i>	その他										●			1					●			1	2	
131	コムカンソウ科	ナガエコムカンソウ	<i>Phyllanthus tenellus</i>						●								1								0	1	
132	ヤナギ科	シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i>						●			●					2								0	2	
133	スミレ科	アメリカスミレサイシン	<i>Viola sororia</i>						●								1								0	1	
134	オトギリソウ科	キンシバイ	<i>Hypericum patulum</i>													●	1								0	1	
135	オトギリソウ科	コゴメバオトギリ	<i>Hypericum perforatum ssp. chinense</i>		●	●			●								4								0	4	
136	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>						●	●						●	3								0	3	
137	フウロソウ科	オオミツバフウロ	<i>Geranium knuthii</i>												●	●	2								0	2	
138	ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i>														0					●			1	1	
139	ミソハギ科	サルスベリ	<i>Lagerstroemia indica</i>														1								0	1	
140	アカバナ科	ヒレタゴボウ	<i>Ludwigia decurrens</i>														1					●		●	2	3	
141	アカバナ科	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14		●			●			2	16	
142	アカバナ科	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i>		●									●			2								0	2	
143	アカバナ科	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	重点					●						●	●	3								0	3	
144	アカバナ科	アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i>													●	1								0	1	
145	アカバナ科	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>						●						●	●	3								0	3	
146	ウルシ科	ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i>				●	●	●								3		●						1	4	
147	ムクロジ科	トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i>						●			●					2								0	2	
148	ミカン科	ユズ	<i>Citrus junos</i>														1								0	1	
149	ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	重点				●	●	●	●	●		●			6					●			1	7	
150	アオイ科	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i>					●						●			2								0	2	
151	アオイ科	タチアオイ	<i>Althaea rosea</i>								●						1								0	1	
152	アオイ科	アオギリ	<i>Firmiana simplex</i>						●								1								0	1	
153	アオイ科	フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i>	その他					●				●				2								0	2	
154	アオイ科	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>						●								1								0	1	
155	アオイ科	ジャコウアオイ	<i>Malva moschata</i>		●	●											2								0	2	
156	アオイ科	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i>														0					●			1	1	
157	ジンチョウゲ科	ミツマタ	<i>Edgeworthia chrysantha</i>						●						●		2								0	2	
158	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	<i>Tarenaya hassleriana</i>														0				●				1	1	
159	アブラナ科	セイヨウワサビ	<i>Armoracia rusticana</i>		●												1								0	1	
160	アブラナ科	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>	その他	●	●	●	●	●		●	●	●				8	●							1	9	

表 4-3 植物国外外来種一覧（令和6年度）(6/9)

No.	科和名	和名	学名	外来種	植物													基図					植物 + 基図 確認 数				
					北海道		東北		関東		北陸		中部		近畿		四国		九州		植物	北海道		東北	中部	中国	四国
					岩尾内 ダム※	サンル ダム※	十勝 ダム※	札内 川ダム※	白川 ダム	長井 ダム	寒河江 ダム	月山 ダム	宮ヶ瀬 ダム	大町 ダム	三国 川ダム	矢作 ダム	九頭 竜ダム	真名 川ダム	長安 口ダム	なな せダム	確認 数	鹿ノ 子ダム		森吉 山ダム	宇奈 月ダム	蓮 ダム	吉田 ダム
201	ヤマゴボウ科	ヤマゴボウ	<i>Phytolacca acinosa</i>														1								0	1	
202	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>														11								2	13	
203	オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>														1								0	1	
204	ザクロン科	クルマバザクロンソウ	<i>Mollugo verticillata</i>														2								1	3	
205	ハゼラン科	ハゼラン	<i>Talinum paniculatum</i>														2								0	2	
206	スベリヒユ科	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	重点													1								0	1	
207	アジサイ科	アジサイ	<i>Hortensia macrophylla</i> f. <i>macrophylla</i>														2								0	2	
208	カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> var. <i>kaki</i>														7								1	8	
209	カキノキ科	マメガキ	<i>Diospyros lotus</i>														1								0	1	
210	サクラソウ科	サカコザクラ	<i>Androsace filiformis</i>														1								0	1	
211	サクラソウ科	コバンコナスビ	<i>Lysimachia nummularia</i>														2								1	3	
212	ツバキ科	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> var. <i>sinensis</i>														5								3	8	
213	アカネ科	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i>														1								3	4	
214	アカネ科	シラホシムグラ	<i>Galium aparine</i>														4								0	4	
215	アカネ科	コメツブヤエムグラ	<i>Galium divaricatum</i>														1								0	1	
216	アカネ科	トゲナシムグラ	<i>Galium mollugo</i>														2								0	2	
217	アカネ科	オオフタバムグラ	<i>Hexasepalum teres</i>	その他													1								1	2	
218	アカネ科	ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i>														1								0	1	
219	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	重点													2								0	2	
220	キョウチクトウ科	ヒメツルニチニチソウ	<i>Vinca minor</i>														2								0	2	
221	ヒルガオ科	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i>														1								0	1	
222	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>	その他													9								3	12	
223	ヒルガオ科	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>														4								2	6	
224	ヒルガオ科	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>														1								1	2	
225	ヒルガオ科	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	その他													0								2	2	
226	ナス科	オオセンナリ	<i>Nicandra physalodes</i>														1								0	1	
227	ナス科	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>														3								0	3	
228	ナス科	ヒロハフウリンホオズキ	<i>Physalis angulata</i>														0								1	1	
229	ナス科	ショクヨウホオズキ	<i>Physalis grisea</i>														1								0	1	
230	ナス科	テリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>														2								0	2	
231	ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>														3								0	3	
232	ナス科	オオイヌホオズキ	<i>Solanum nigrescens</i>														1								0	1	
233	ナス科	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>														5								1	6	
234	ムラサキ科	ノムラサキ	<i>Lappula squarrosa</i>														2								0	2	
235	ムラサキ科	ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i>														3								0	3	
236	ムラサキ科	シンワスレナグサ	<i>Myosotis scorpioides</i>														3								0	3	
237	ムラサキ科	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i>														4								0	4	
238	ムラサキ科	コンフリー	<i>Symphytum x uplandicum</i>														2								0	2	
239	モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	重点													1								0	1	
240	モクセイ科	ムラサキハシドイ	<i>Syringa vulgaris</i>														1								0	1	

表 4-3 植物国外外来種一覧（令和6年度）（7/9）

No.	科和名	和名	学名	外来種	植物														基因					植物 + 基因 確認 数						
					北海道		東北			関東	北陸	中部	近畿	四国	九州	植物	北海道	北陸	中部	中国	四国	基因								
					岩尾内 ダム※	サ ン ル ダ ム※	十 勝 ダ ム※	札 内 川 ダ ム※	白 川 ダ ム	長 井 ダ ム	寒 河 江 ダ ム	月 山 ダ ム	宮 ヶ 瀬 ダ ム	大 町 ダ ム	三 国 川 ダ ム	矢 作 ダ ム※	九 頭 竜 ダ ム	真 名 川 ダ ム	長 安 口 ダ ム	な な せ だ ま	確 認 ダ ム 数	鹿 ノ 子 ダ ム	森 吉 山 ダ ム		宇 奈 月 ダ ム	蓮 ダ ム	吉 田 ダ ム	弥 栄 ダ ム	野 村 ダ ム	確 認 ダ ム 数
241	オオバコ科	ジギタリス	<i>Digitalis purpurea</i>			●												1										0	1	
242	オオバコ科	ホソバウンラン	<i>Linaria vulgaris</i>				●											1											0	1
243	オオバコ科	マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i>								●		●				●	3											0	3
244	オオバコ科	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>		●	●	●		●	●	●		●	●				10											0	10
245	オオバコ科	セイヨウオオバコ	<i>Plantago major</i>		●													1											0	1
246	オオバコ科	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>							●		●					●	3											0	3
247	オオバコ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	特定/緊急						●								1											0	1
248	オオバコ科	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15											0	15
249	オオバコ科	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>					●		●	●	●	●	●	●	●	●	10											0	10
250	オオバコ科	コテングクワガタ	<i>Veronica serpyllifolia</i> ssp. <i>serpyllifolia</i>		●		●	●			●	●						5											0	5
251	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ	<i>Buddleja davidii</i>	重点						●							●	2											0	2
252	ゴマノハグサ科	モウズイカ	<i>Verbascum blattaria</i>		●		●											2											0	2
253	ゴマノハグサ科	ビロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>				●	●	●		●			●	●			6											0	6
254	アゼナ科	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>major</i>					●		●	●	●	●	●				7				●						1	8	
255	アゼナ科	ハナウリクサ	<i>Torenia fournieri</i>													●		1											0	1
256	シソ科	チシマオドリコソウ	<i>Galeopsis bifida</i>		●	●	●	●										4	●										1	5
257	シソ科	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●			10											0	10
258	シソ科	マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i>							●		●	●				3												0	3
259	シソ科	シソ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>crispa</i>						●	●	●		●	●		●	6												0	6
260	シソ科	エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>frutescens</i>															1											0	1
261	シソ科	ハナトラノオ	<i>Physostegia virginiana</i>							●		●					2												0	2
262	キリ科	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	10												0	10
263	ノウゼンカズラ科	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i>								●							1											0	1
264	ノウゼンカズラ科	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>								●				●		2												0	2
265	クマツヅラ科	シチヘンゲ	<i>Lantana camara</i> ssp. <i>aculeata</i>	重点												●	1												0	1
266	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>	その他						●							1												0	1
267	クマツヅラ科	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	その他						●					●	●	3					●							1	4
268	クマツヅラ科	ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena incompta</i>	その他						●							1												0	1
269	クマツヅラ科	ハマクマツヅラ	<i>Verbena litoralis</i>	その他												●	1												0	1
270	キキョウ科	ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i>							●		●			●		3												0	3
271	キキョウ科	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>							●		●			●		3												0	3
272	キク科	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i>			●	●					●					3	●											1	4
273	キク科	マルバフジバカマ	<i>Ageratina altissima</i>	その他							●						1												0	1
274	キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	●			●								2	14
275	キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	重点				●	●	●	●						4					●		●					2	6
276	キク科	コボウ	<i>Arctium lappa</i>														0	●											1	1
277	キク科	センダングサ	<i>Bidens biternata</i>									●					1												0	1
278	キク科	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	その他	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	21
279	キク科	コシロノセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>minor</i>							●		●					2				●								1	3
280	キク科	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>							●	●	●	●	●	●	●	7				●		●	●	●	●	●	●	3	10

表 4-3 植物国外外来種一覧（令和6年度）(8/9)

No.	科和名	和名	学名	外来種	植物										基図					植物+基図確認数								
					北海道		東北			関東	北陸	中部	近畿	四国	九州	北海道	東北	北陸	中部		中国	四国						
					岩尾内ダム※	サンルダム※	十勝ダム※	札内川ダム※	白川ダム	長井ダム	寒河江ダム	月山ダム	宮ヶ瀬ダム	大町ダム	三国川ダム	矢作ダム※	九頭竜ダム	真名川ダム	長安口ダム		ななせダム	植物確認数	鹿ノ子ダム	森吉山ダム	宇奈月ダム	運ダム	吉田ダム	弥栄ダム
281	キク科	セイヨウトゲアザミ	<i>Cirsium arvense</i>														0	●								1	1	
282	キク科	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	その他	●	●	●	●				●					5	●									1	6
283	キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	特定/緊急								●			●		3										0	3
284	キク科	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>	その他							●				●		3										0	3
285	キク科	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>								●						1										0	1
286	キク科	キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i>								●						1										0	1
287	キク科	ベニバナゴロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>						●					●	●	●	7			●	●						2	9
288	キク科	アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>								●			●	●		4					●		●			2	6
289	キク科	ダントボロギク	<i>Erechtites hieracifolius</i> var. <i>hieracifolius</i>			●			●	●	●	●	●	●	●	●	10				●						1	11
290	キク科	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	その他	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	●	●		●	●					4	20
291	キク科	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16				●	●			●		3	19
292	キク科	ペラペラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>	その他							●				●	●	3										0	3
293	キク科	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	12										0	12
294	キク科	ヤナギバヒメジョオン	<i>Erigeron pseudoannuus</i>					●									1										0	1
295	キク科	ヘラバヒメジョオン	<i>Erigeron strigosus</i>			●		●								●	3										0	3
296	キク科	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>					●			●	●	●	●	●	●	7				●						1	8
297	キク科	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>					●	●		●				●	●	6										0	6
298	キク科	ホンバノチチコグサモドキ	<i>Gamochaeta calviceps</i>								●					●	2										0	2
299	キク科	ウラジロチチコグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i>								●				●	●	3										0	3
300	キク科	チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i>								●					●	2										0	2
301	キク科	ヒメチチコグサ	<i>Gnaphalium uliginosum</i>			●											1	●									1	2
302	キク科	キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>		●			●			●						4										0	4
303	キク科	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	12	●									1	13
304	キク科	トゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i>		●	●		●	●			●					5										0	5
305	キク科	マルバトゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i> f. <i>integrifolia</i>			●											1										0	1
306	キク科	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	その他	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	9	●									1	10
307	キク科	コシカギク	<i>Matricaria matricarioides</i>					●									1										0	1
308	キク科	エダウチチチコグサ	<i>Omalotheca sylvatica</i>			●		●									2										0	2
309	キク科	コウリンタンポポ	<i>Pilosella aurantiaca</i>	その他	●	●	●	●		●			●				6										0	6
310	キク科	キバナコウリンタンポポ	<i>Pilosella caespitosa</i>	その他		●	●	●									3										0	3
311	キク科	セイタカハハコグサ	<i>Pseudognaphalium luteoalbum</i>								●					●	2										0	2
312	キク科	キヌガサギク	<i>Rudbeckia hirta</i>	その他			●	●			●						4										0	4
313	キク科	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	特定/緊急	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	9	●	●								2	11
314	キク科	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>		●						●						3										0	3
315	キク科	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	重点				●	●	●	●	●	●	●	●	●	11			●	●	●	●	●	●	●	6	17
316	キク科	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> ssp. <i>serotina</i>	重点	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●								2	10
317	キク科	メリケントキンソウ	<i>Soliva sessilis</i>								●						2										0	2
318	キク科	オニノゲン	<i>Sonchus asper</i>		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	12										0	12
319	キク科	ネバリノギク	<i>Symphyotrichum novaeangliae</i>	その他	●												1										0	1
320	キク科	ユウゼンギク	<i>Symphyotrichum novibelgii</i>	その他	●	●	●										3										0	3

1 4.2 生物多様性

2 日本の生物多様性の危機の原因の一つとして、「外来種など人為的に持ち込まれたものによる
3 在来種との競合や交雑」があげられています。

4 植物では、園芸用に輸入された種や飼料穀物に紛れ込んだ種子の自然界への逸出等に伴って、
5 本来は日本に生育しない国外の種が侵入し、自然界へ広がっている例が数多くみられます。外
6 来植物の侵入は、在来植物群集の攪乱を引き起こし、時には花粉症等の健康被害の要因となる
7 ことが知られています。また、これらの外来植物を食草とする外来の陸上昆虫類等の生息基盤
8 にもなります。ダム湖周辺で確認された場合は、種子が水の流れによって運ばれることもある
9 ため、ダム下流の河川に広く影響を及ぼす可能性があります。

10 ここでは、生態系の人為的な攪乱状況を明らかにするために、国外外来種のうち特定外来生
11 物^{注1)}に指定されている種や、生態系被害防止外来種リスト^{注2)}掲載種の確認状況について整理
12 しました。なお、本整理は植物相調査を実施した 122 ダムの結果を対象としております（ダム
13 湖環境基図作成調査結果は除く）。

14
15 注1) 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（最終改正及び施
16 行 2014 年 6 月）』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけでは
17 なく、卵、種子、器官等も含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のう
18 ち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物
19 が指定されています（指定された外来生物と在来種が交雑した生物も含む）。

20
21 注2) 生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）とは、
22 我が国の生物多様性を保全するため、さまざまな主体の参画のもとで外来種対策の一層の進展を図
23 ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす
24 又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定した外来種リストです。
25 リスト中には特定外来生物法で指定された生物も含まれています。

26 参考文献：1) 日本生態学会（2002）外来種ハンドブック，地人書館
27 2)（独）国立環境研究所，侵入生物データベース

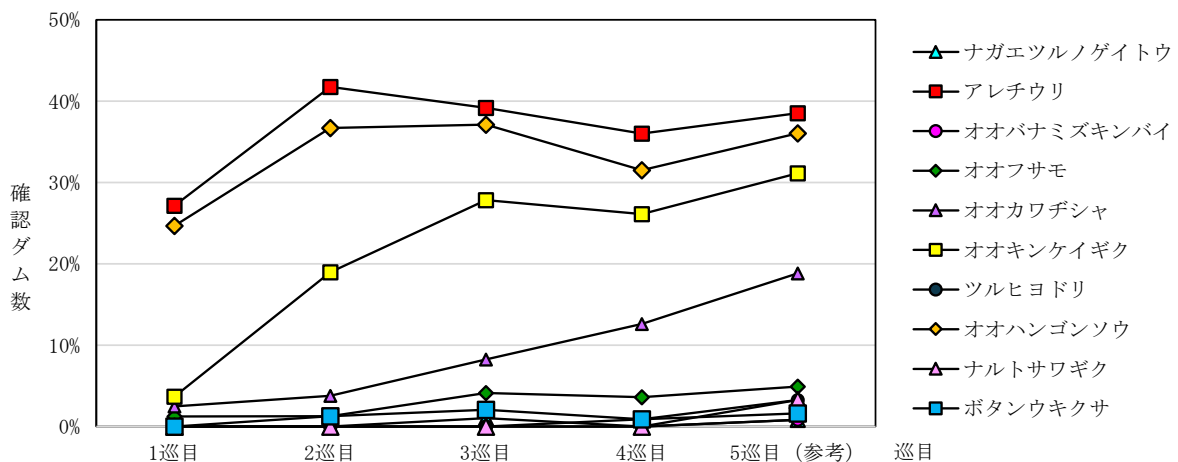
30 (1) 特定外来生物等の分布状況（生物多様性への攪乱）

31
32 ・特定外来生物に指定されているナガエツルゲイトウ、アレチウリ、オオバナミズキンバ
33 イ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク、ツルヒヨドリ、オオハンゴンソウ、
34 ナルトサワギク、ボタンウキクサの 10 種を平成 28 年度～令和 6 年度の 5 巡目調査を実
35 施した 122 ダムで確認

36 外来植物の侵入は、在来植物との競合や交雑を引き起こし、時には花粉症等の健康被害
37 の要因となることが知られています。今回とりまとめを行った 122 ダムでは、特定外来生
38 物に指定されている植物 19 種のうち 10 種が確認されました。オオバナミズキンバイは
令和元年度の調査で天ヶ瀬ダムにおいて初めて確認されました。ナルトサワギクは平成 29
年度の調査で大渡ダムにおいて初めて確認されました。特定外来生物等が確認されたほと
んどのダムでは、前巡目より継続して確認されており、繁殖力の強さがうかがえます。な
お、令和 6 年度調査では、特定外来生物に指定されている植物としてアレチウリ、オオキ
ンケイギク、オオハンゴンソウの 3 種が確認されました。

表 4-4 特定外来生物の確認ダム数の巡目比較

種名 (19 種)	1 巡目調査 (81 ダム)	2 巡目調査 (79 ダム)	3 巡目調査 (97 ダム)	4 巡目調査 (111 ダム)	5 巡目調査 (122 ダム)	今回 確認
アブラ・クリスタータ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.8%]	
ナガエツルノゲイトウ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [1.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.0%]	
ナガエモウセンゴケ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
アレチウリ	22 ダム [27.2%]	33 ダム [41.8%]	38 ダム [39.2%]	40 ダム [36.0%]	47 ダム [38.5%]	○
ルドウイギア・グラン ディフロラ(オオバナミズ キンバイ等)	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.8%]	
オオフサモ	1 ダム [1.2%]	1 ダム [1.3%]	4 ダム [4.1%]	4 ダム [3.6%]	6 ダム [4.9%]	
ブラジルチドメグサ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
オオカワヂシャ	2 ダム [2.5%]	3 ダム [3.8%]	8 ダム [8.2%]	14 ダム [12.6%]	23 ダム [18.8%]	
オオキンケイギク	3 ダム [3.7%]	15 ダム [19.0%]	27 ダム [27.8%]	29 ダム [26.1%]	38 ダム [31.1%]	○
ミズヒマワリ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ツルヒヨドリ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.9%]	4 ダム [3.2%]	
オオハンゴンソウ	20 ダム [24.7%]	29 ダム [36.7%]	36 ダム [37.1%]	35 ダム [31.5%]	44 ダム [36.0%]	○
ナルトサワギク	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	4 ダム [3.2%]	
ビーチグラス	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
スパルティナ属	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ボタンウキクサ	0 ダム [0.0%]	1 ダム [1.3%]	2 ダム [2.1%]	1 ダム [0.9%]	2 ダム [1.6%]	
エフレタヌキモ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ウトウククラリア・インフ ラタ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ウトウククラリア・プラテ ンスイス	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	



2
3
4
5
6
7
8

※ 本取りまとめでは、平成 28 年～令和 6 年度の 5 巡目の植物調査が実施された 122 ダムを対象に行った。
 ※ () 内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は異なる。
 ※ [] 内は確認ダム数の調査実施ダム数に対する%を示す。
 ※確認ダムがある場合は灰色、5 巡目初確認の場合は青色で塗りつぶした。

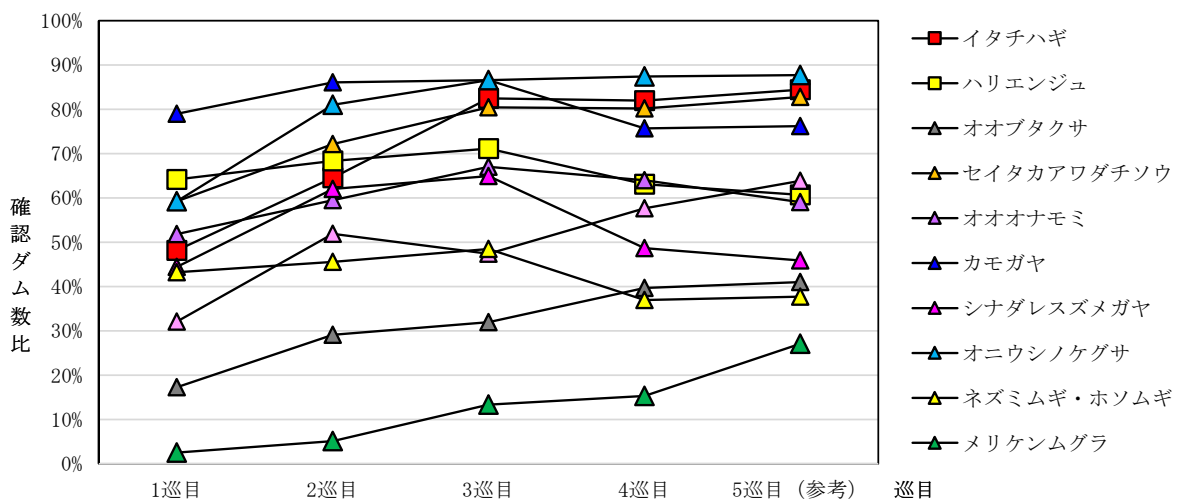
9 このとりまとめでは 5 巡目に植物調査を実施した 122 ダムを対象に整理しました。122
 10 ダムでは、特定外来生物に指定されている植物 19 種のうち、ナガエツルノゲイトウ、アレ
 11 チウリ、オオバナミズキンバイ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク、ツル
 12 ヒヨドリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、ボタンウキクサの 10 種が確認されまし
 13 ました。オオバナミズキンバイは令和元年度の調査、ナルトサワギクは平成 29 年度の調査で初
 14 めて確認されました。

1
2

表 4-5 生態系被害防止外来種リスト掲載種の確認ダム数の巡目比較

種名	1 巡目調査 (81 ダム)	2 巡目調査 (79 ダム)	3 巡目調査 (97 ダム)	4 巡目調査 (111 ダム)	5 巡目調査 (122 ダム)	今回 確認
イタチハギ	39 ダム [48.1%]	51 ダム [64.6%]	80 ダム [82.5%]	91 ダム [82.0%]	103 ダム [84.4%]	○
ハリエンジュ	52 ダム [64.2%]	54 ダム [68.4%]	69 ダム [71.1%]	70 ダム [63.1%]	74 ダム [60.7%]	○
オオブタクサ	14 ダム [17.3%]	23 ダム [29.1%]	31 ダム [32.0%]	44 ダム [39.6%]	50 ダム [41.0%]	○
セイタカアワダチソウ	48 ダム [59.3%]	57 ダム [72.2%]	78 ダム [80.4%]	89 ダム [80.2%]	101 ダム [82.8%]	○
オオオナモミ	42 ダム [51.9%]	47 ダム [59.5%]	65 ダム [67.0%]	71 ダム [64.0%]	72 ダム [59.0%]	○
カモガヤ	64 ダム [79.0%]	68 ダム [86.1%]	84 ダム [86.6%]	84 ダム [75.7%]	93 ダム [76.2%]	○
シナダレスズメガヤ	36 ダム [44.4%]	49 ダム [62.0%]	63 ダム [64.9%]	54 ダム [48.6%]	56 ダム [45.9%]	○
オニウシノケグサ	48 ダム [59.3%]	64 ダム [81.0%]	84 ダム [86.6%]	97 ダム [87.4%]	107 ダム [87.7%]	○
ネズミムギ・ホソムギ	35 ダム [43.2%]	36 ダム [45.6%]	47 ダム [48.5%]	41 ダム [36.9%]	46 ダム [37.7%]	○
メリケンムグラ	2 ダム [2.5%]	4 ダム [5.1%]	13 ダム [13.3%]	17 ダム [15.3%]	33 ダム [27.0%]	○

3



4
5
6
7
8
9

※ 本取りまとめでは、平成 28 年～令和 6 年度の 5 巡目の植物調査が実施された 122 ダムを対象に行った。
 ※ ()内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は異なる。
 ※ [] 内は確認ダム数の調査実施ダム数に対する%を示す。

10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21

ここでは、これらの特定外来生物のうち、今まで河川水辺の国勢調査で確認されたことがある種と、生態系被害防止外来種リストに挙げられている種でダム湖周辺における代表的な外来植物の 1～5 巡目の確認状況を示しました。代表的な外来植物としては、緑化植物として導入された種や、水位変動によって分布面積が変動する種といった視点より、イタチハギ、ハリエンジュ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウ、オオオナモミ、カモガヤ、シナダレスズメガヤ、オニウシノケグサ、ネズミムギ、ホソムギ、メリケンムグラを選定しました。なお、ネズミムギ、ホソムギについては、両種の交雑により区別の難しい個体が多く野生化しており、調査者が異なれば別の種に同定している可能性が考えられるため、両種をあわせて整理することとしました。

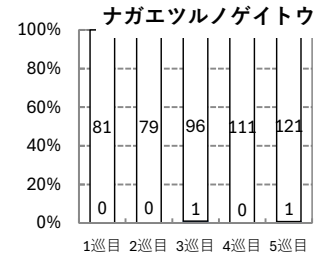
5 巡目調査で確認された種について、全国の確認状況を示します。

■特定外来生物

ナガエツルノゲイトウは、5巡目で対象とした122ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダムで確認されました。過去には3巡目調査時に九州の寺内ダムで確認されています。



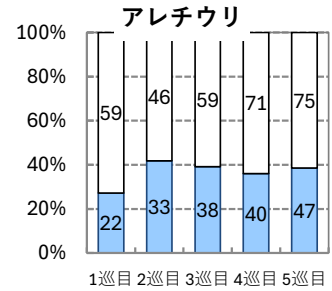
ナガエツルノゲイトウ
(天ヶ瀬ダム・令和元年9月)



アレチウリは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北で11ダム(津軽ダム、四十四田ダム等)、関東で10ダム(相俣ダム、菌原ダム等)、北陸で2ダム(大川ダム、三国川ダム)、中部で9ダム(長島ダム、美和ダム等)、近畿で8ダム(天ヶ瀬ダム、比奈知ダム等)、中国で2ダム(尾原ダム、灰塚ダム)、四国で2ダム(大渡ダム)、九州で3ダム(耶馬溪ダム、下笠ダム、松原ダム)の計47ダムで確認されました。本種は定着力が強く、一度分布が確認されるとその後の調査では継続して確認されることが多いことから、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



アレチウリ
(津軽ダム・令和3年9月)

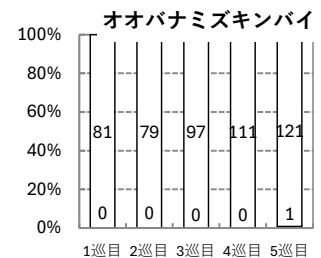


アレチウリ
(丸山ダム・令和3年5月)

オオバナミズキンバイは、5巡目で対象とした122ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダムで確認されました。河川水辺の国勢調査では、令和元年度の調査で初めて確認されました。



オオバナミズキンバイ
(天ヶ瀬ダム・令和元年9月)

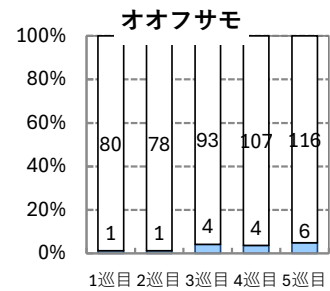


■確認ダム □未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

オオフサモは、5巡目で対象とした122ダムのうち、関東の渡良瀬遊水地、中国の弥栄ダム、四国の野村ダム、中筋川ダム、九州の巨勢川調整池、沖縄の金武ダムの6ダムで確認されました。



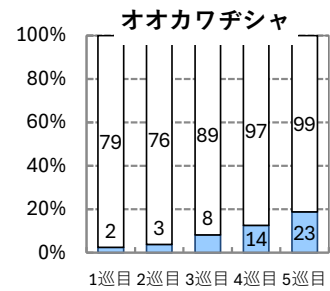
オオフサモ
(野村ダム・令和3年9月)



オオカワヂシャは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北で2ダム(田瀬ダム、釜房ダム)、関東で4ダム(下久保、渡良瀬遊水地等)、北陸で1ダム(大川ダム)、近畿で9ダム(天ヶ瀬ダム、日吉ダム等)、中国で4ダム(殿ダム、灰塚ダム等)、四国で3ダム(石手川ダム、池田ダム等)の計23ダムで確認されました。本種が確認されたダムは増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



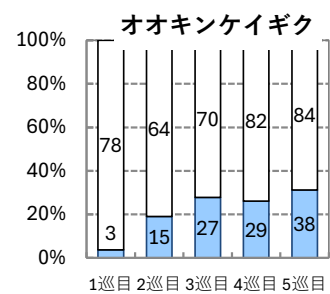
オオカワヂシャ
(灰塚ダム・令和3年5月)



オオキンケイギクは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北で6ダム(四十四田ダム、御所ダム等)、関東で7ダム(藤原ダム、相俣ダム等)、中部で7ダム(長島ダム、美和ダム等)、近畿で5ダム(天ヶ瀬ダム、日吉ダム等)、中国で8ダム(殿ダム、尾原ダム等)、四国で2ダム(石手川ダム、鹿野川ダム)、九州で3ダム(松原ダム、寺内ダム等)の計38ダムで確認されました。本種が確認されたダムは増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



オオキンケイギク
(鹿野川ダム・令和3年6月)

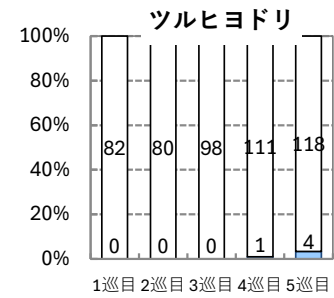


■ 確認ダム □ 未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

ツルヒヨドリは、5巡目で対象とした122ダムのうち、沖縄の普久川ダム、羽地ダム、漢那ダム、金武ダムの4ダムで確認されました。



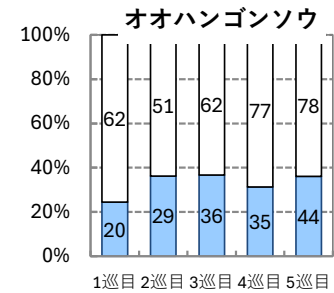
ツルヒヨドリ
(漢那ダム・令和5年5月)



オオハンゴンソウは、5巡目で対象とした122ダムのうち、北海道で13ダム（忠別ダム、金山ダム）、東北で16ダム（森吉山ダム、浅瀬石川ダム等）、関東では5ダム（藤原ダム、相俣ダム等）、北陸では2ダム（大川ダム、三国川ダム）、中部で4ダム（美和ダム、新豊根ダム）、中国で2ダム（菅沢ダム、尾原ダム）の計44ダムで確認されました。



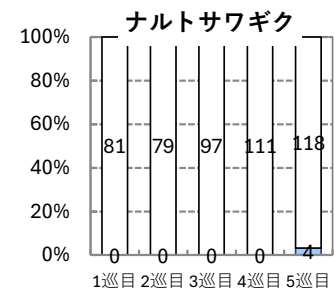
オオハンゴンソウ
(津軽ダム・令和3年9月)



ナルトサワギクは、5巡目で対象とした122ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダム、一庫ダム、大滝ダム、四国の大渡ダムの計4ダムで確認されました。河川水辺の国勢調査では、平成29年度の調査において大渡ダムで初めて確認されました。



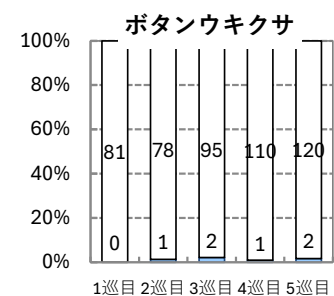
ナルトサワギク
(天ヶ瀬ダム・令和元年6月)



ボタンウキクサは、5巡目で対象とした122ダムのうち、九州の鶴田ダム、沖縄の金武ダムの2ダムで確認されました。



ボタンウキクサ
(鶴田ダム・令和3年)



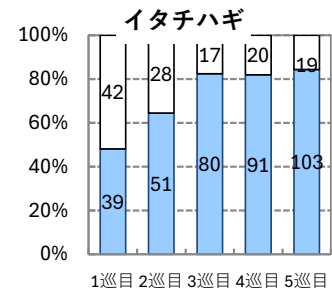
■ 確認ダム □ 未確認ダム
※ グラフ中の数値はダム数

■生態系被害防止外来種リスト掲載種

イタチハギは、5巡目で対象とした122ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の103ダムで確認されました。本種が確認されたダムは、増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



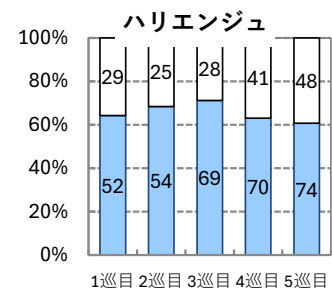
イタチハギ
(湯田ダム・令和元年7月)



ハリエンジュは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州の74ダムで確認されました。



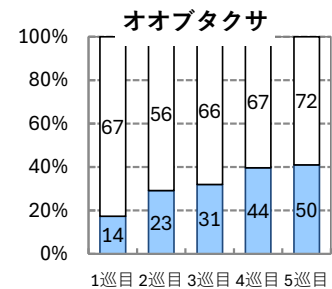
ハリエンジュ
(田瀬ダム・令和元年5月)



オオブタクサは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の50ダムで確認されました。



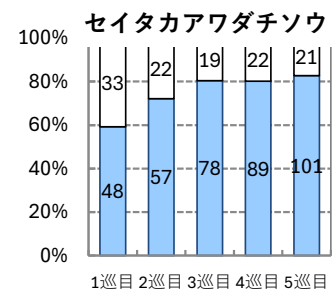
オオブタクサ
(比奈知ダム・令和元年5月)



セイトカアワダチソウは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の101ダムで確認されました。



セイトカアワダチソウ
(寺内ダム・令和元年10月)



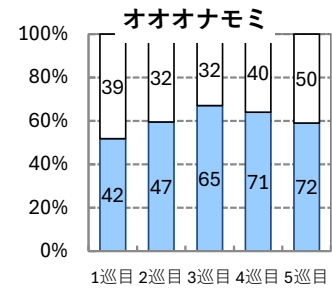
■ 確認ダム □ 未確認ダム

※グラフ中の数値はダム数

オオオナモミは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の72ダムで確認されました。



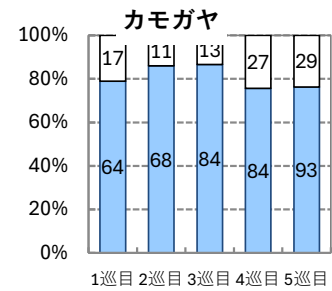
オオオナモミ
(阿木川ダム・令和3年9月)



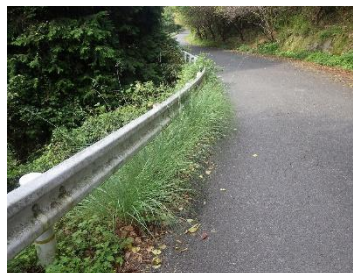
カモガヤは、5巡目で対象とした122ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の93ダムで確認されました。



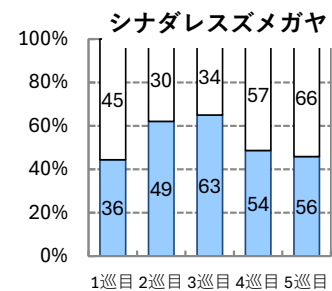
カモガヤ
(岩尾内ダム・令和元年10月)



シナダレスズメガヤは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州の56ダムで確認されました。



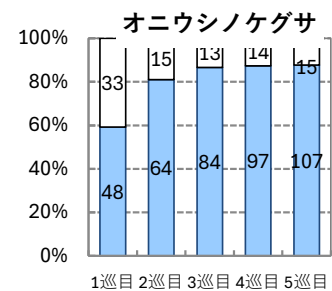
シナダレスズメガヤ
(高山ダム・令和元年10月)



オニウシノケグサは、5巡目で対象とした122ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の107ダムで確認されました。

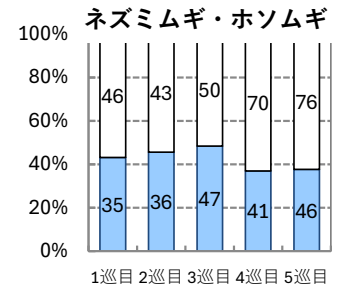


オニウシノケグサ
(竜門ダム・令和3年10月)



■ 確認ダム □ 未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

ネズミムギ、ホソムギは、5巡目で対象とした122ダムのうち、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の46ダムで確認されました。

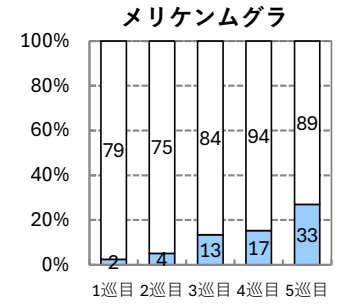


メリケンムグラは、5巡目で対象とした122ダムのうち、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の33ダムで確認されました。



メリケンムグラ

(長島ダム・令和5年11月)

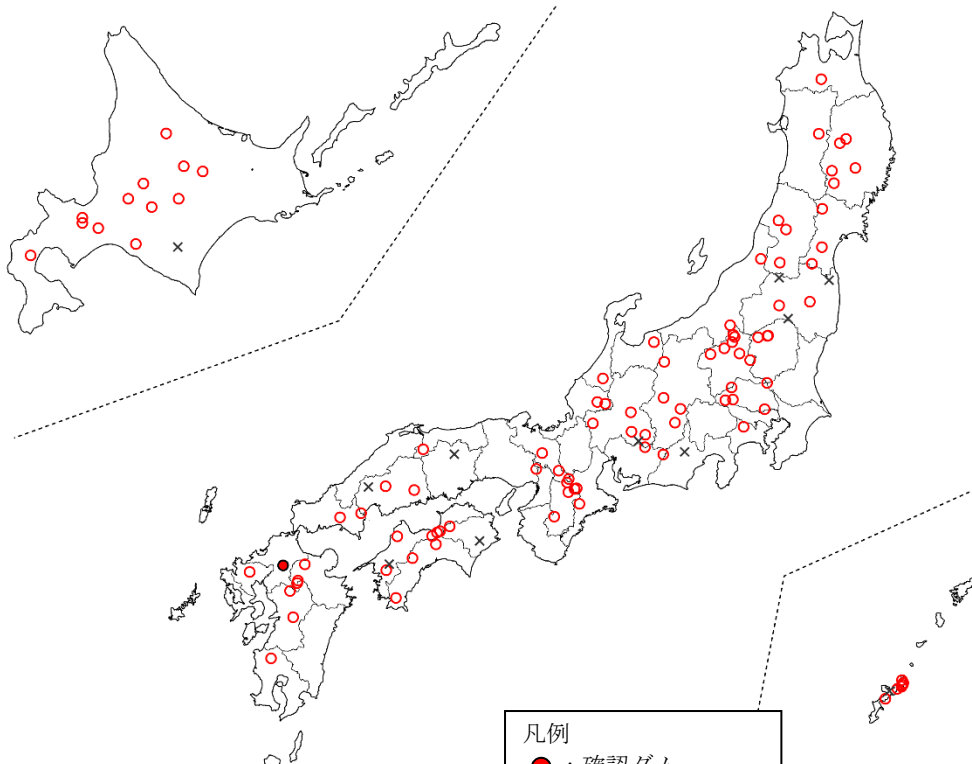


■ 確認ダム □ 未確認ダム

※グラフ中の数値はダム数

1
2

1 3 巡目調査 (平成 2~7 年度)



2 5 巡目調査 (平成 28~令和 6 年度)

凡例
 ● : 確認ダム
 ○ : 未確認ダム
 × : 調査未実施ダム
 (ダム名は本年度とりまとめ対象ダムを示す)

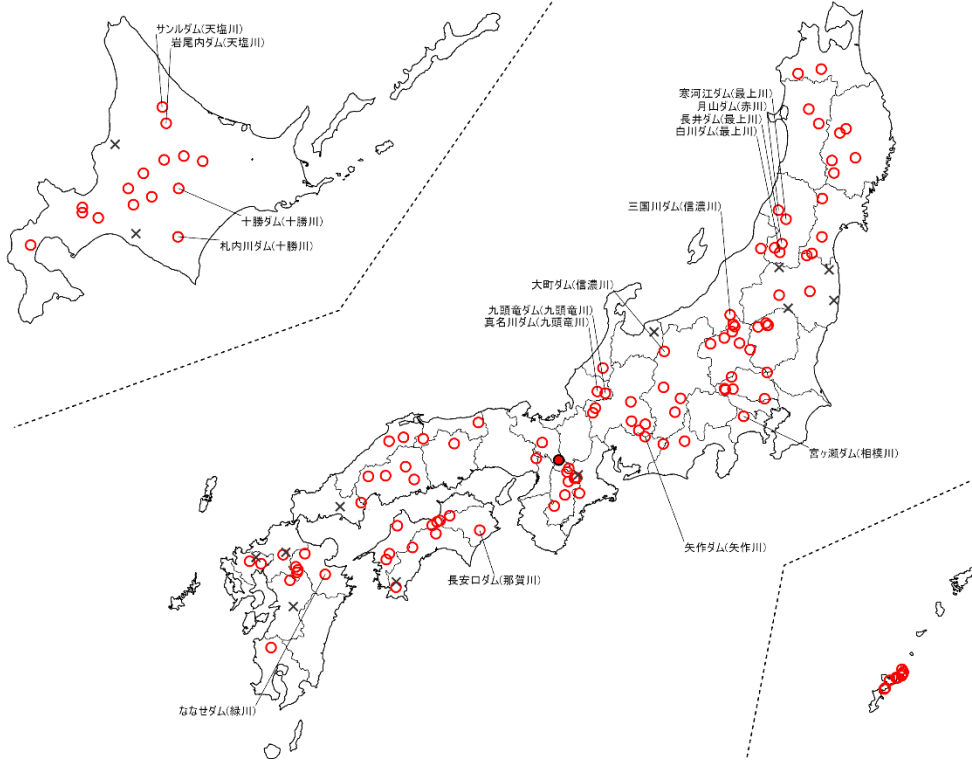
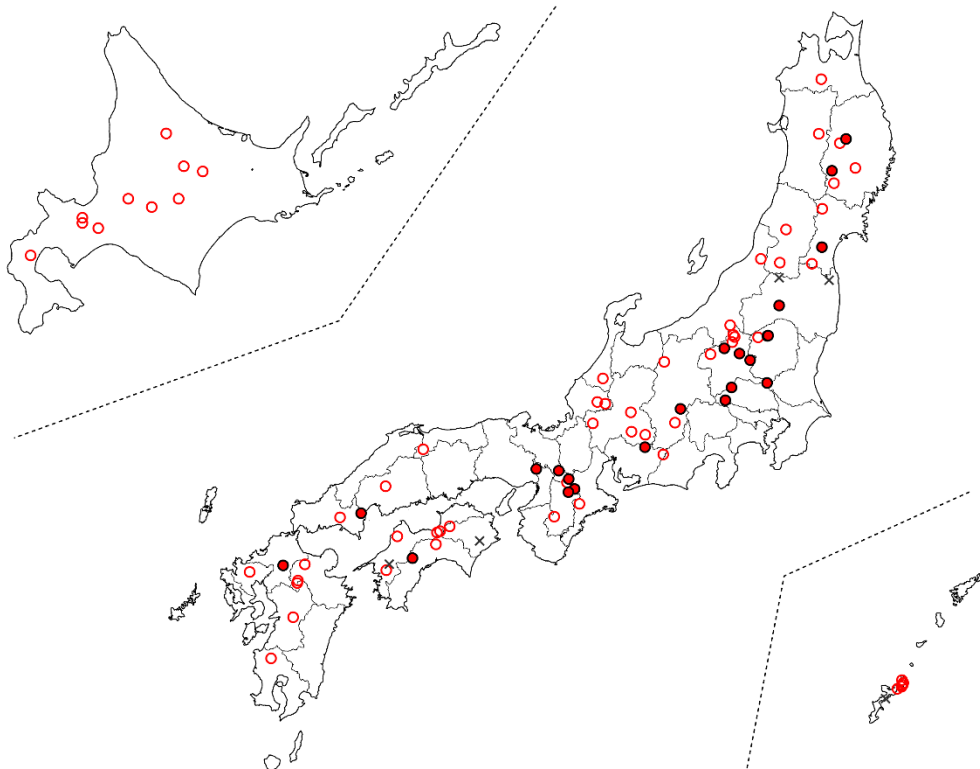


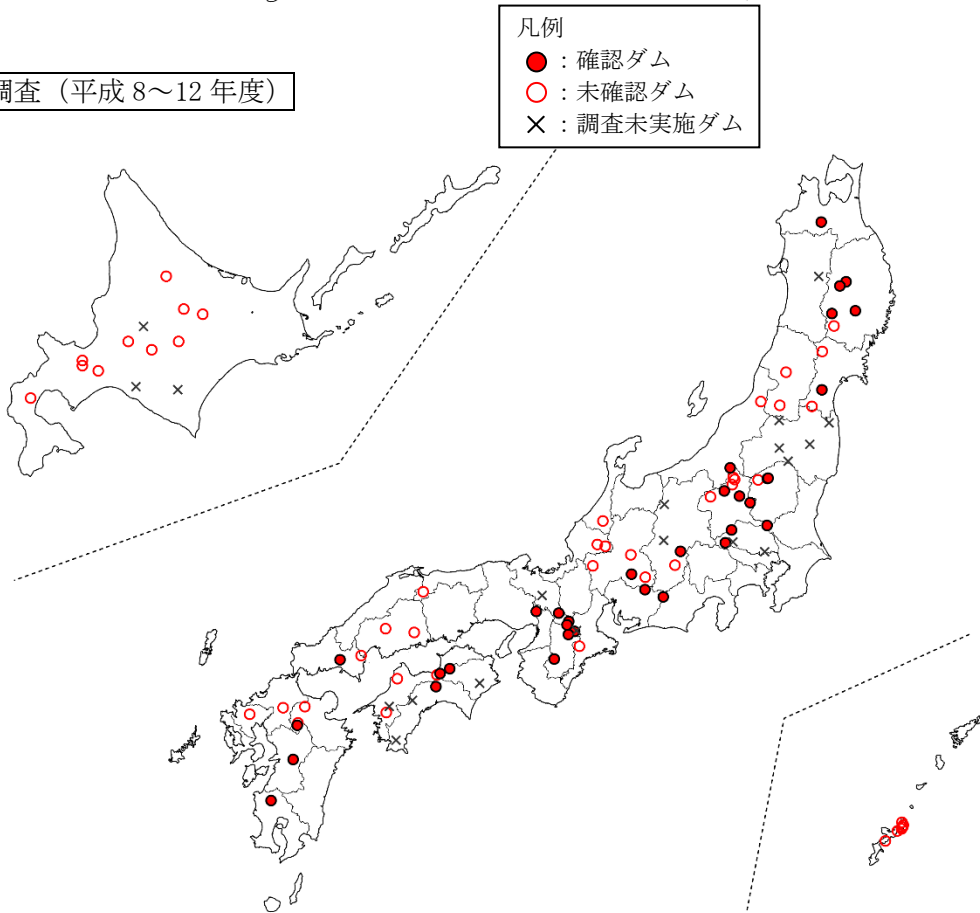
図 4-2 ナガエツルノゲイトウ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、5 巡目調査)

※ナガエツルノゲイトウは 1, 2, 4 巡目には確認されていない。

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)



2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

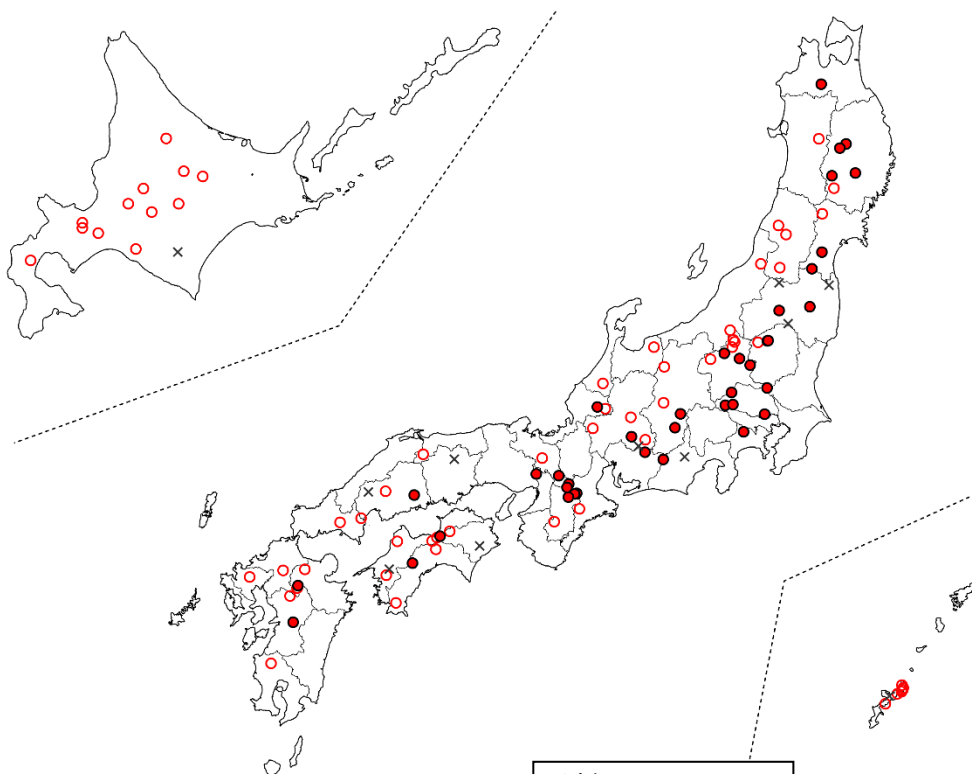


4 図 4-3 アレチウリ (特定外来生物) の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

5

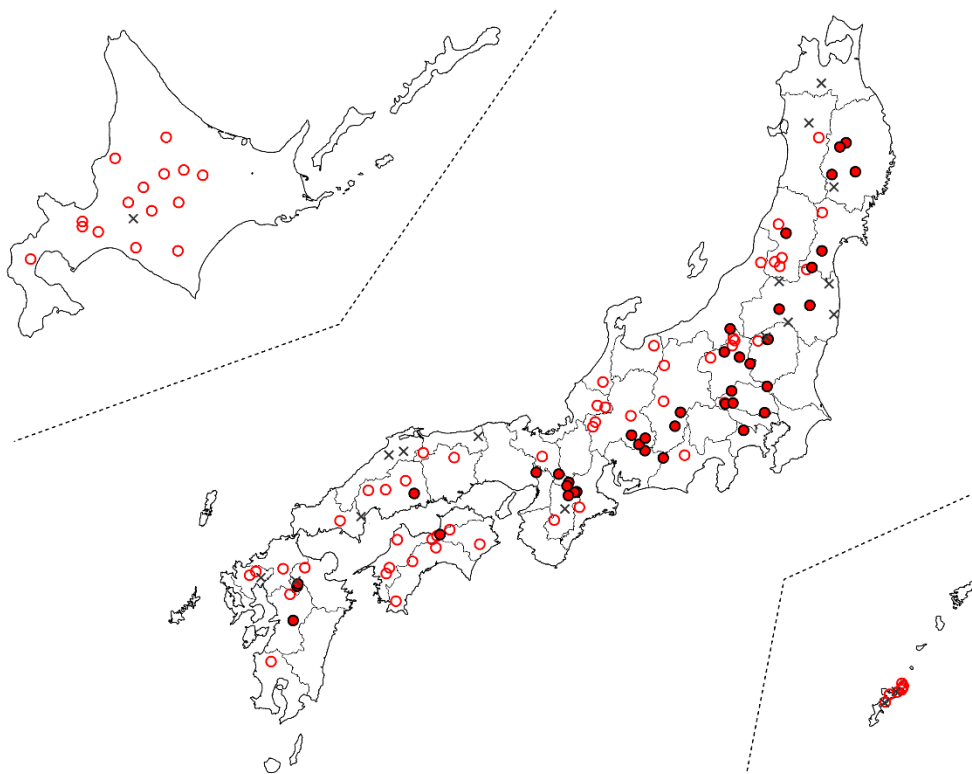
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



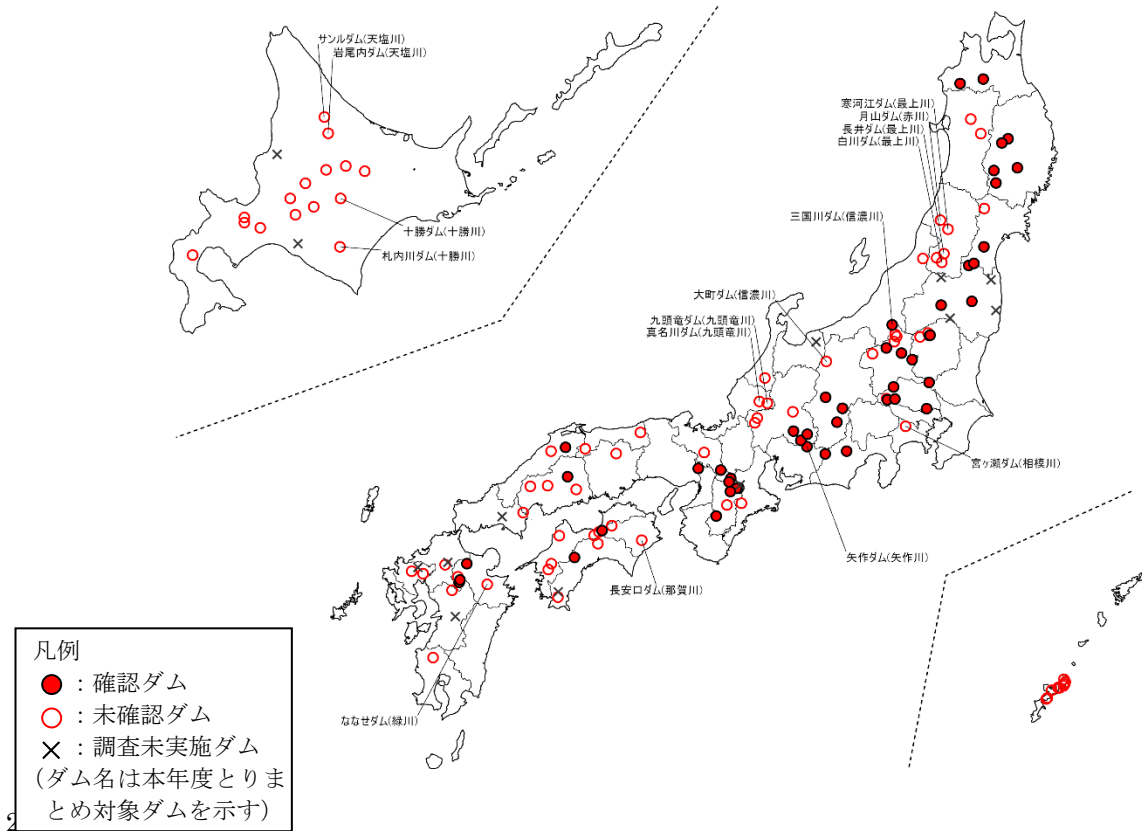
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)

凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム



4
5 図 4-4 アレチウリ (特定外来生物) の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

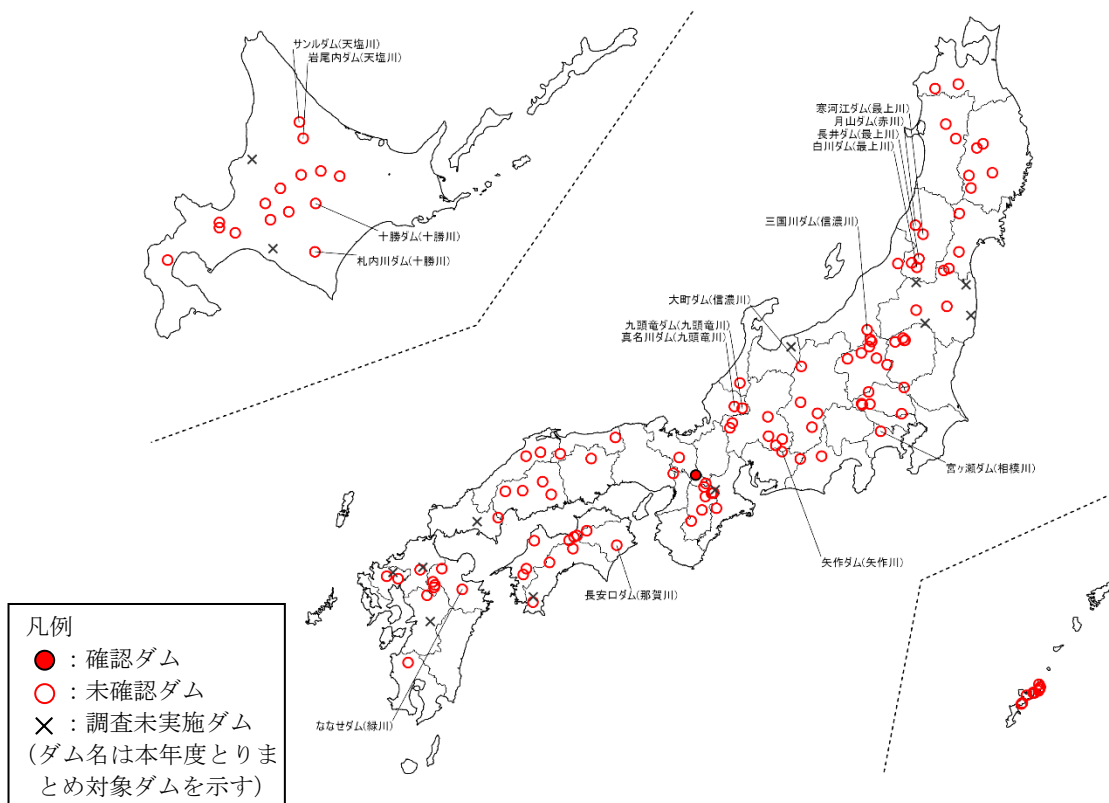
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



3
4
5
6

図 4-5 アレチウリ(特定外来生物)の確認状況(5 巡目調査)

1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)

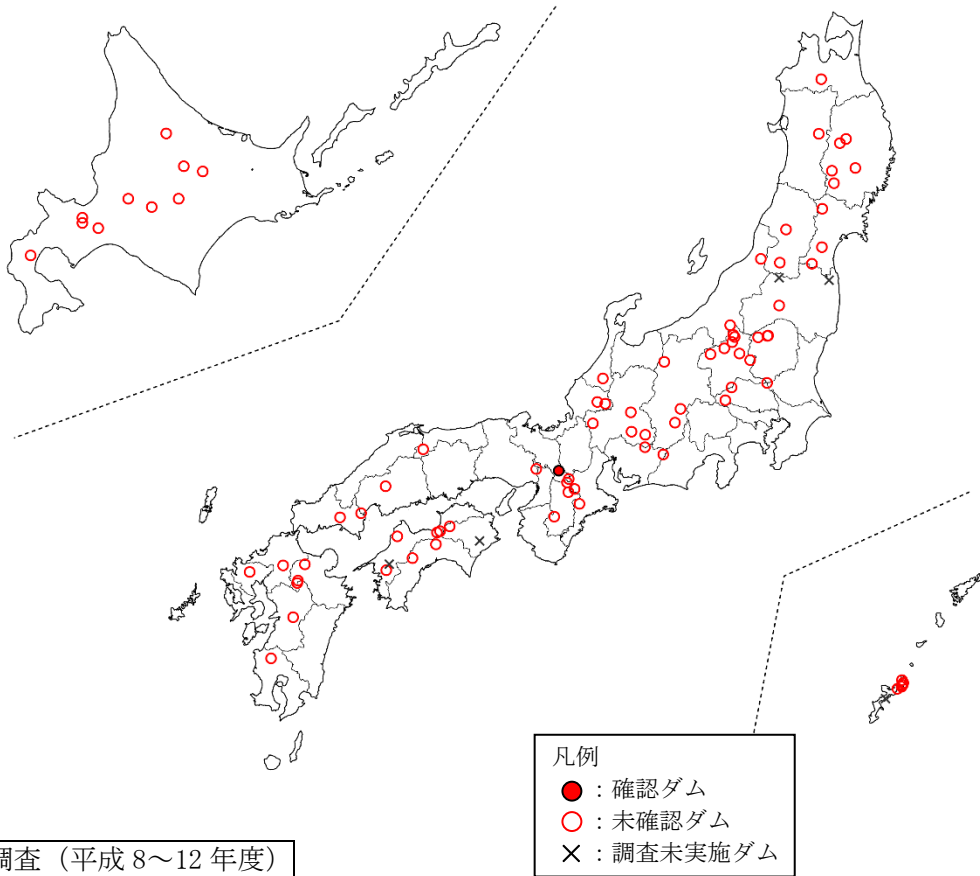


2 図 4-6 オオバナミズキンバイ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

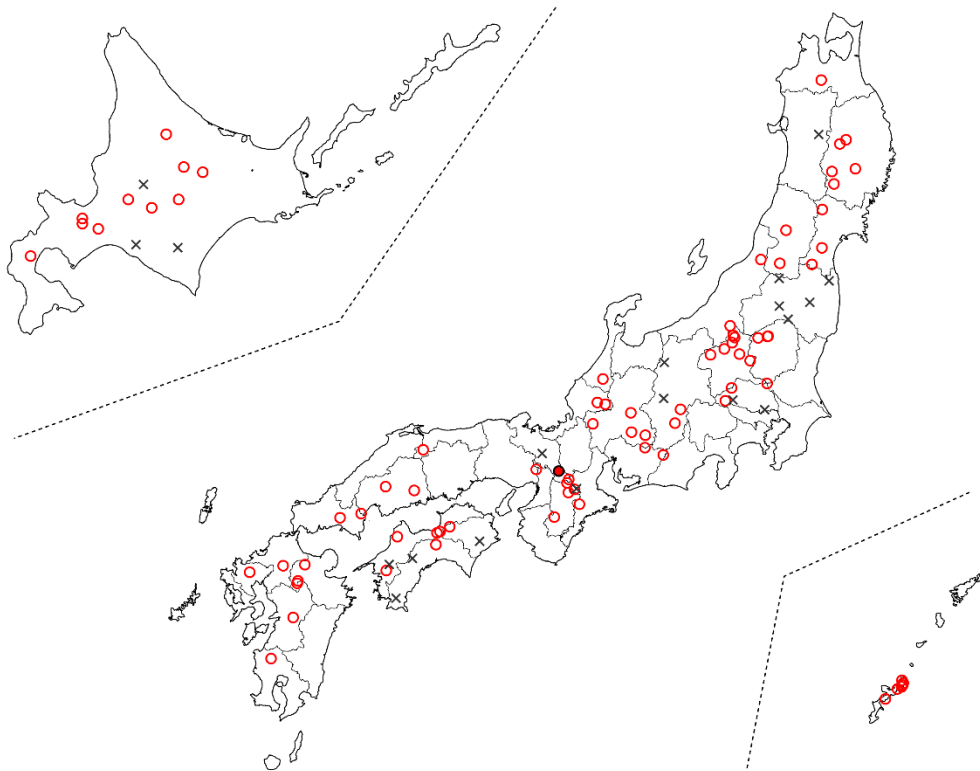
3 ※オオバナミズキンバイは 1, 2, 3, 4 巡目には確認されていない。

4
5

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

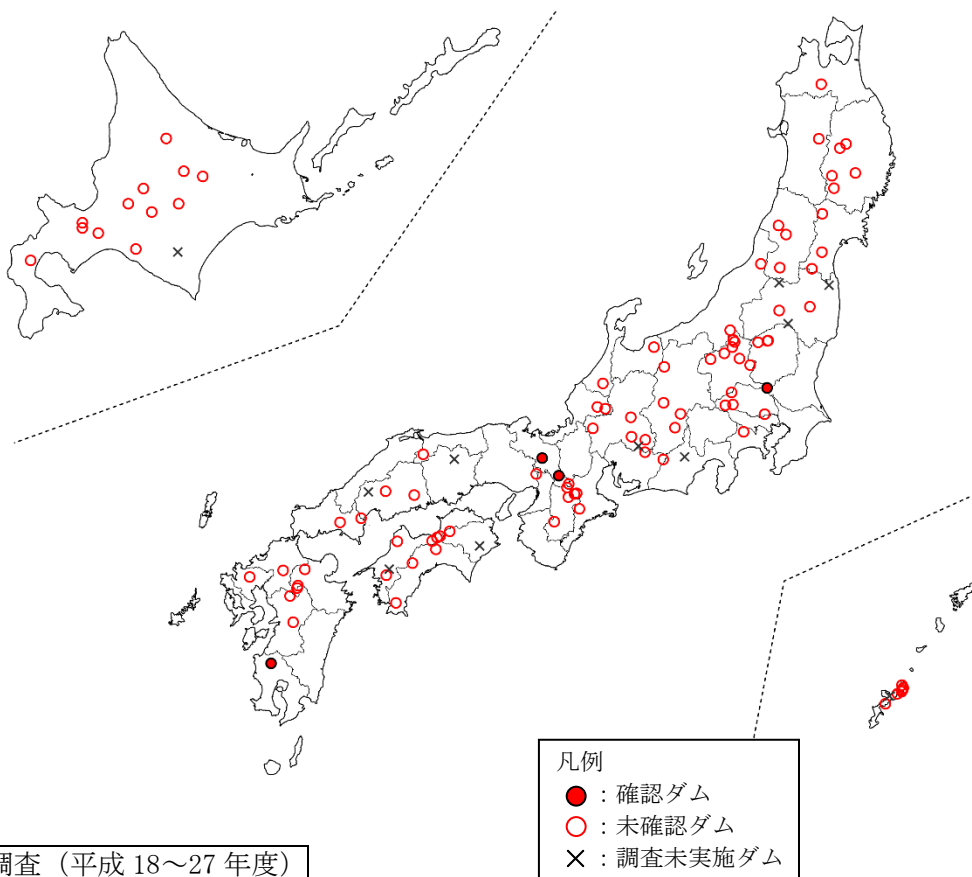


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

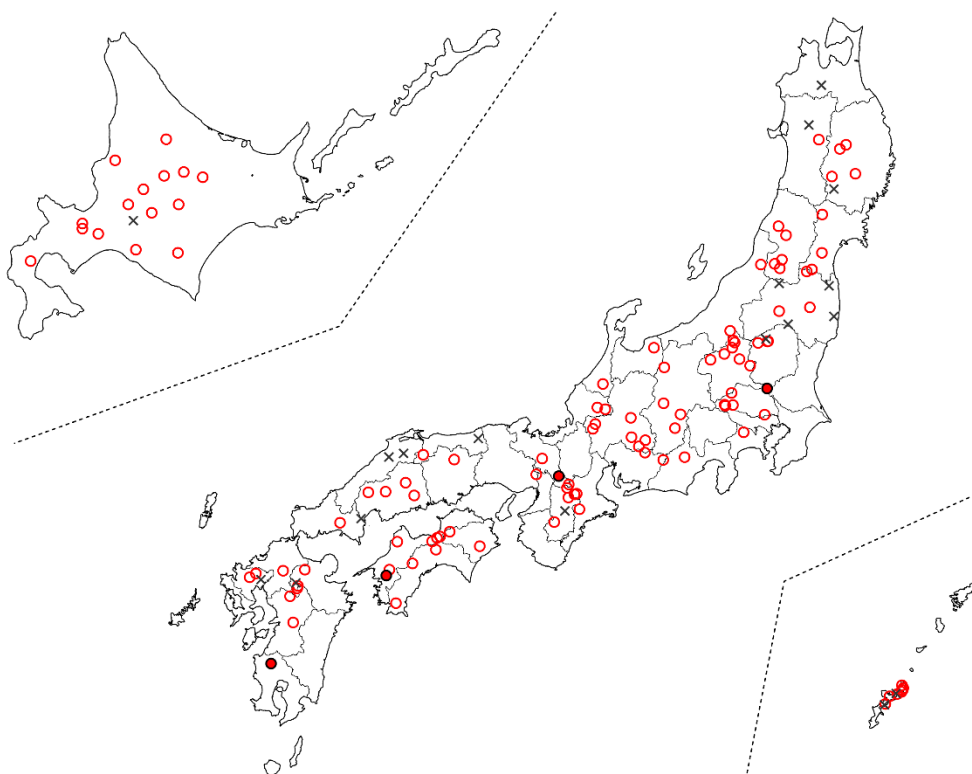


4 図 4-7 オオフサモ(特定外来生物)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
5
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

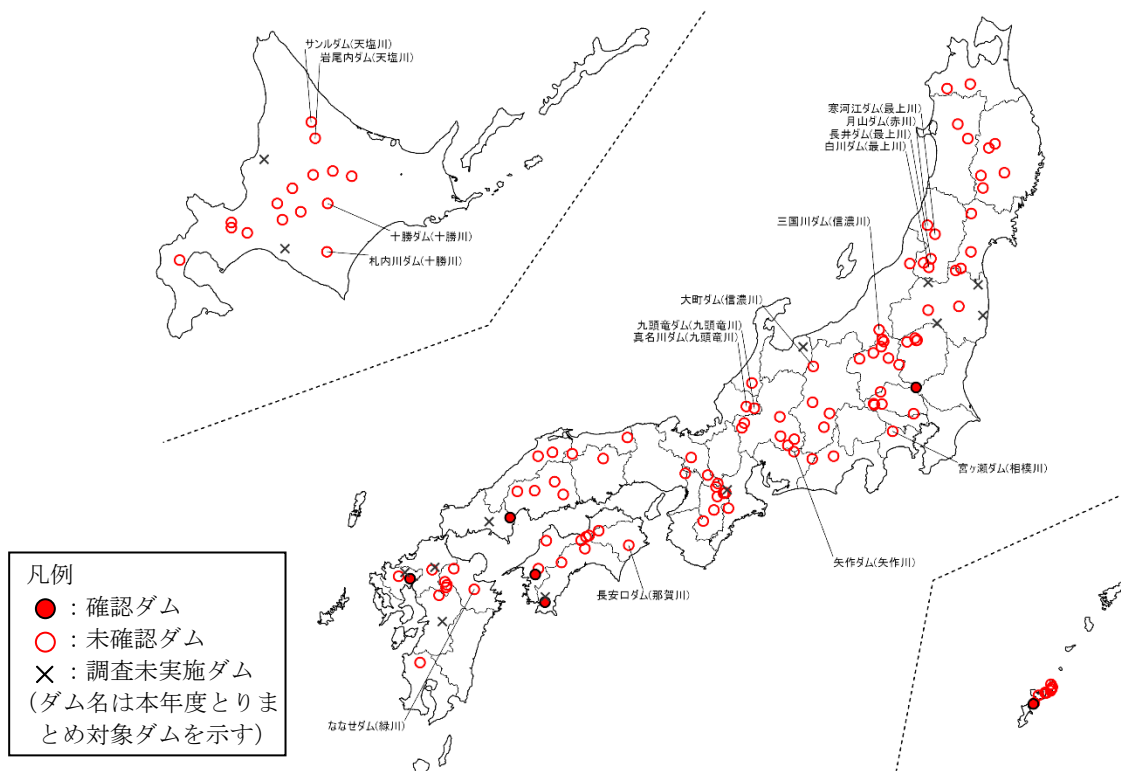


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-8 オオフサモ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

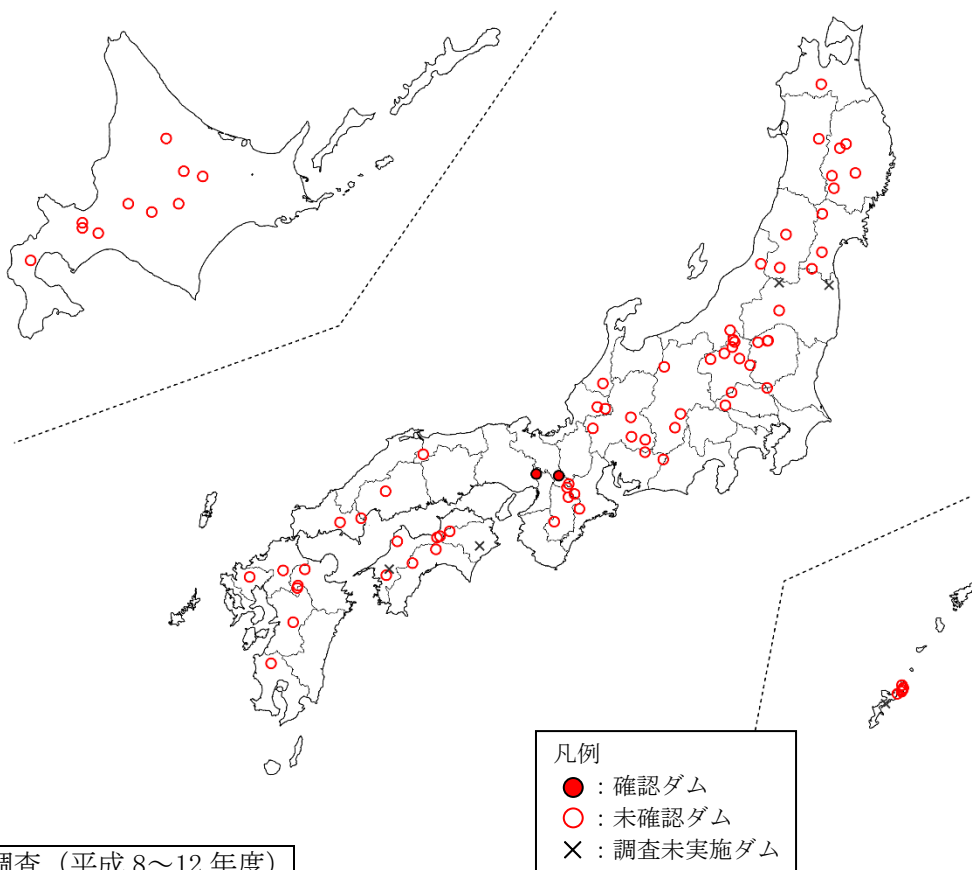
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



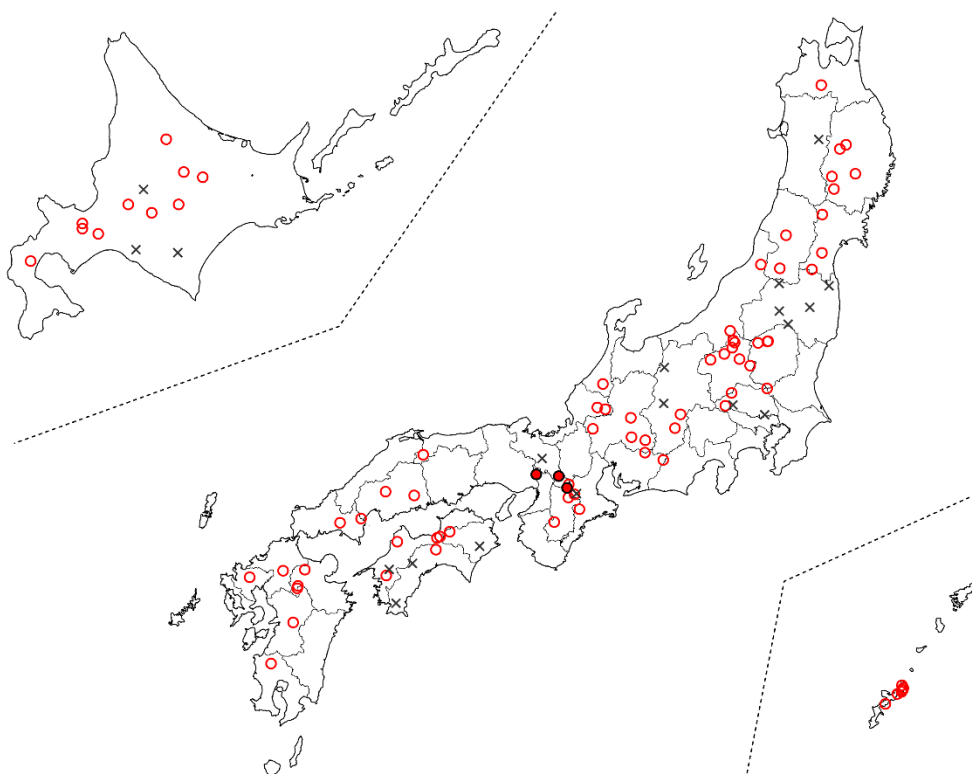
2
3 図 4-9 オオフサモ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

4
5

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

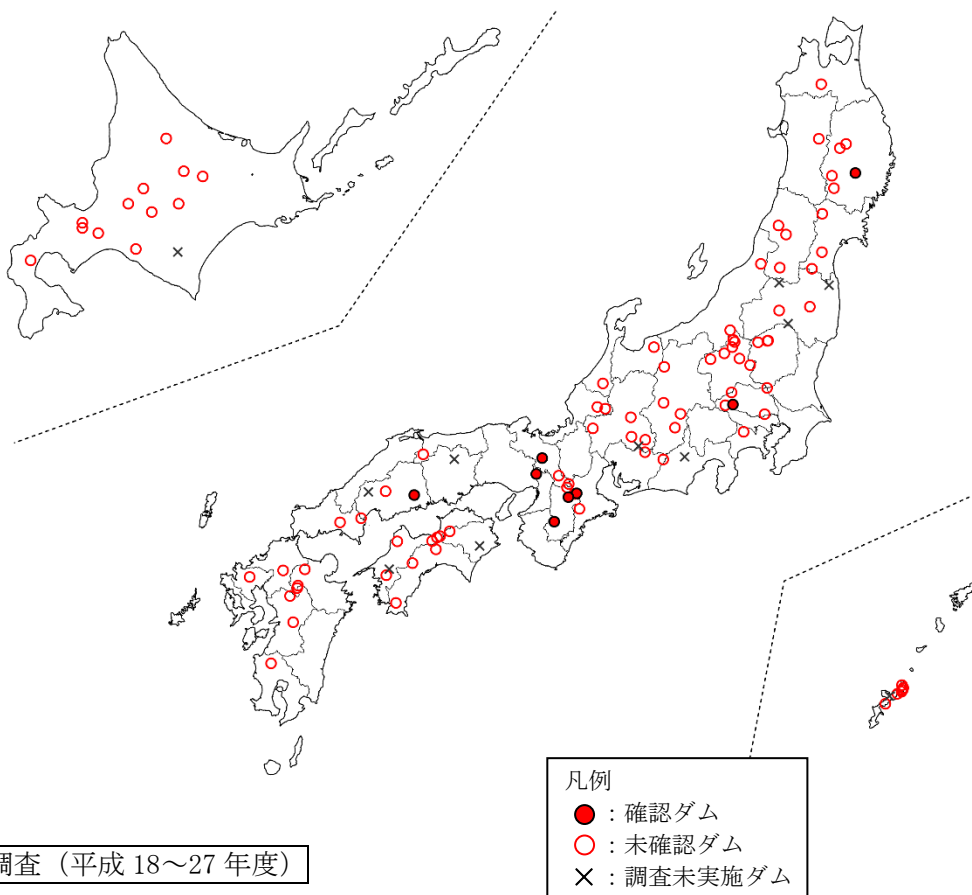


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

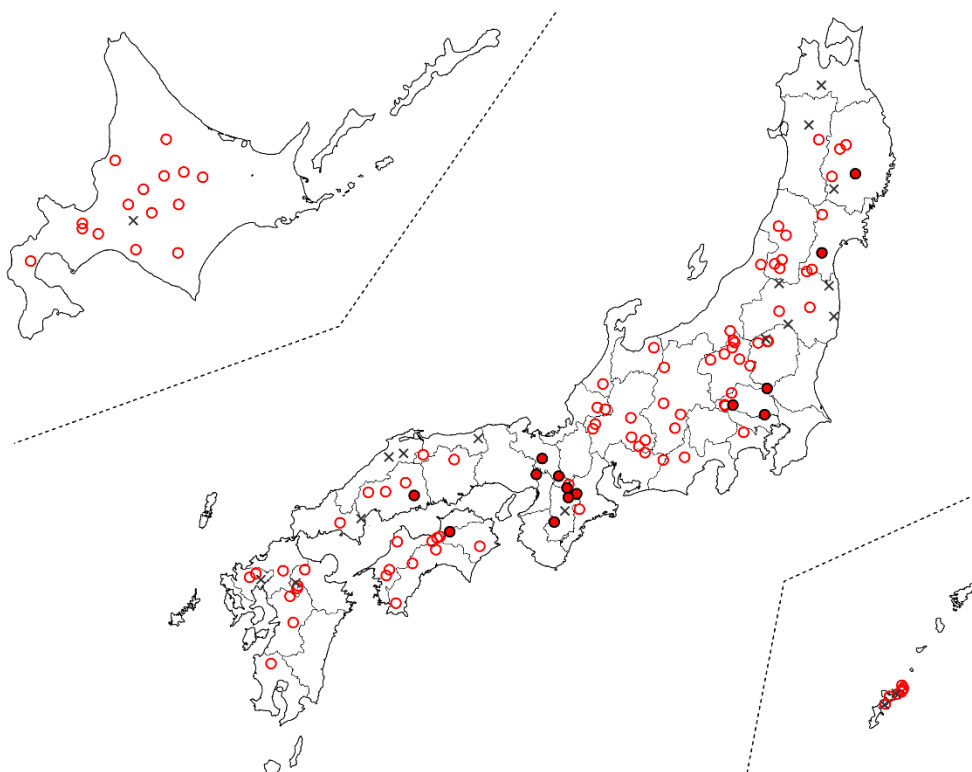


4 図 4-10 オオカワデシヤ(特定外来生物)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

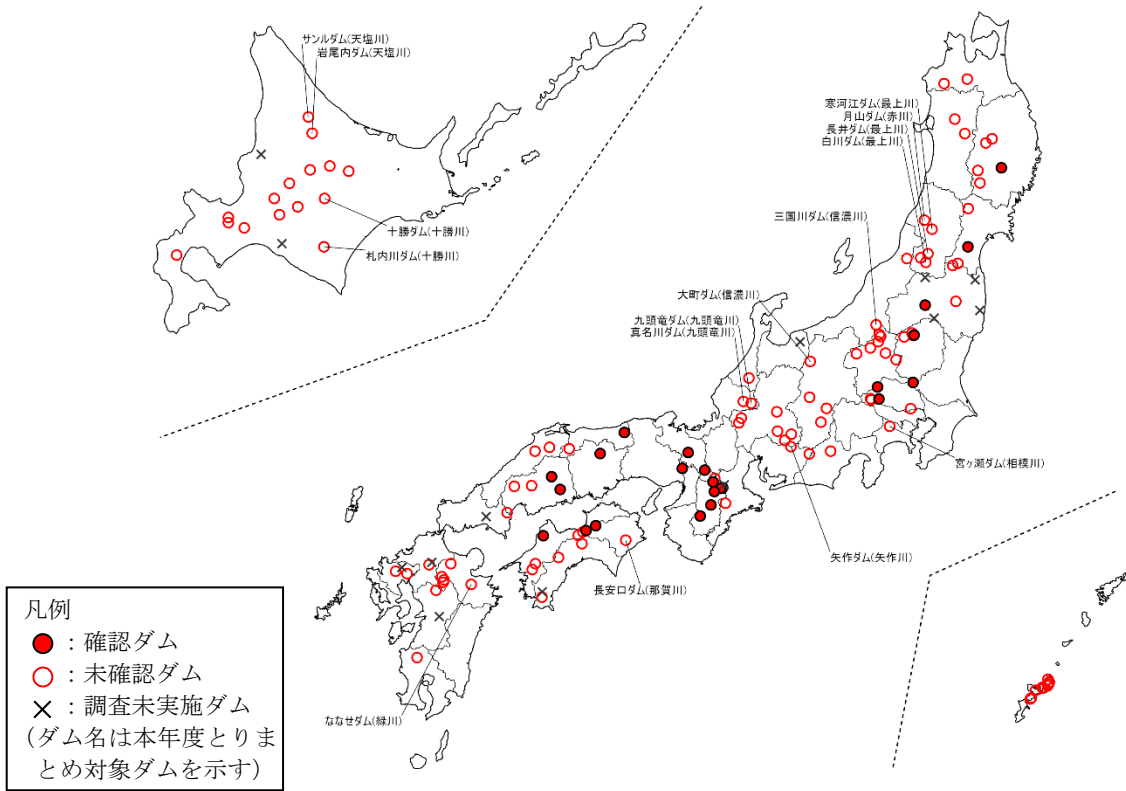


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-11 オオカワデシヤ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

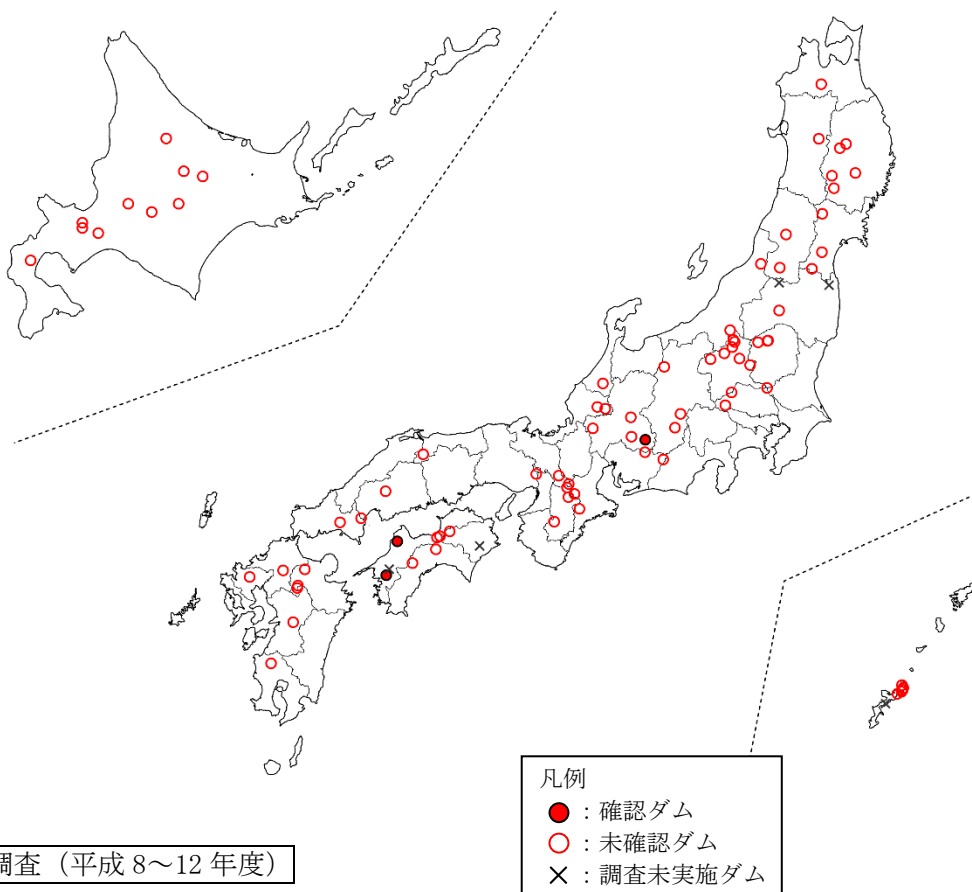
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



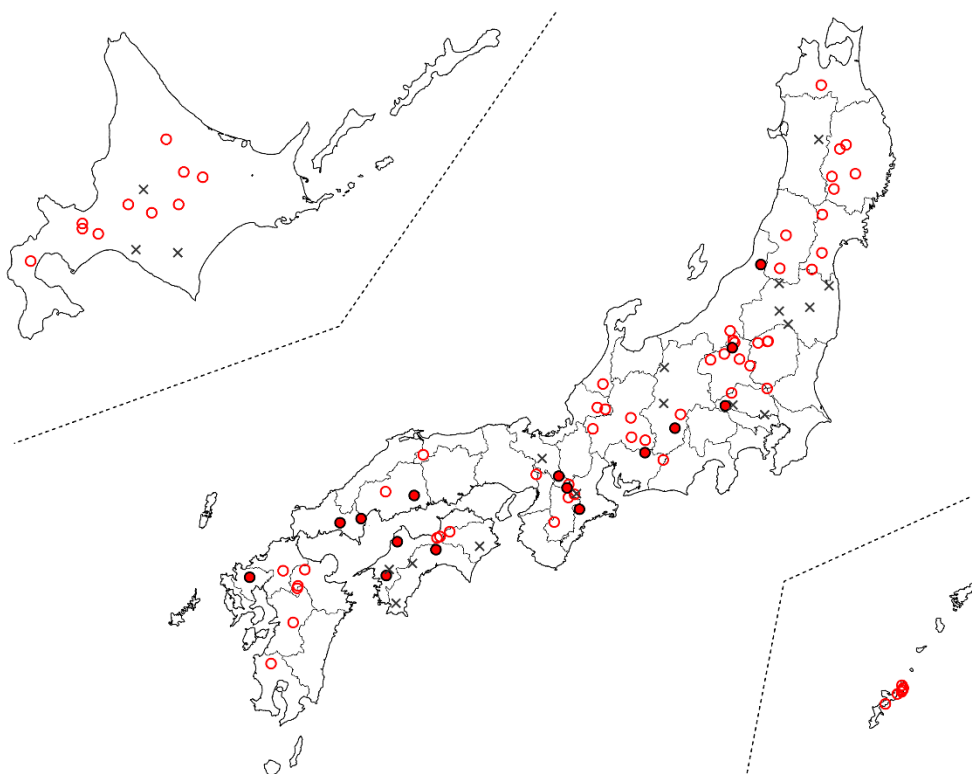
2
3 図 4-12 オオカワヂシャ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

4
5

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

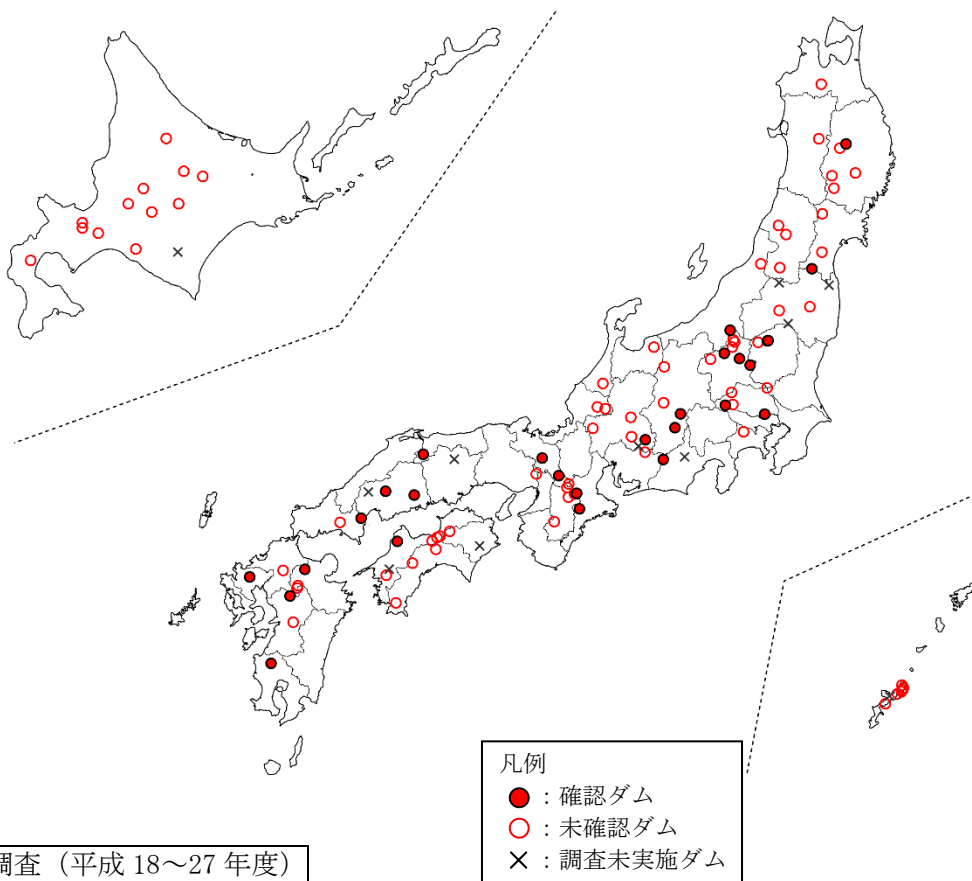


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

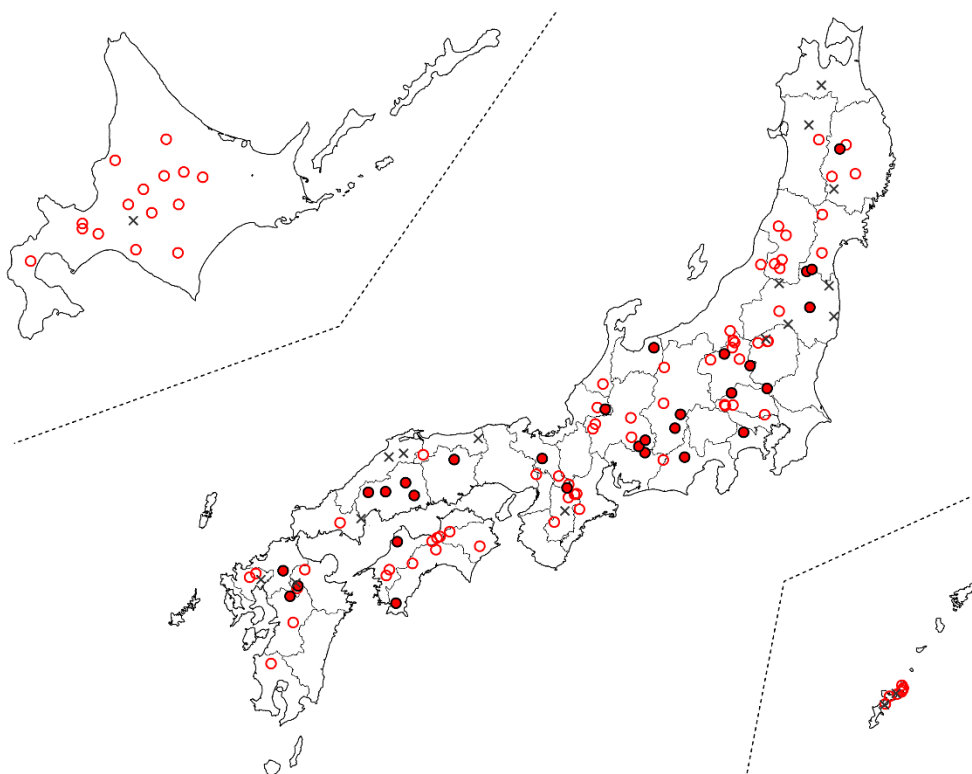


4
5 図 4-13 オオキンケイギク (特定外来生物) の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

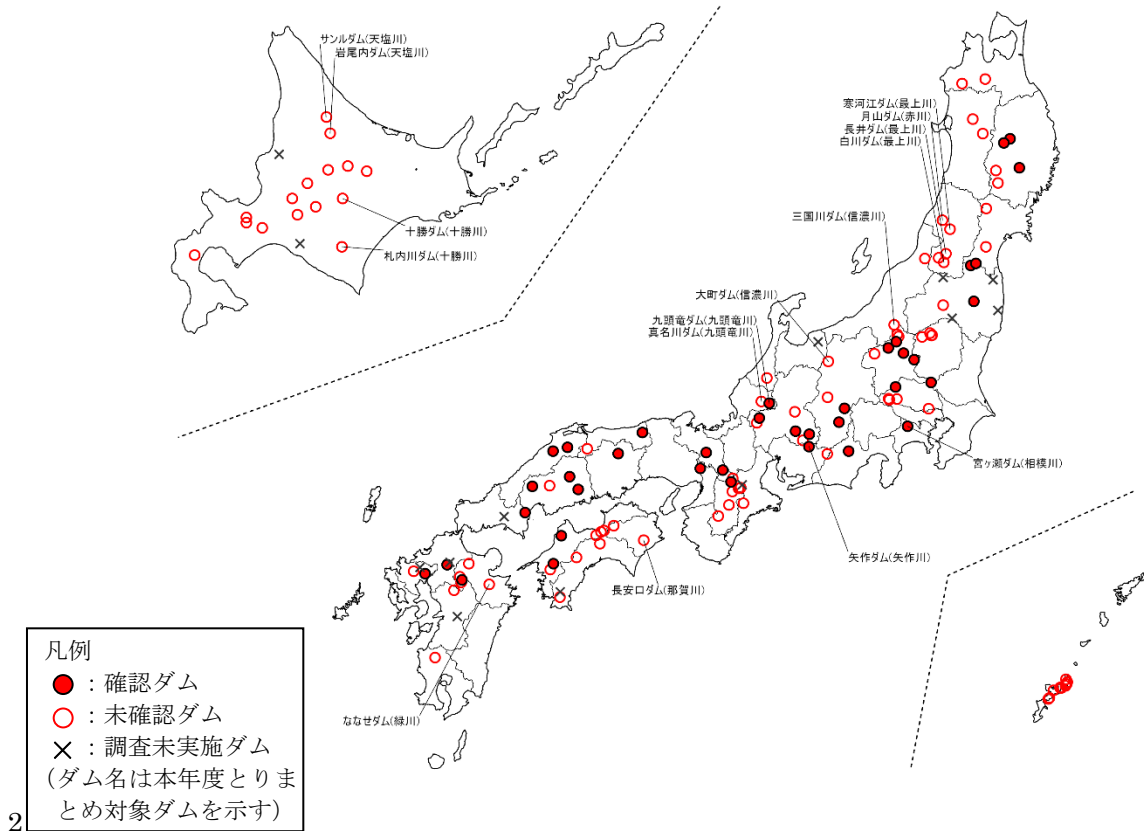


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-14 オオキンケイギク (特定外来生物) の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

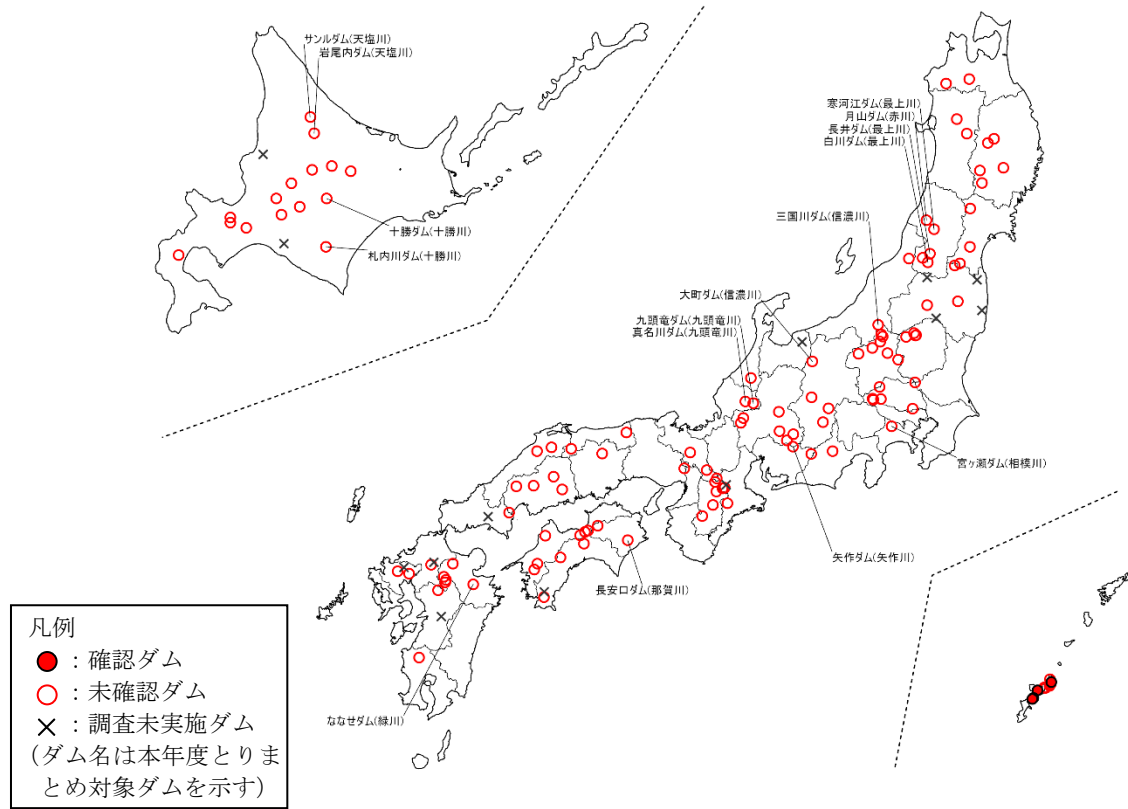
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



2
3
4
5
6

図 4-15 オオキンケイギク (特定外来生物) の確認状況 (5 巡目調査)

1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



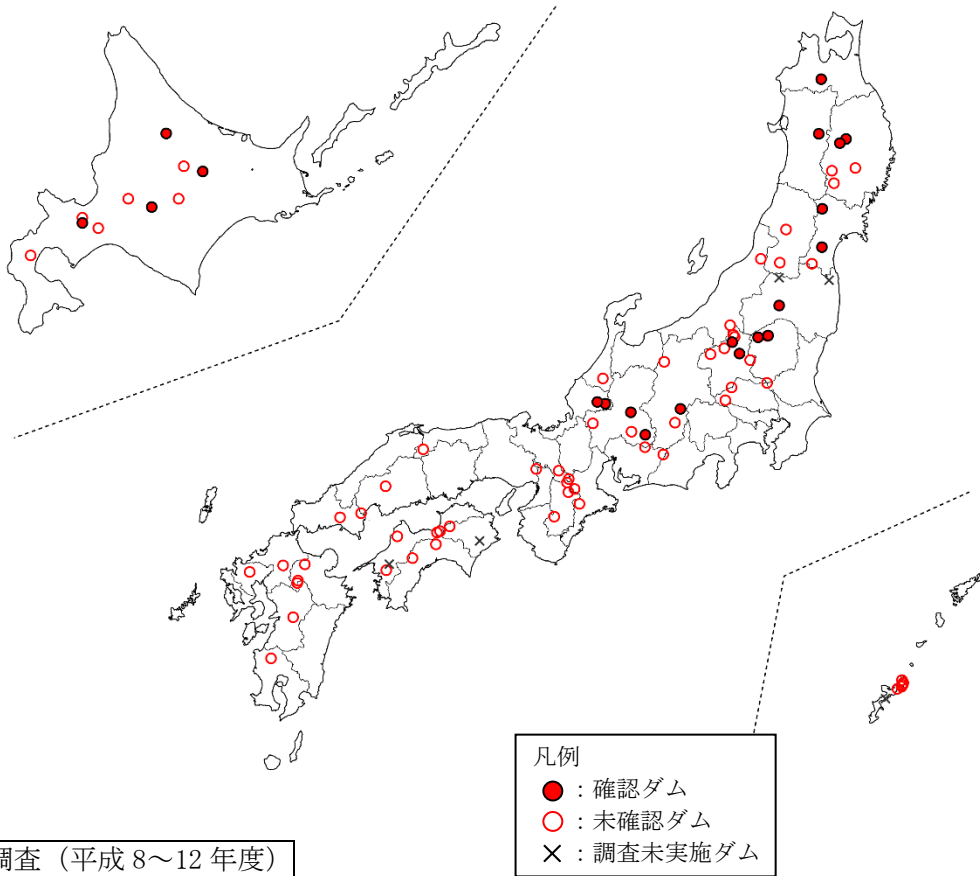
2
3
4 図 4-16 ツルヒヨドリ (特定外来生物) の確認状況 (5 巡目調査)

5 ※ツルヒヨドリは 1, 2, 3, 4 巡目には確認されていない。

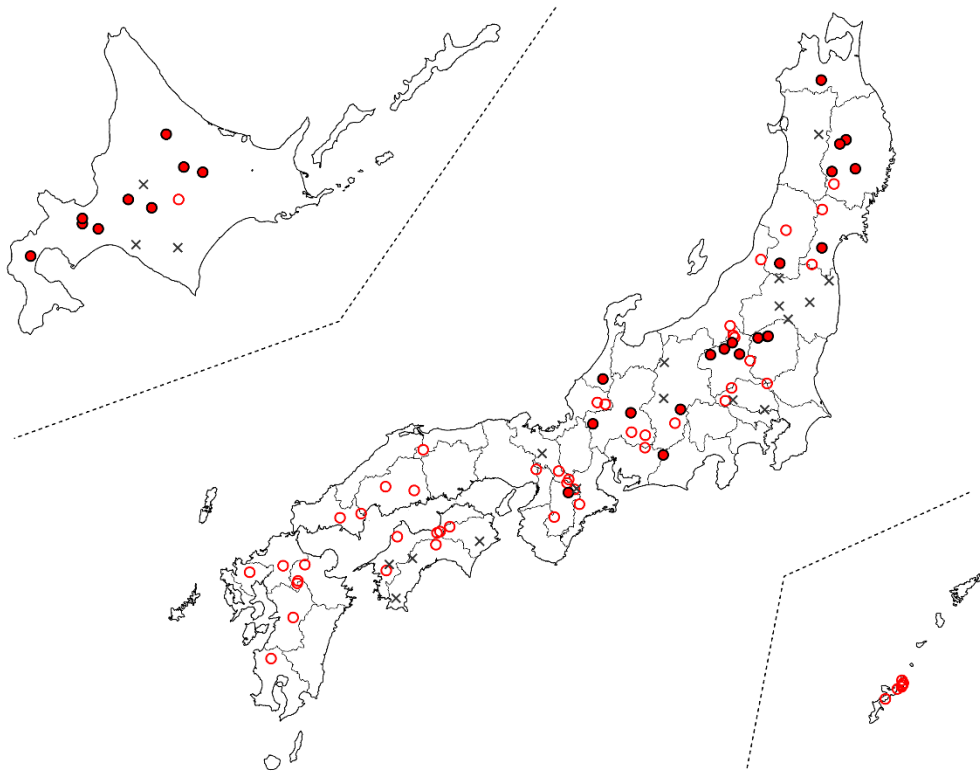
6

7

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

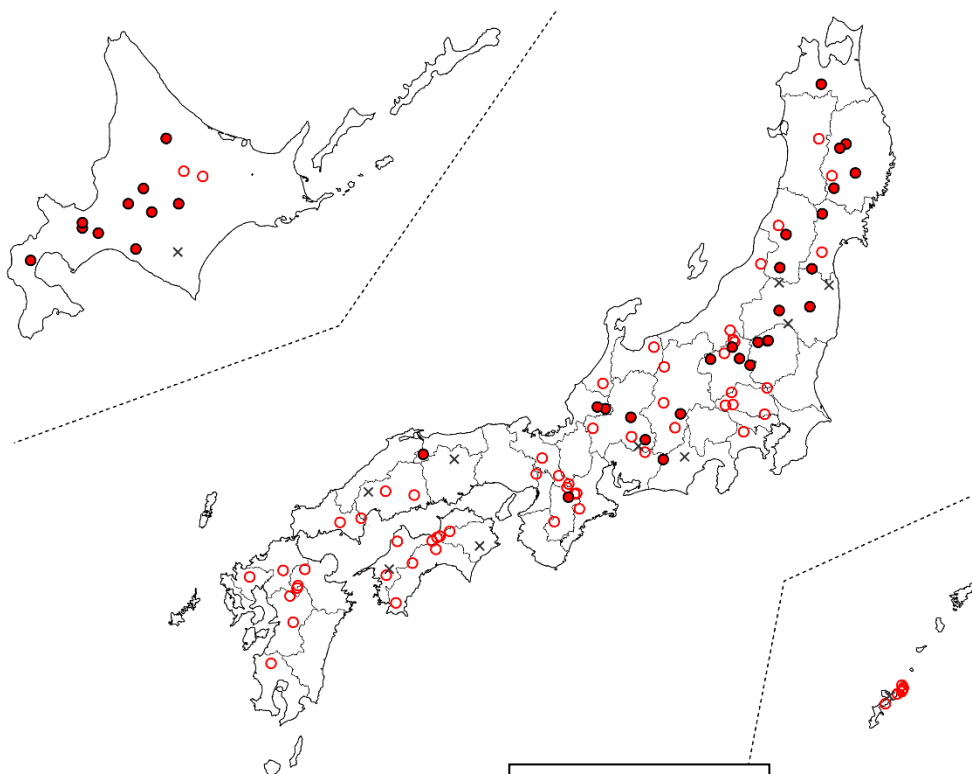


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



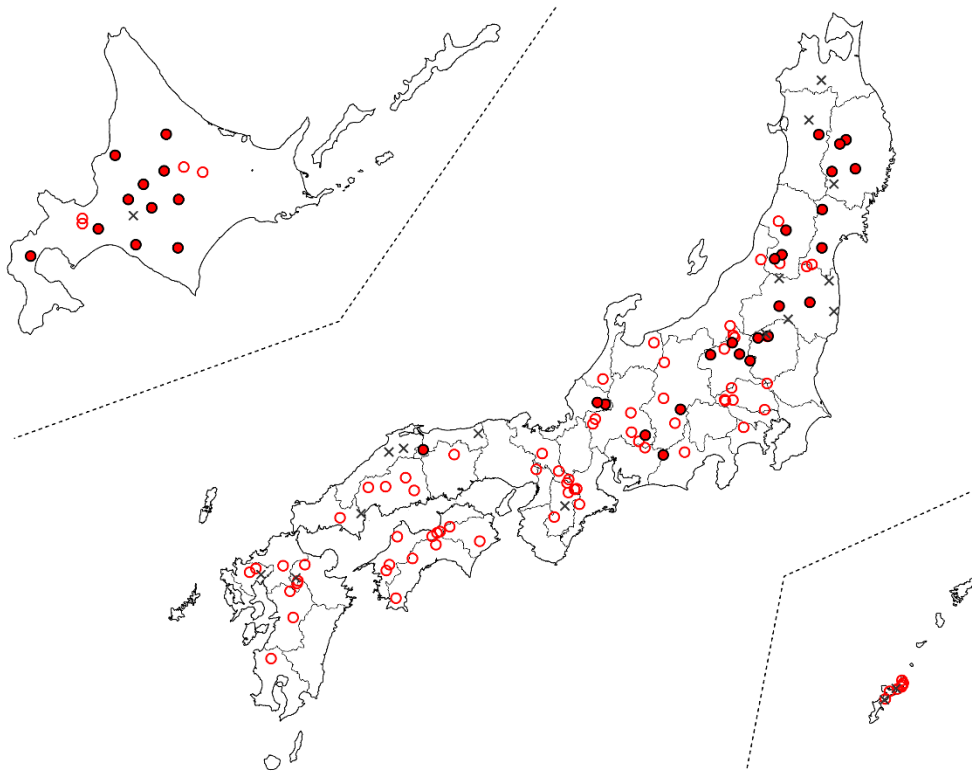
4
5 図 4-17 オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



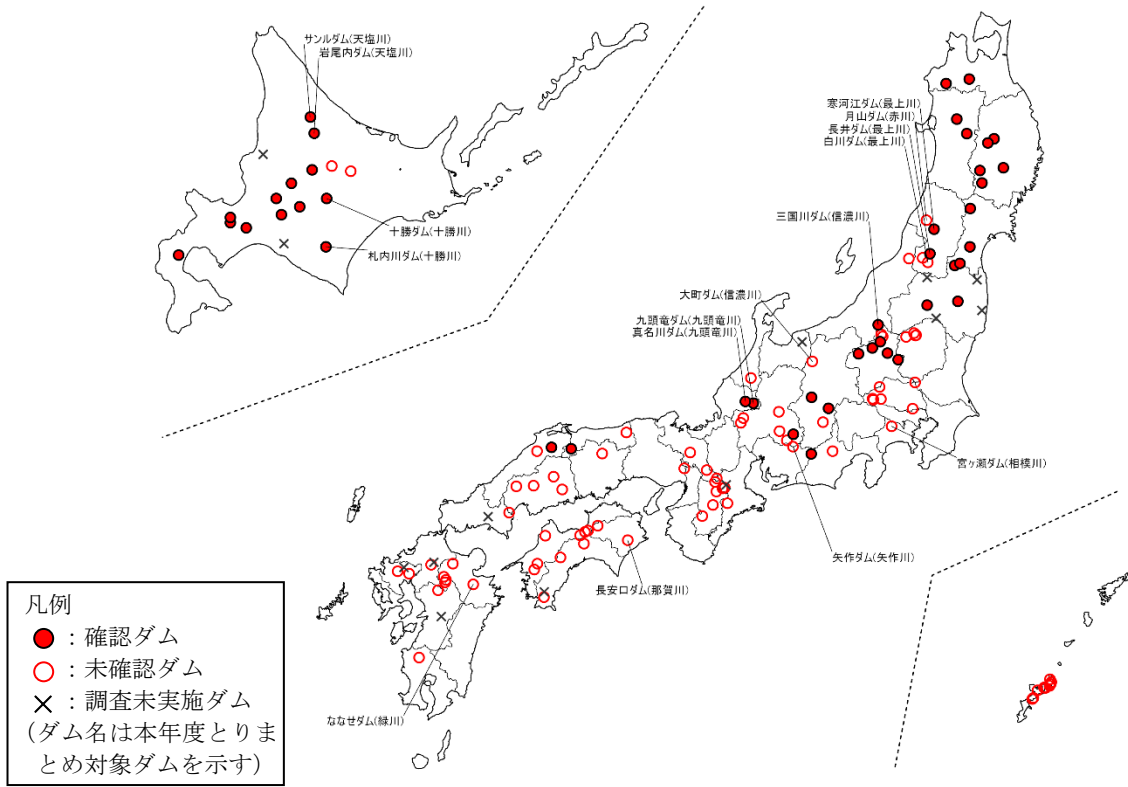
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)

凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム



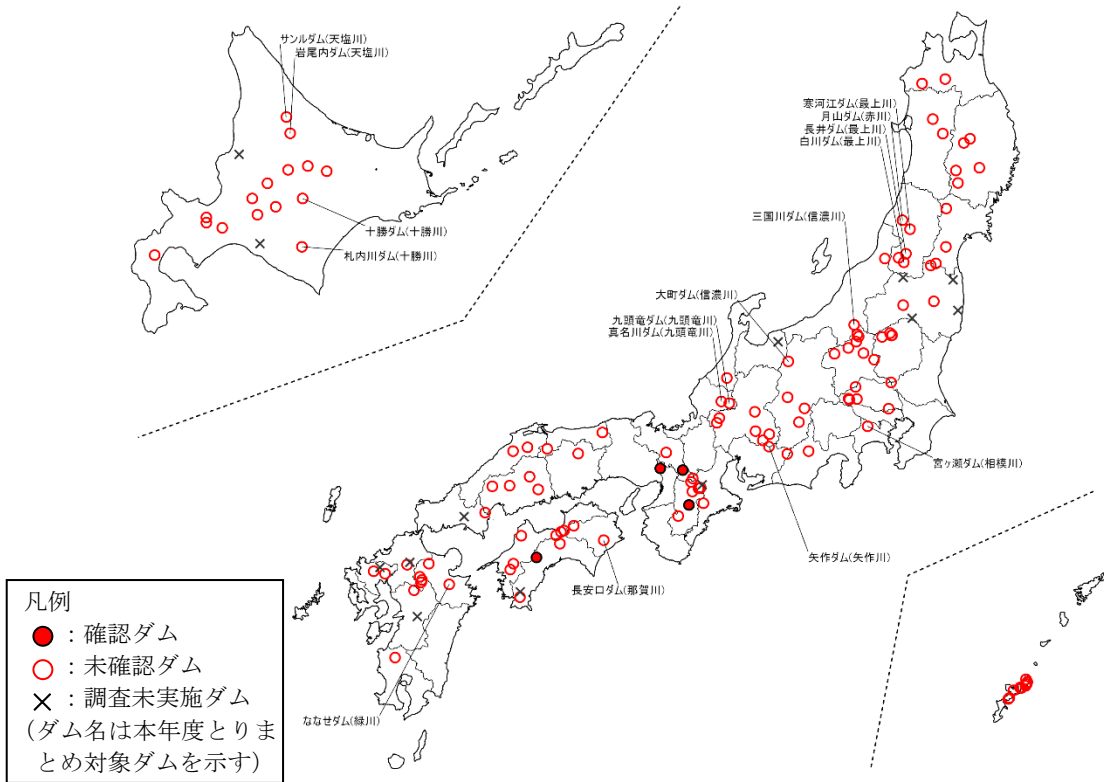
4
5 図 4-18 オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



2 3 4 5 図 4-19 オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)

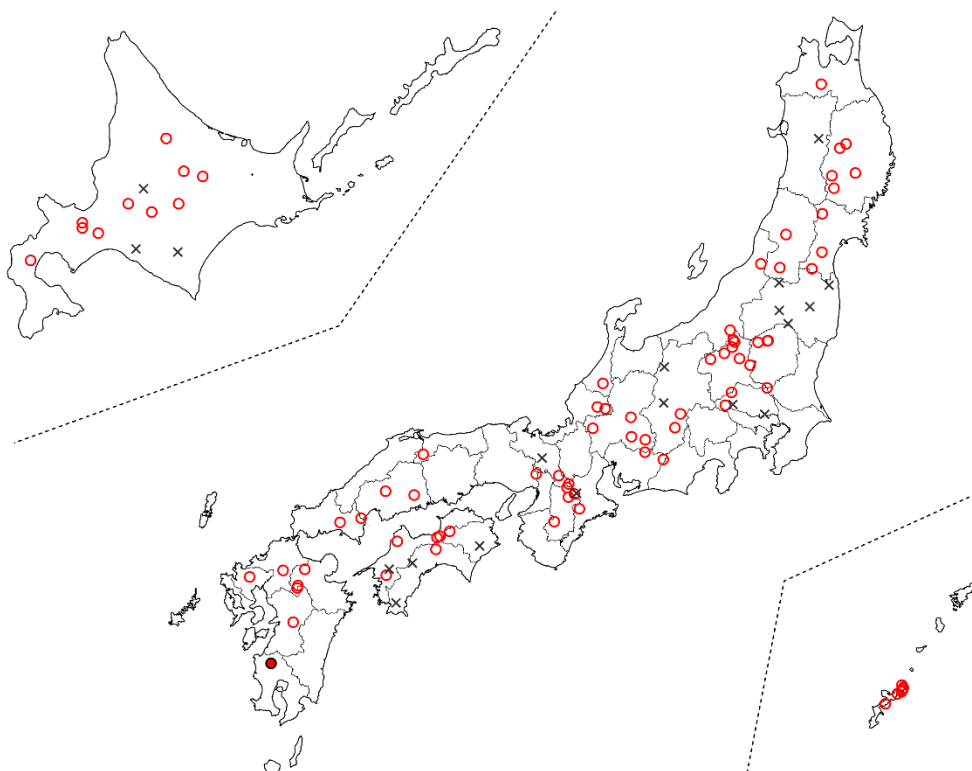


2
3
4
5
6

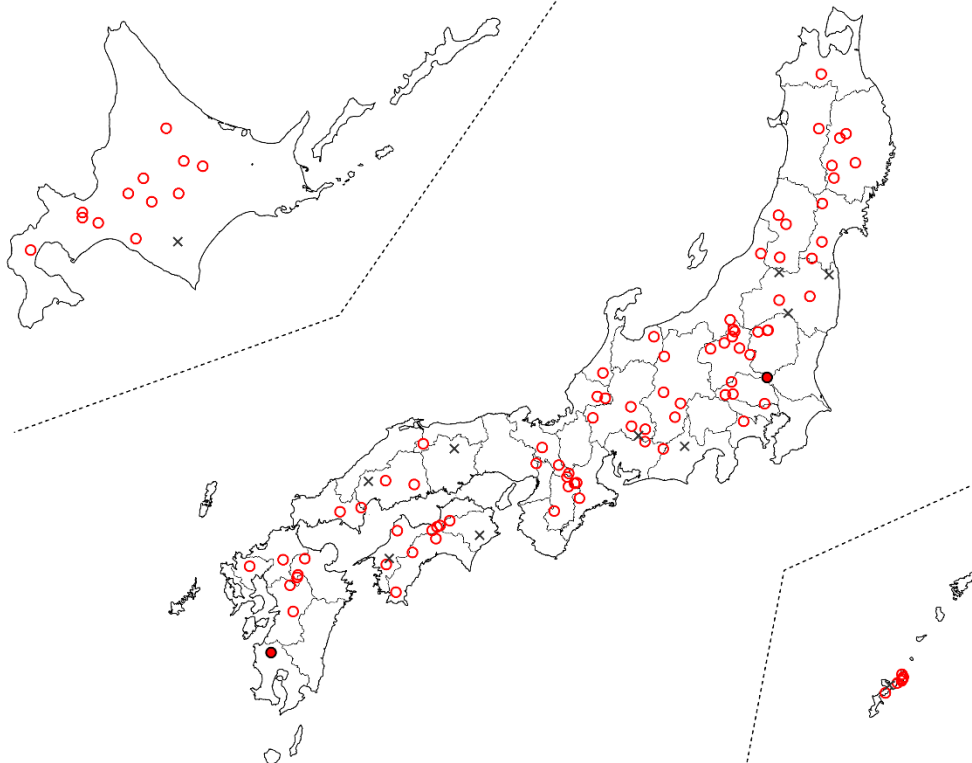
図 4-20 ナルトサワギク(特定外来生物)の確認状況(5巡目調査)

※ナルトサワギクは1, 2, 3, 4巡目には確認されていない。

1 2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



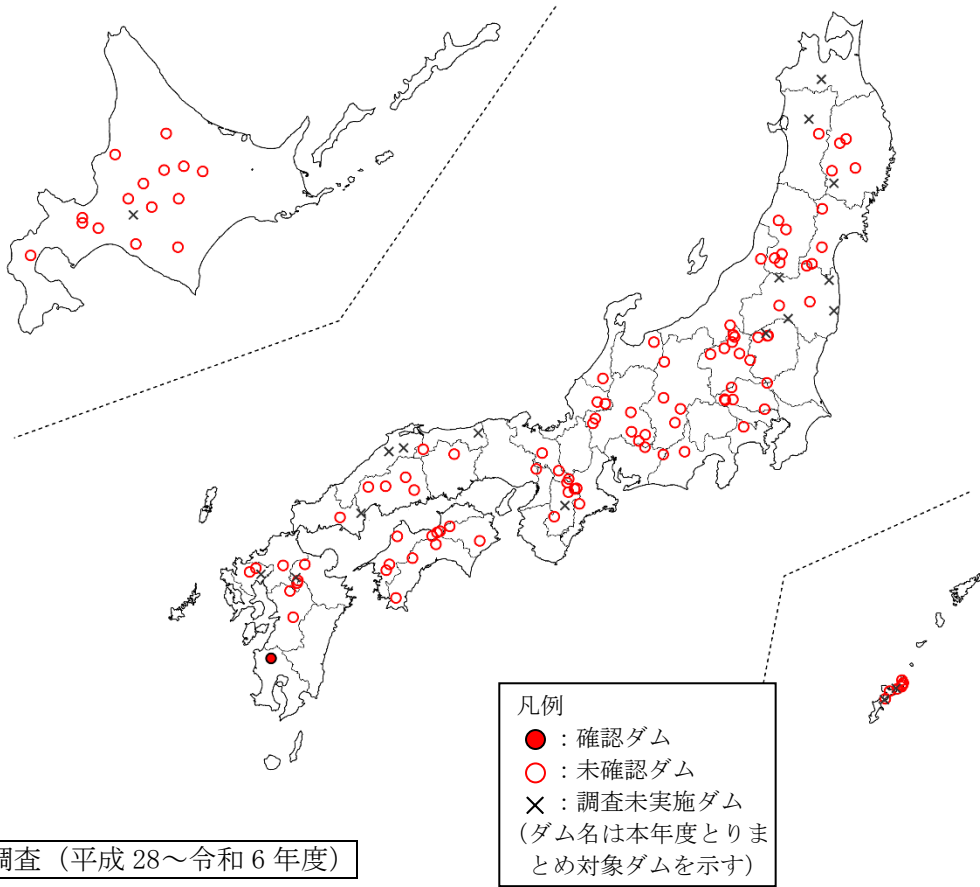
2 3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



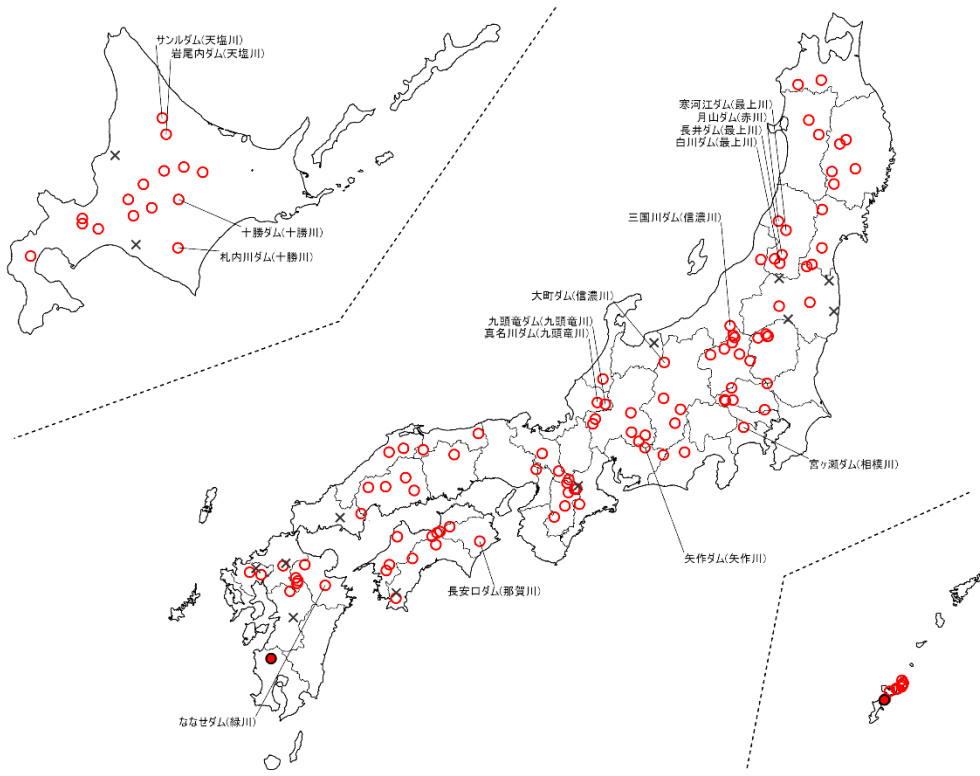
凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4 図 4-21 ボタンウキクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (2 巡目調査、3 巡目調査)
5
6

1 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



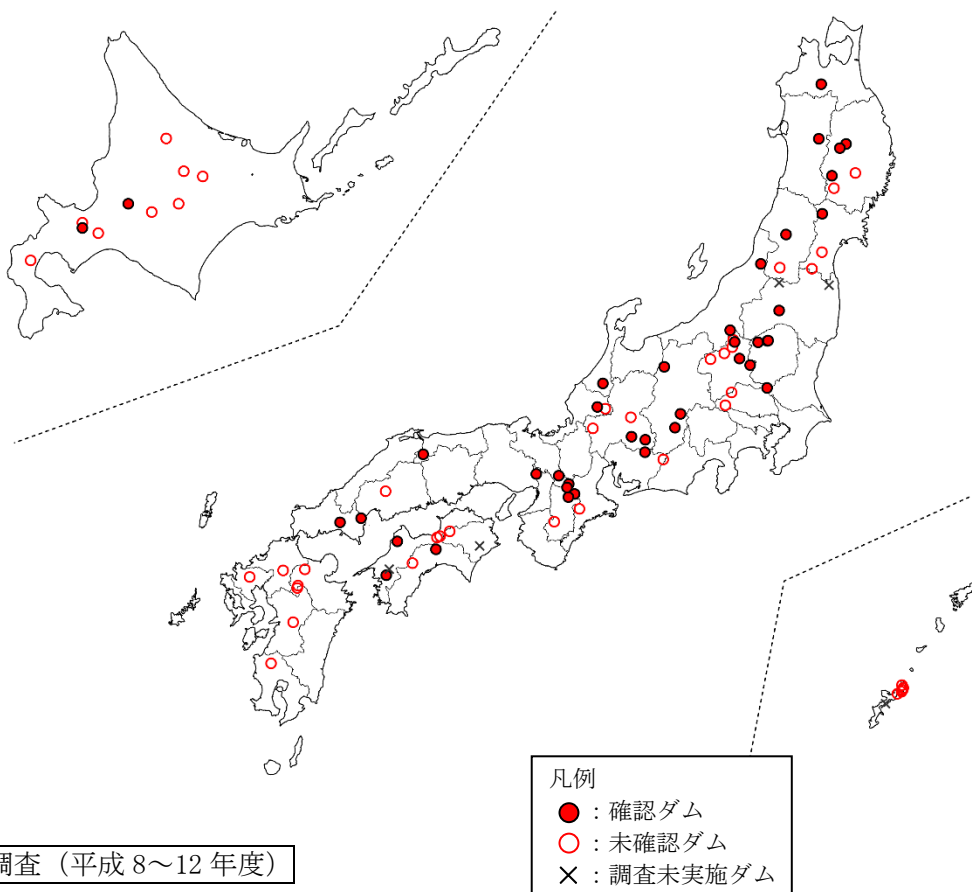
2
3 5 巡目調査 (平成 28~令和 6 年度)



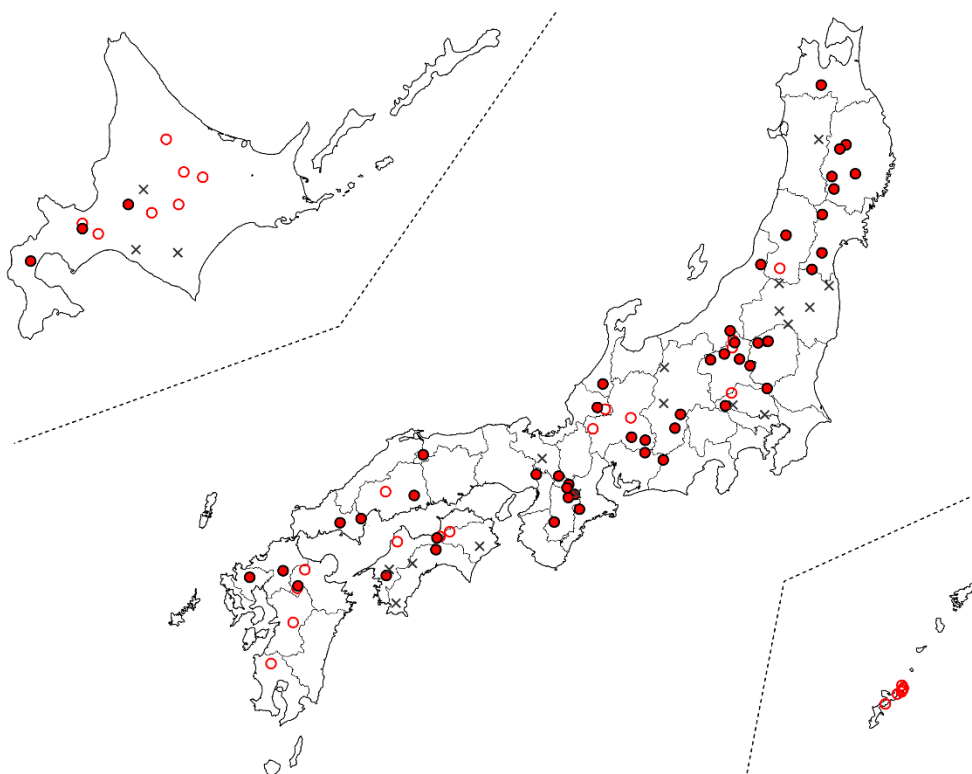
4
5 図 4-22 ボタンウキクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 ※ボタンウキクサは1 巡目には確認されていない。

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

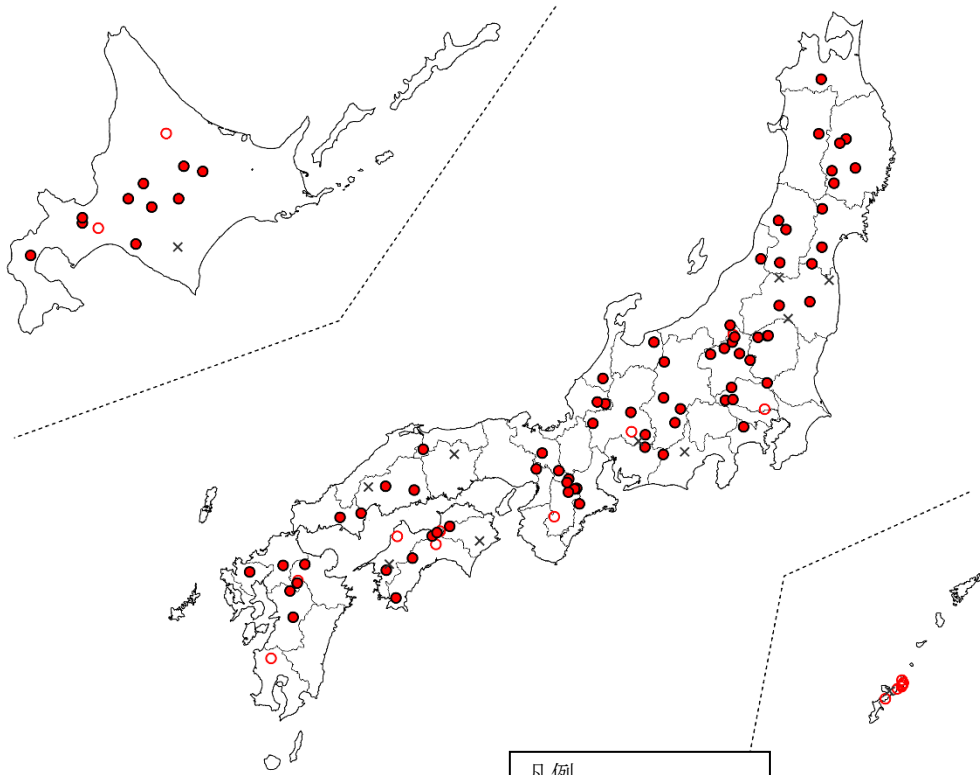


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

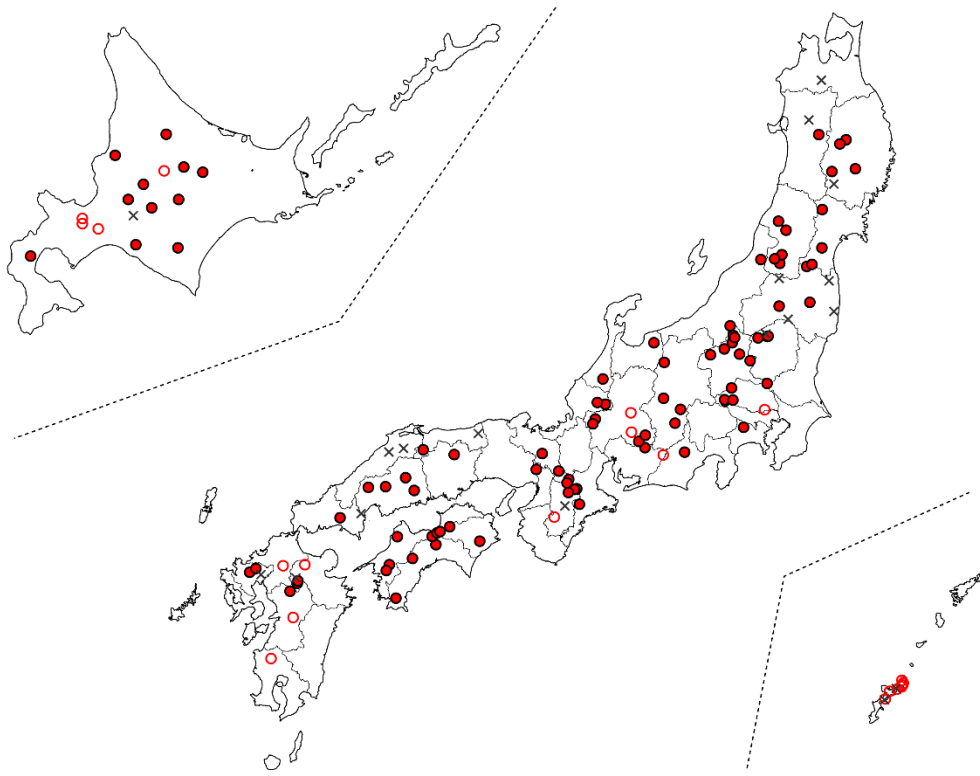
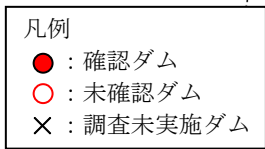


4 図 4-23 イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
5
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

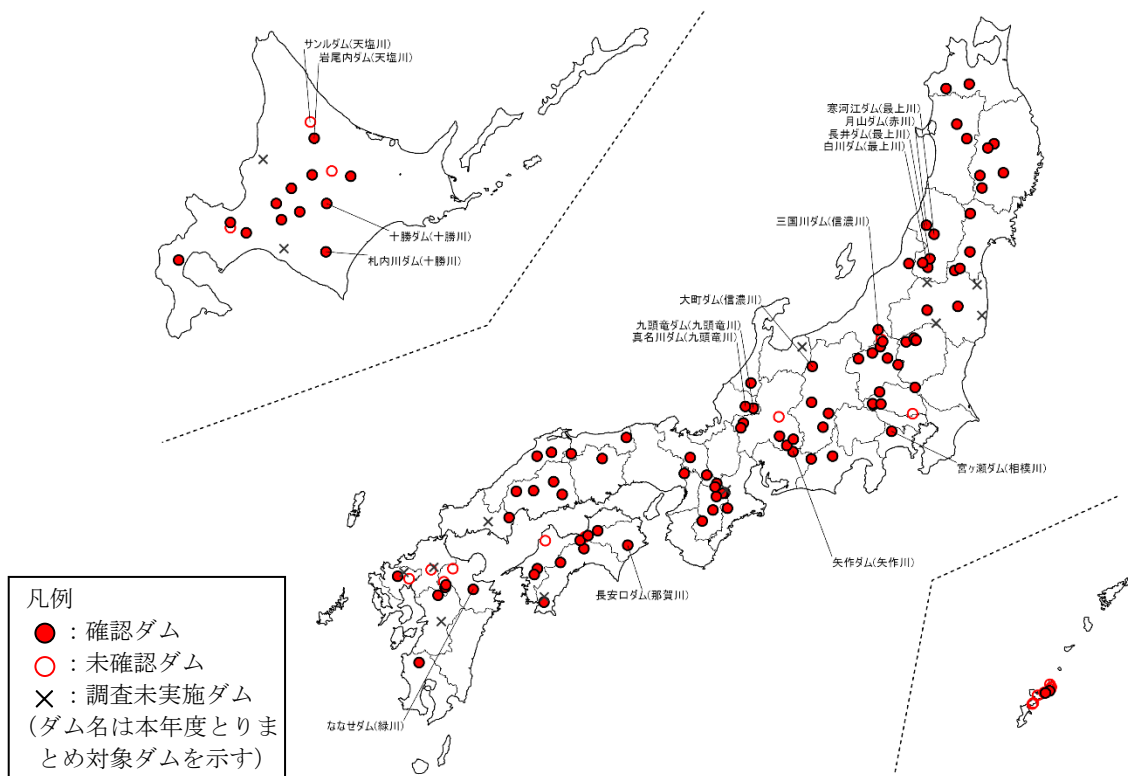


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-24 イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

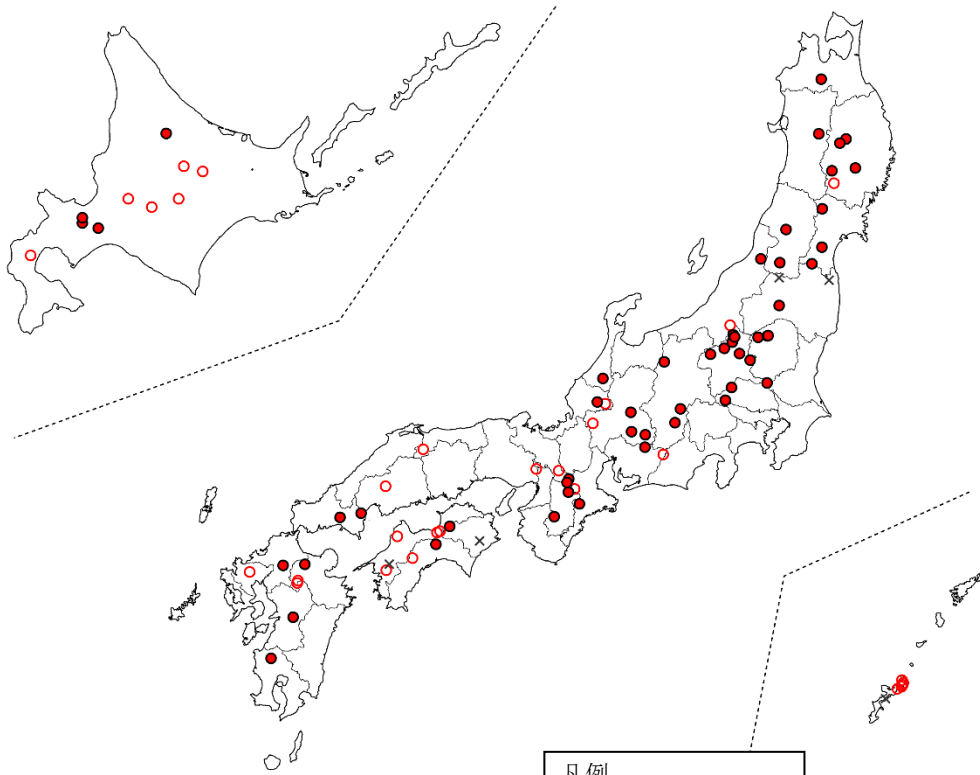
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



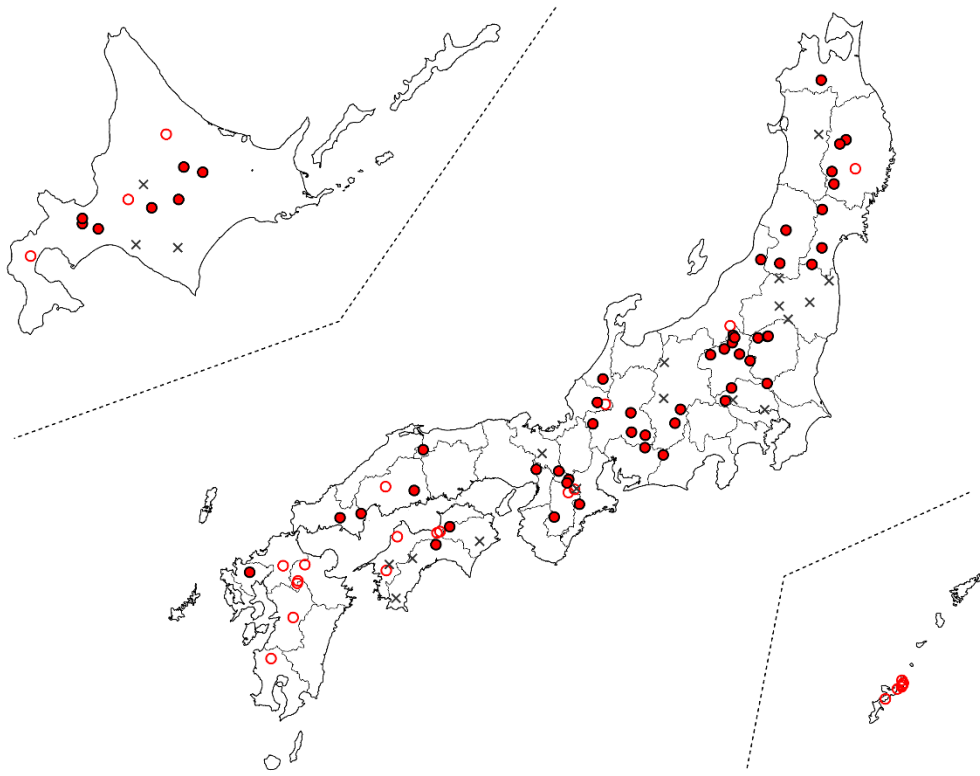
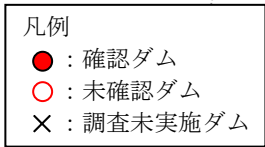
2
3 図 4-25 イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

4
5

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

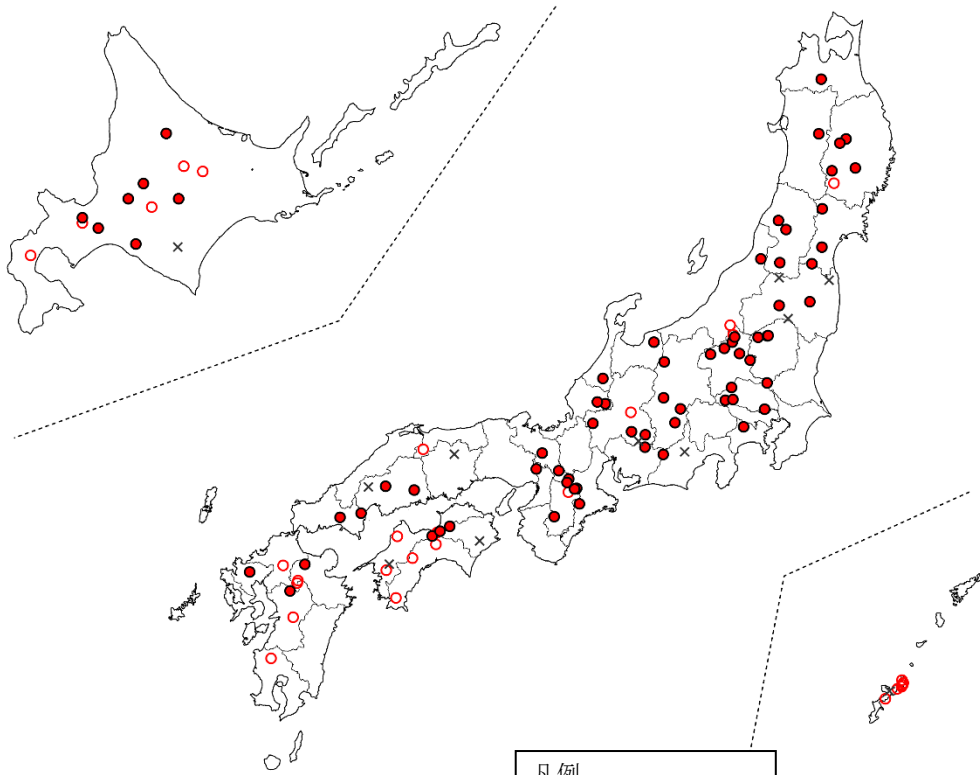


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

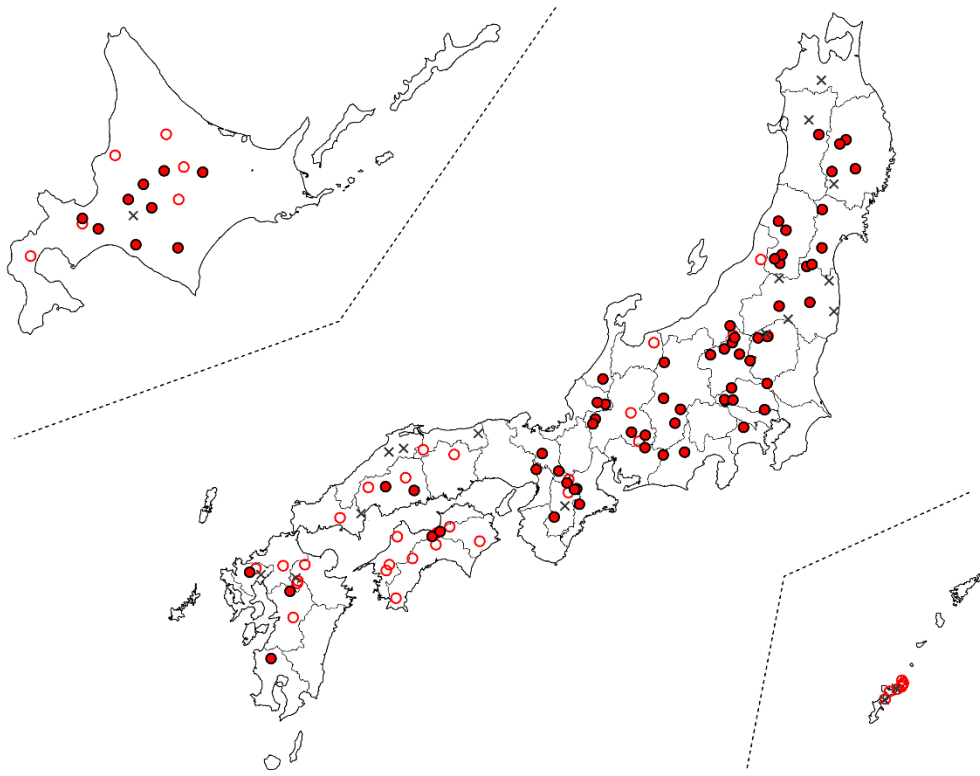


4 図 4-26 ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



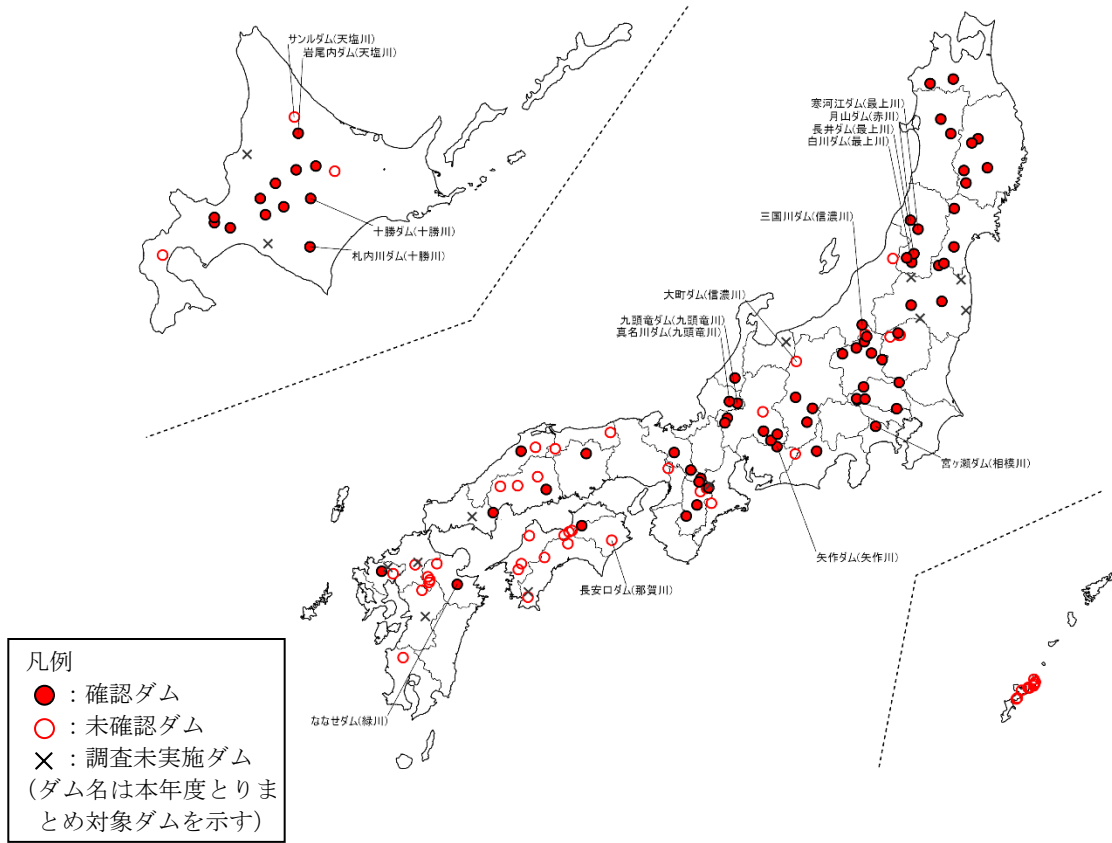
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4
5 図 4-27 ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

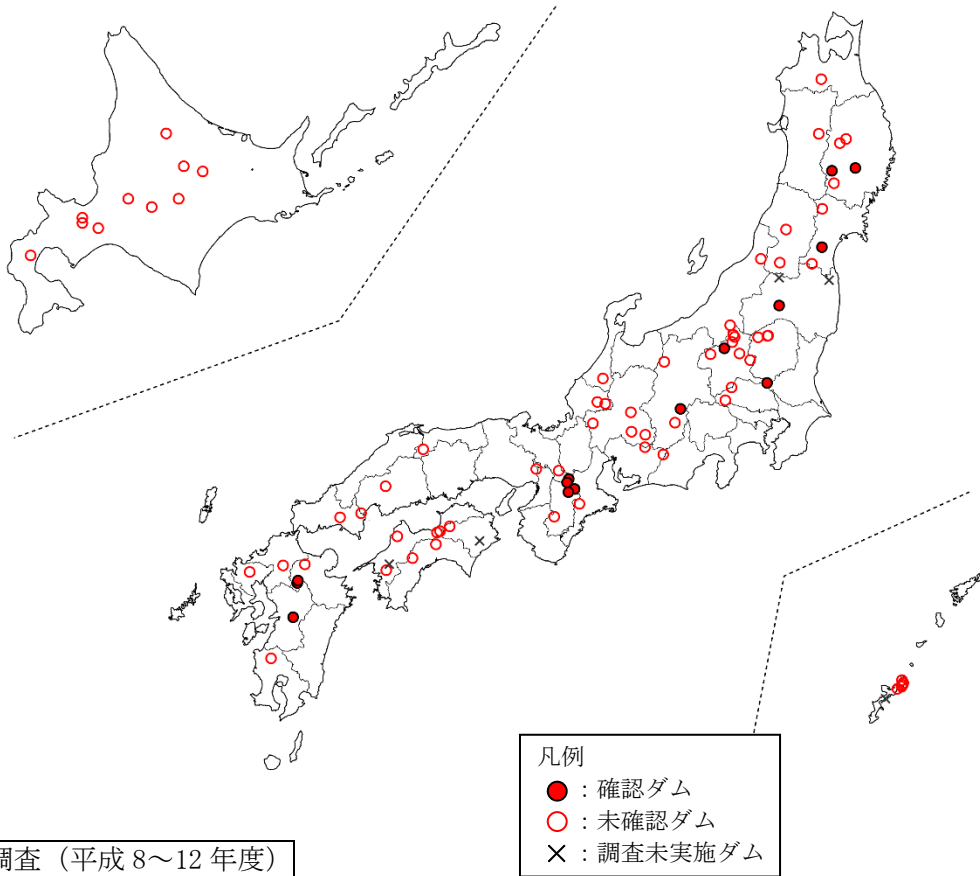
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



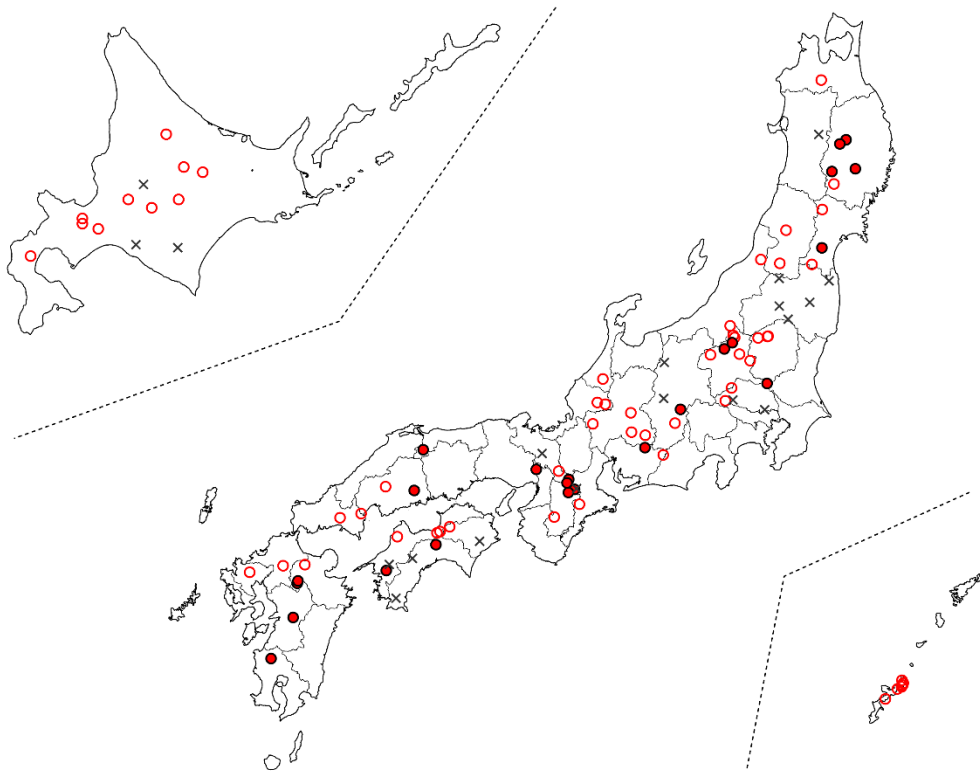
2
3
4
5

図 4-28 ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

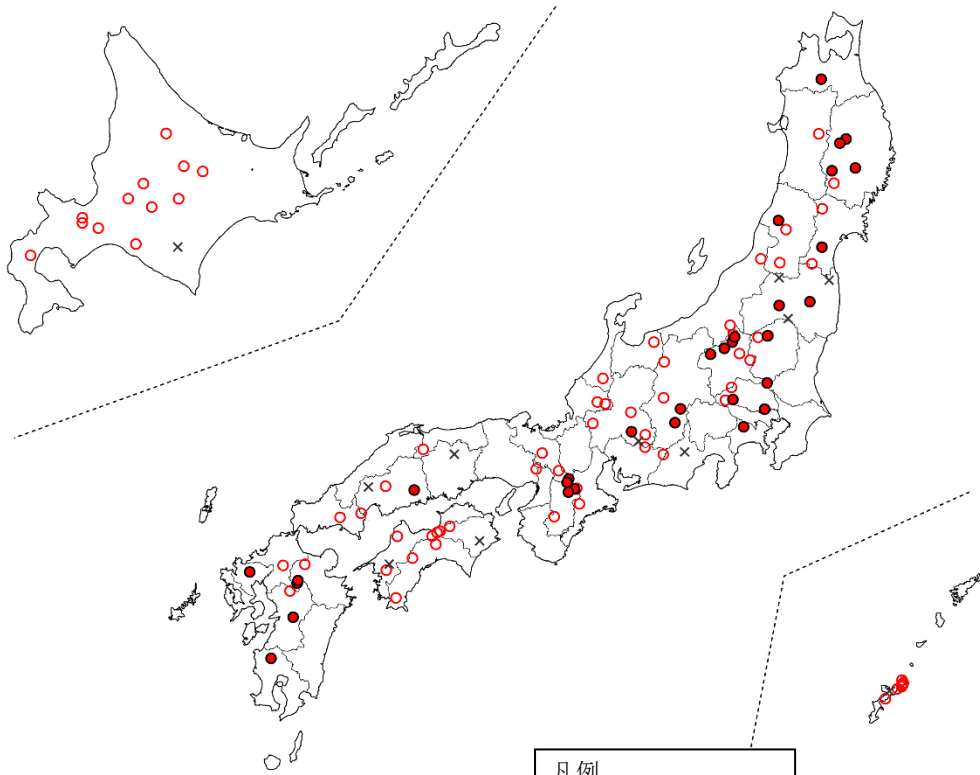


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



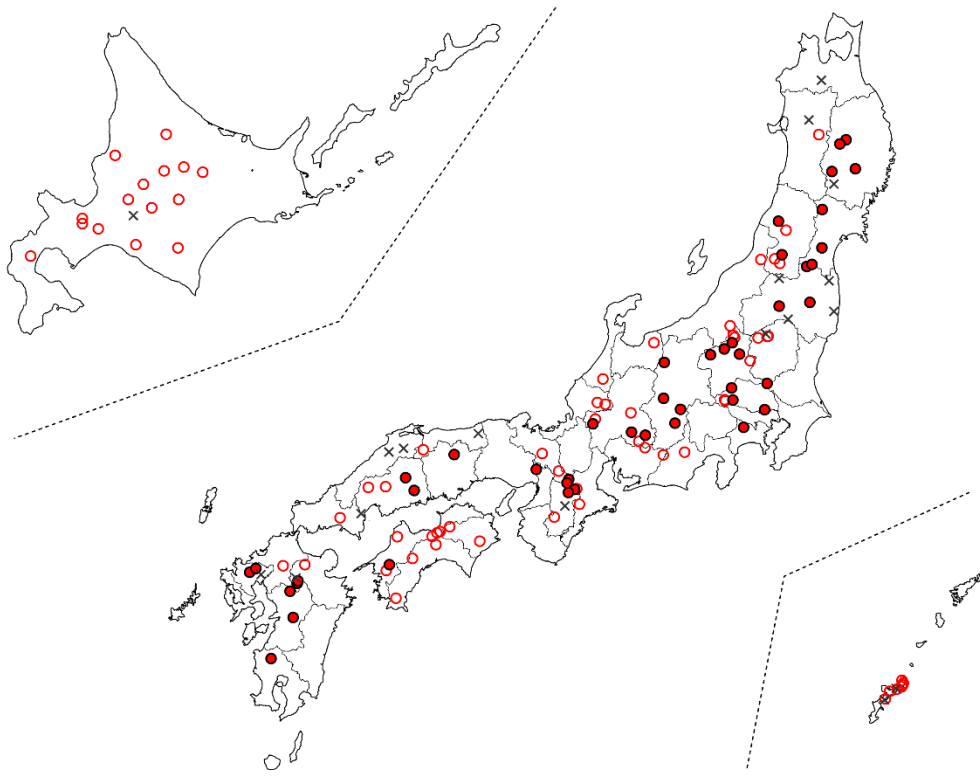
4
5 図 4-29 オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



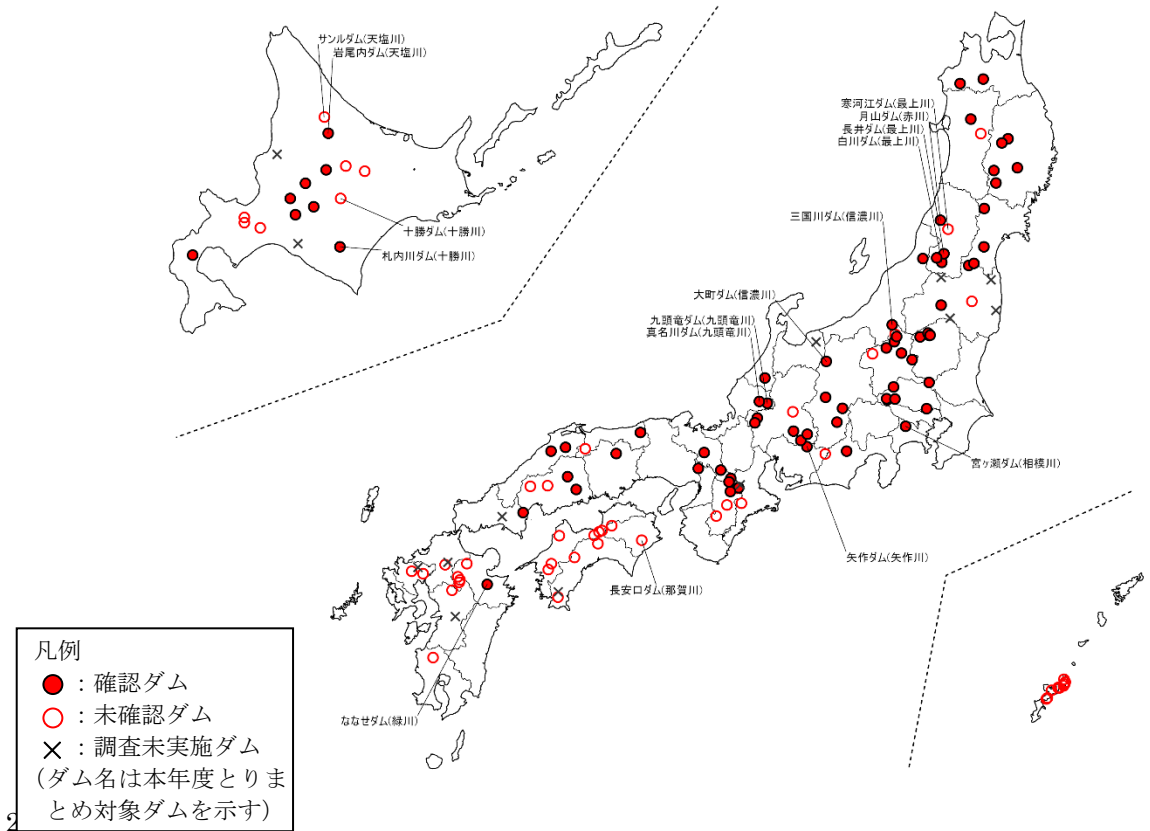
凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-30 オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

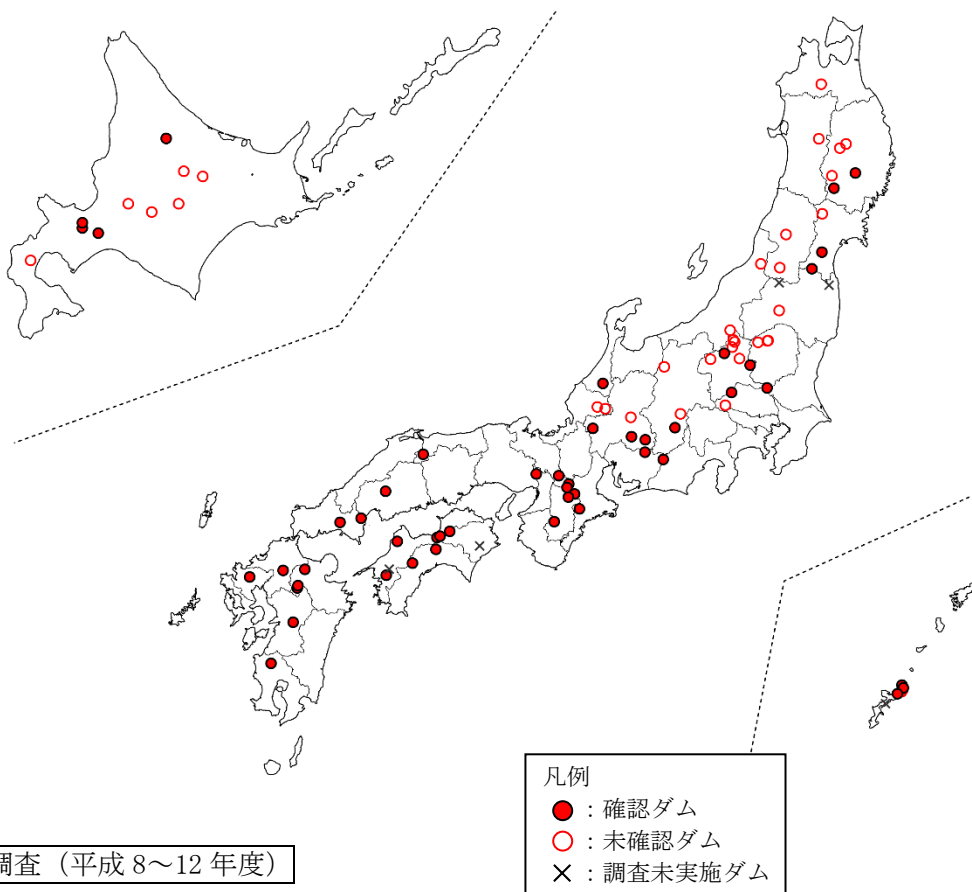
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



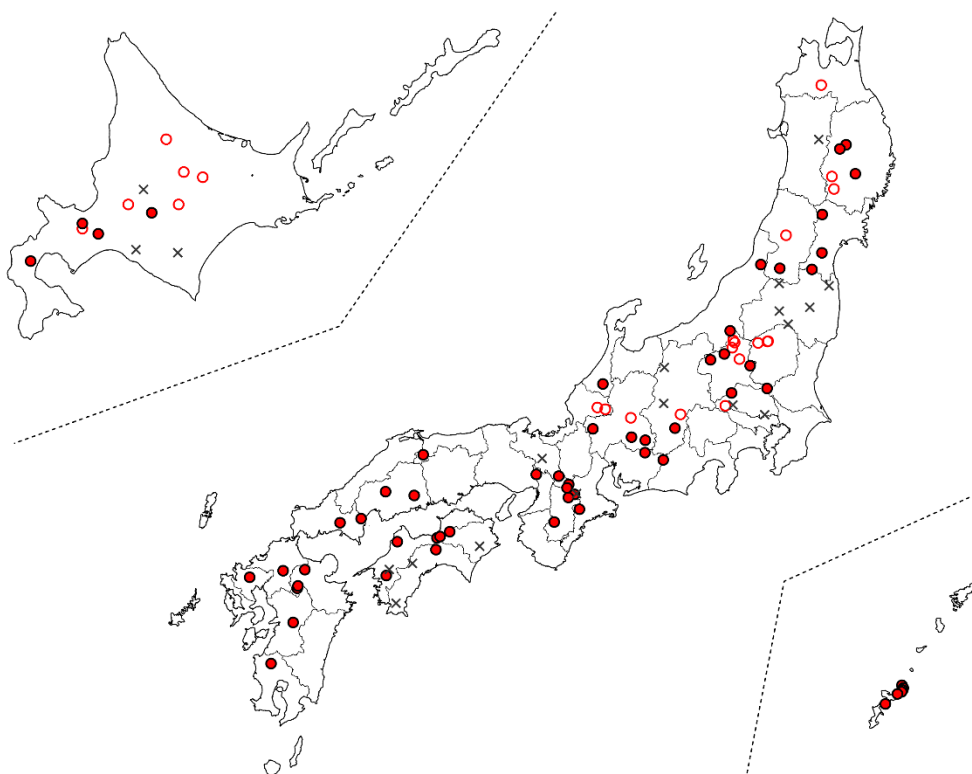
3
4 図 4-31 オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

5
6

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

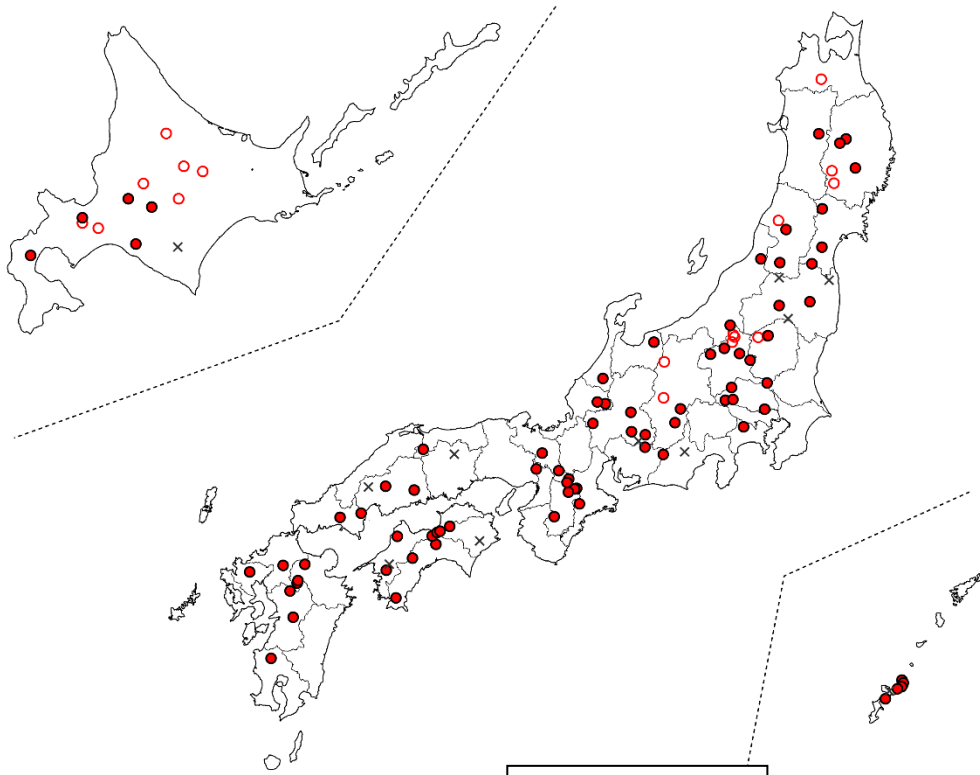


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

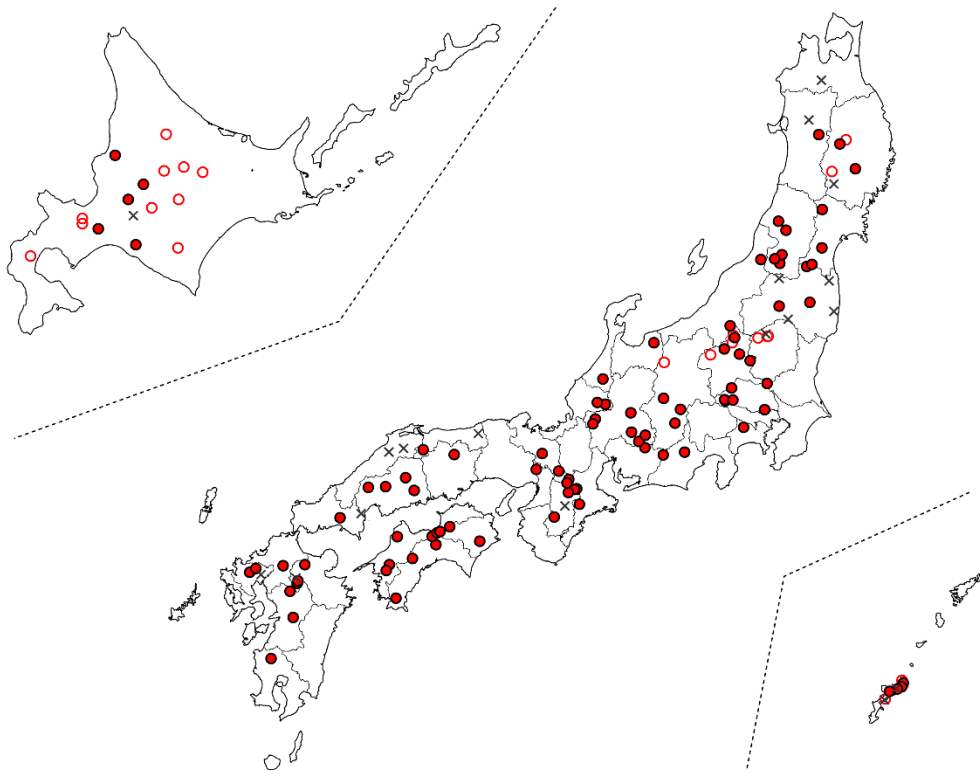


4 図 4-32 セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(1 巡目調査,2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



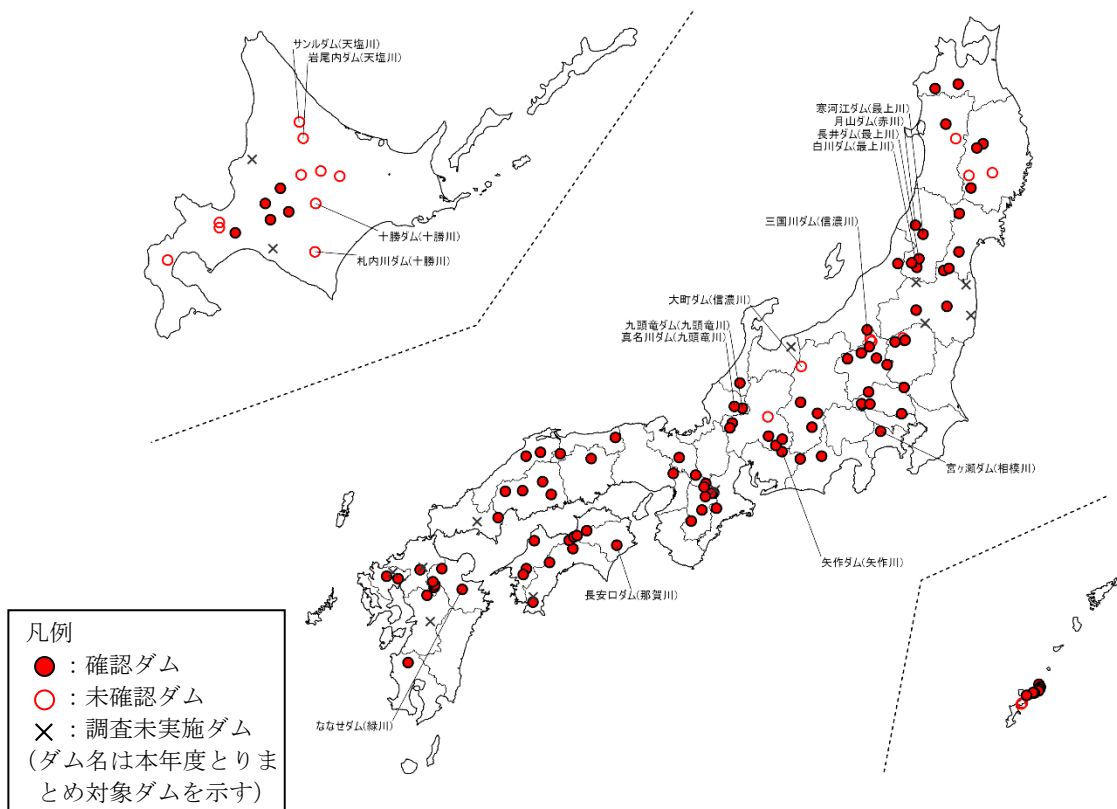
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4
5 図 4-33 セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(3 巡目調査、4 巡目調査)
6

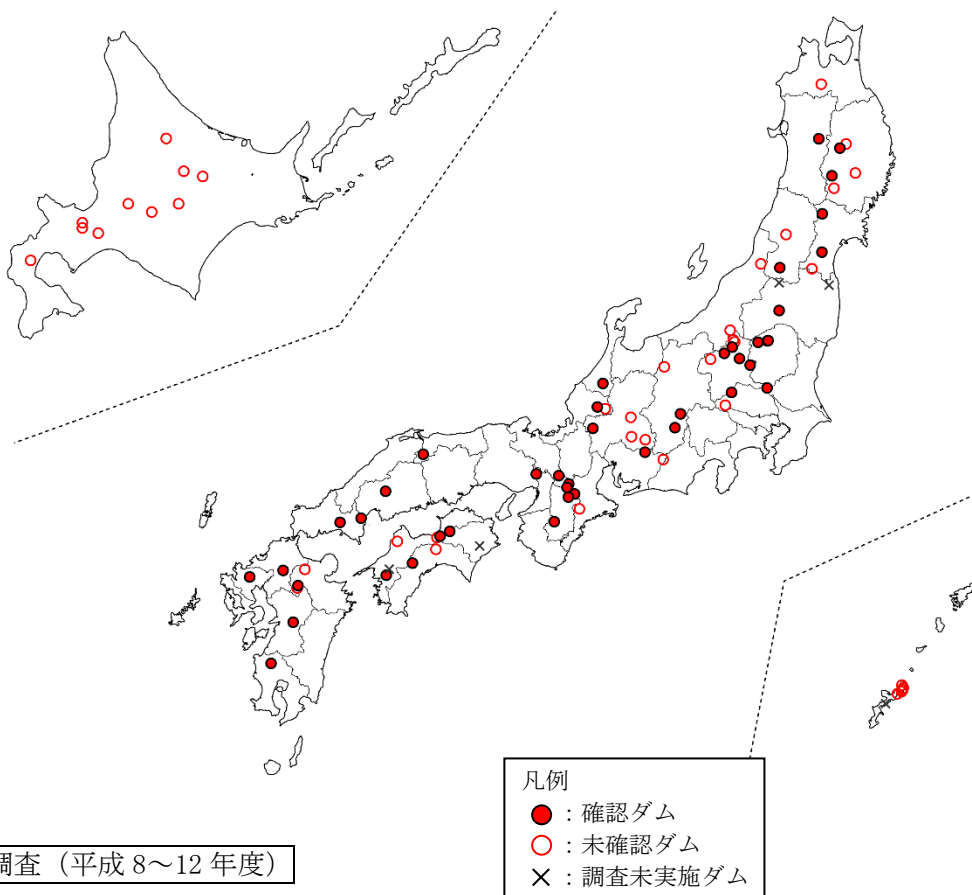
1 5 巡目調査 (平成 28~令和 6 年度)



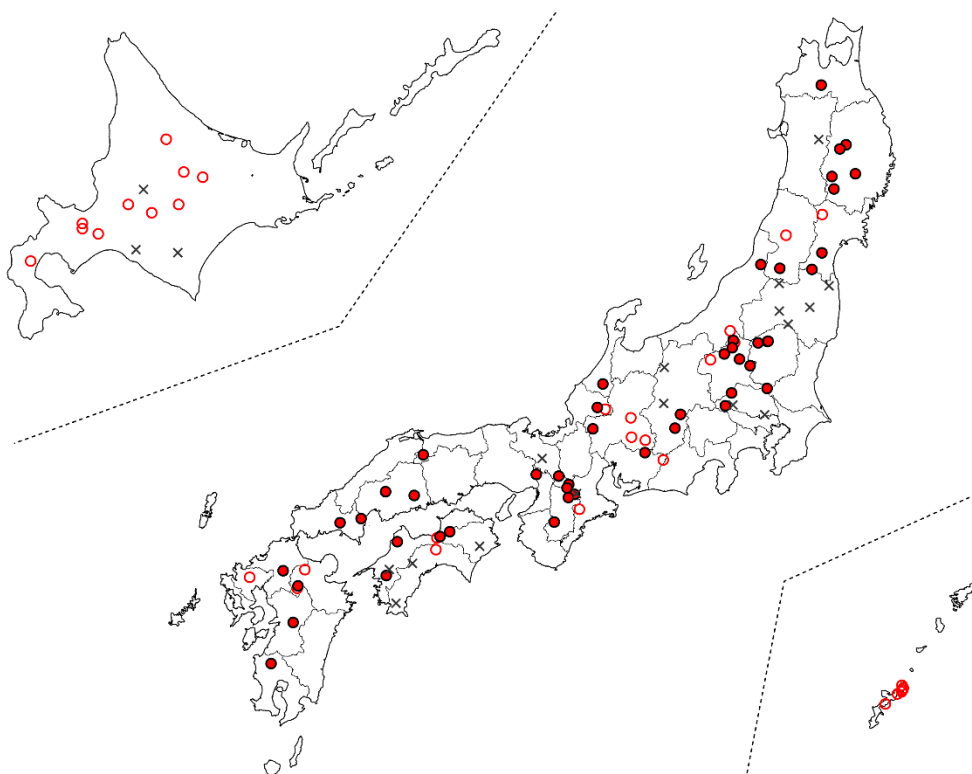
2
3
4
5

図 4-34 セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

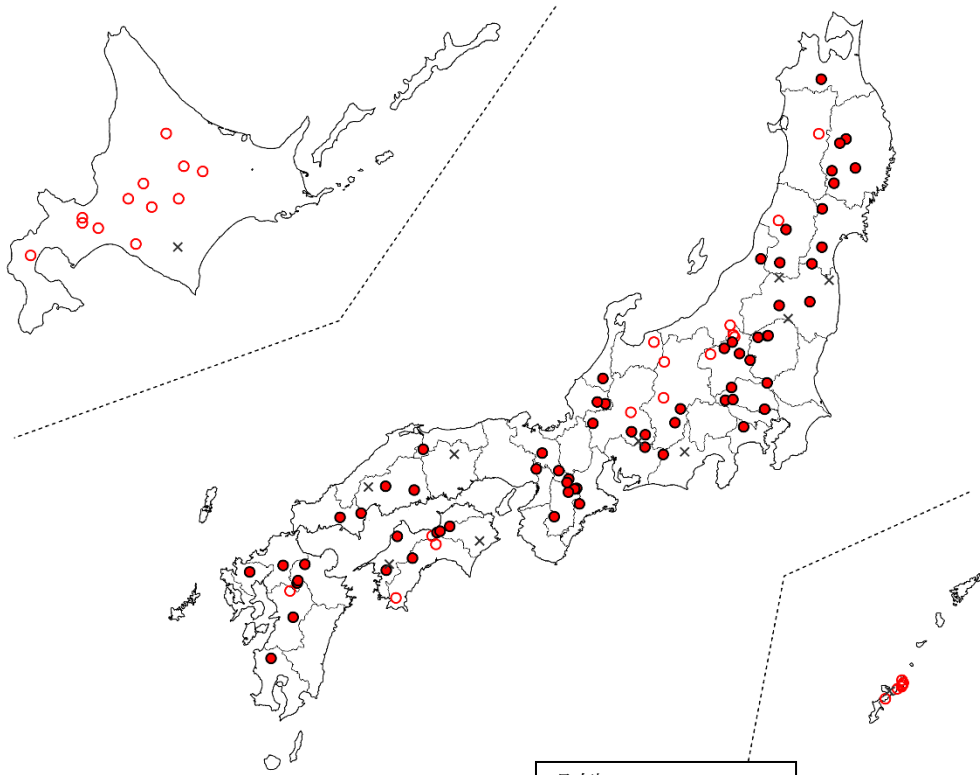


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



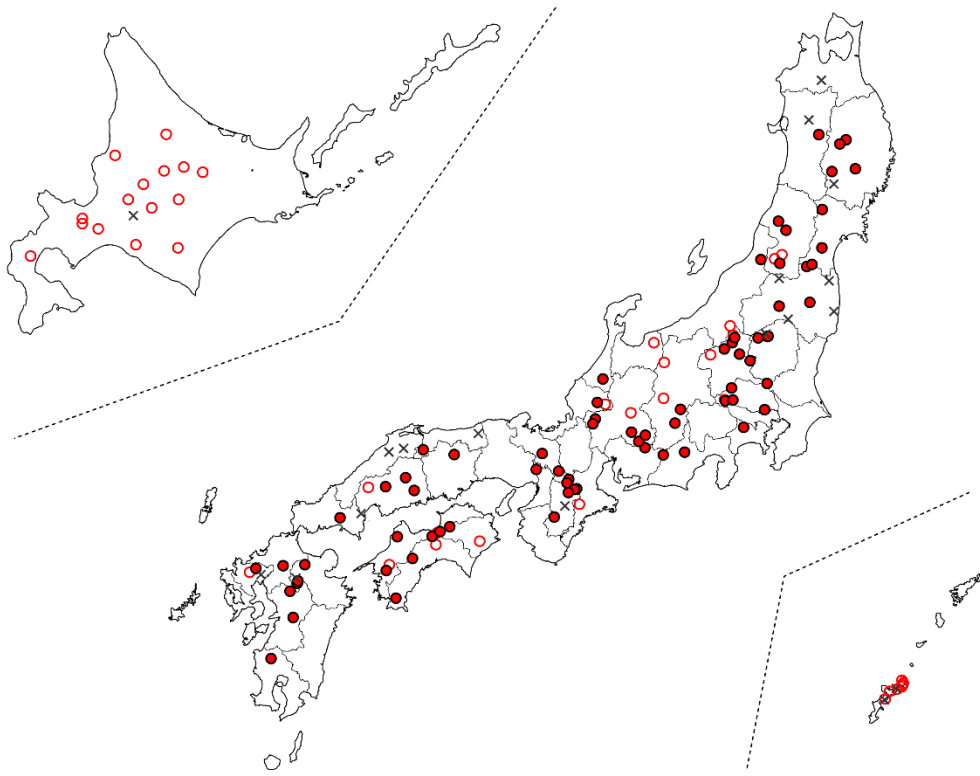
4 図 4-35 オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



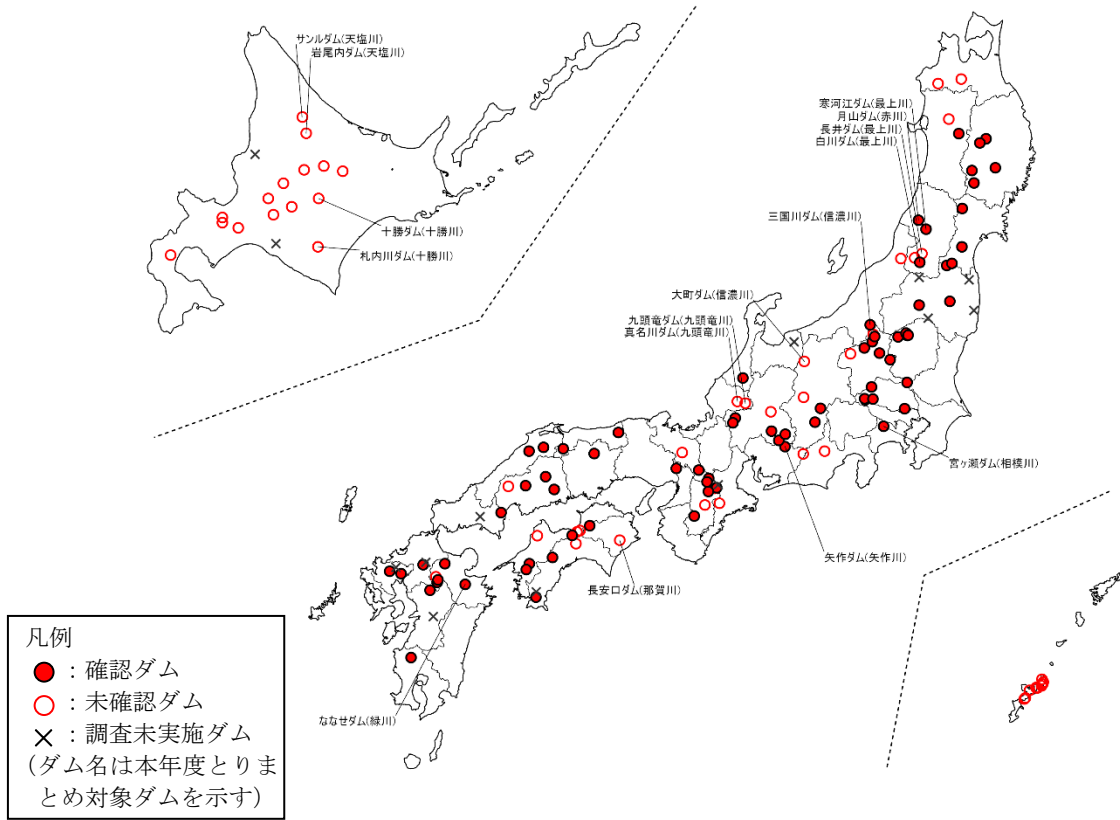
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)

凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム



4
5 図 4-36 オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

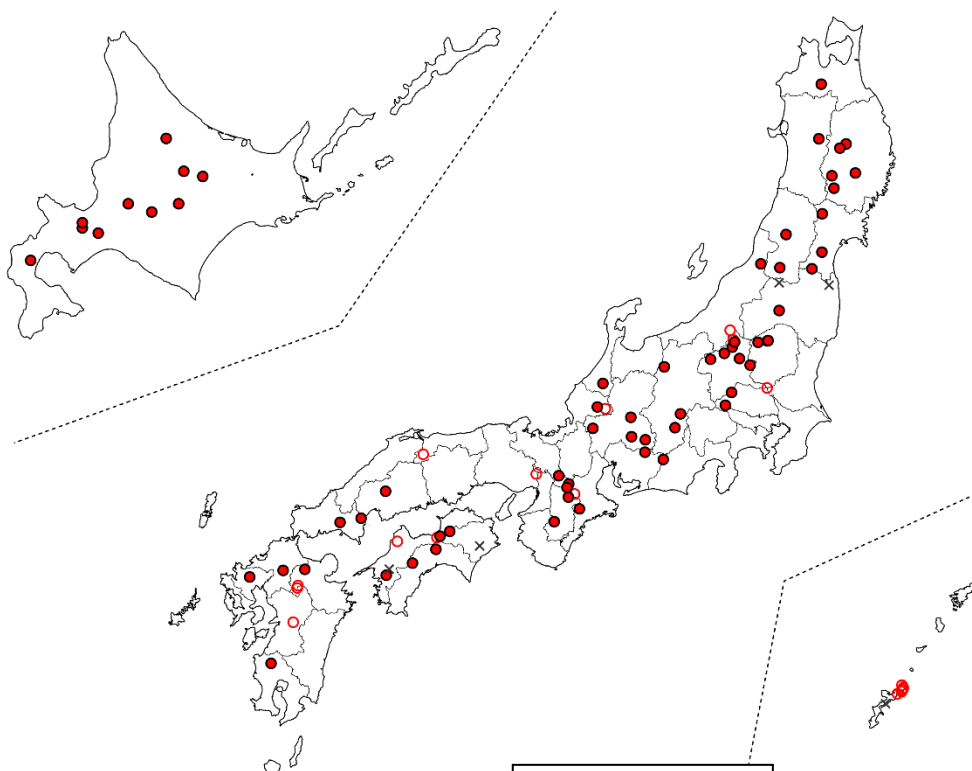
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



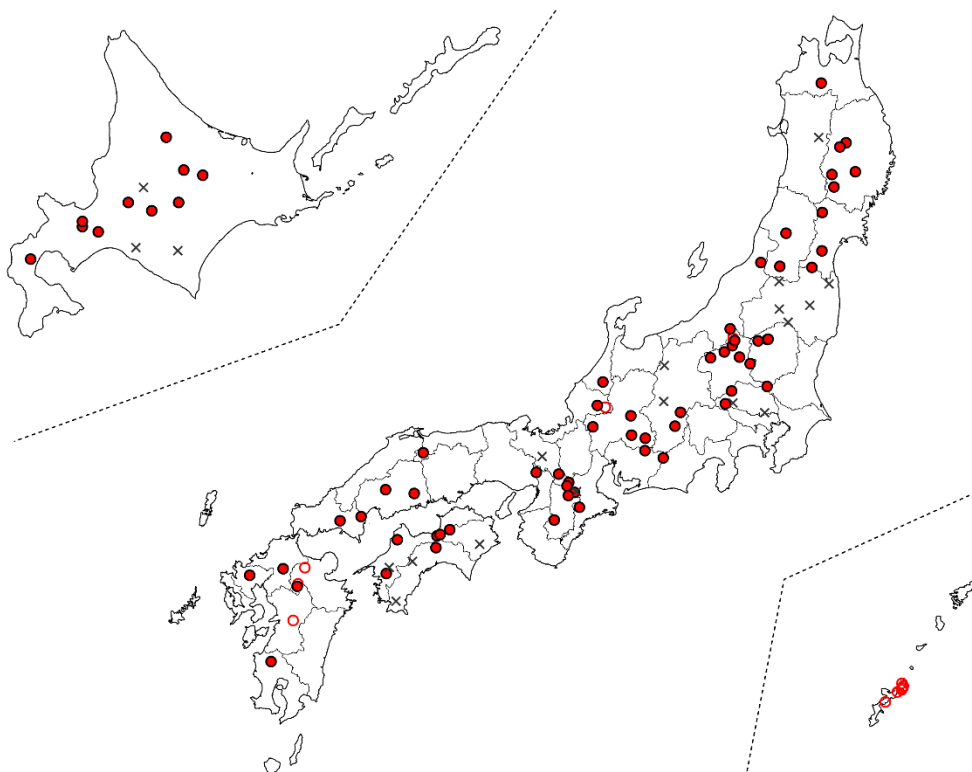
2
3
4
5
6

図 4-37 オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(5巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)



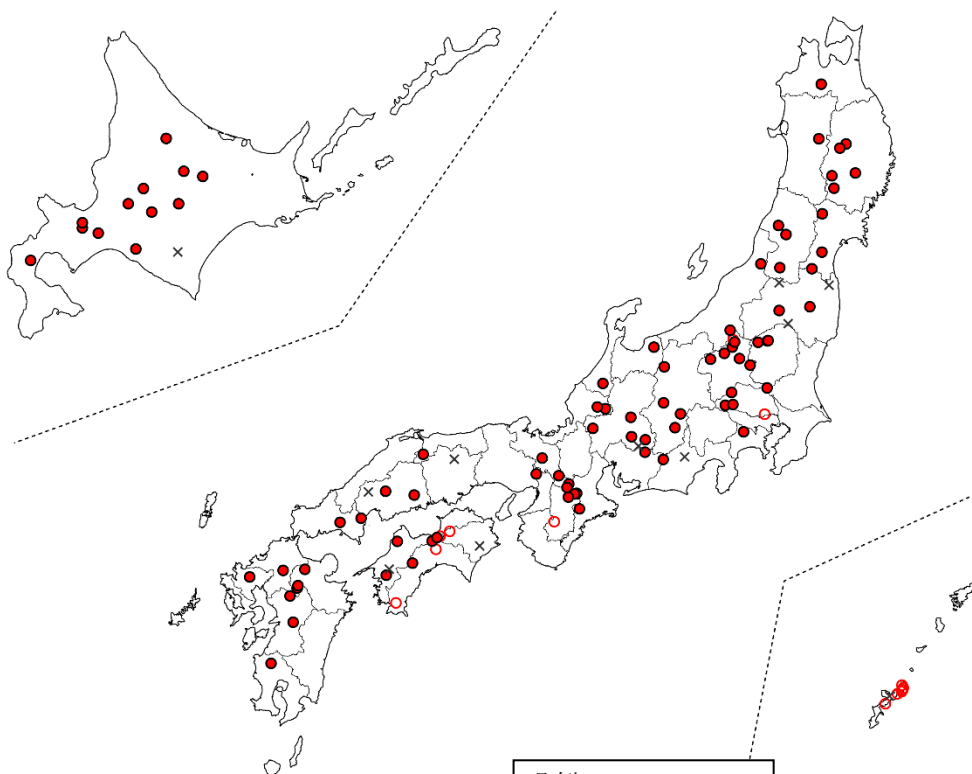
2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



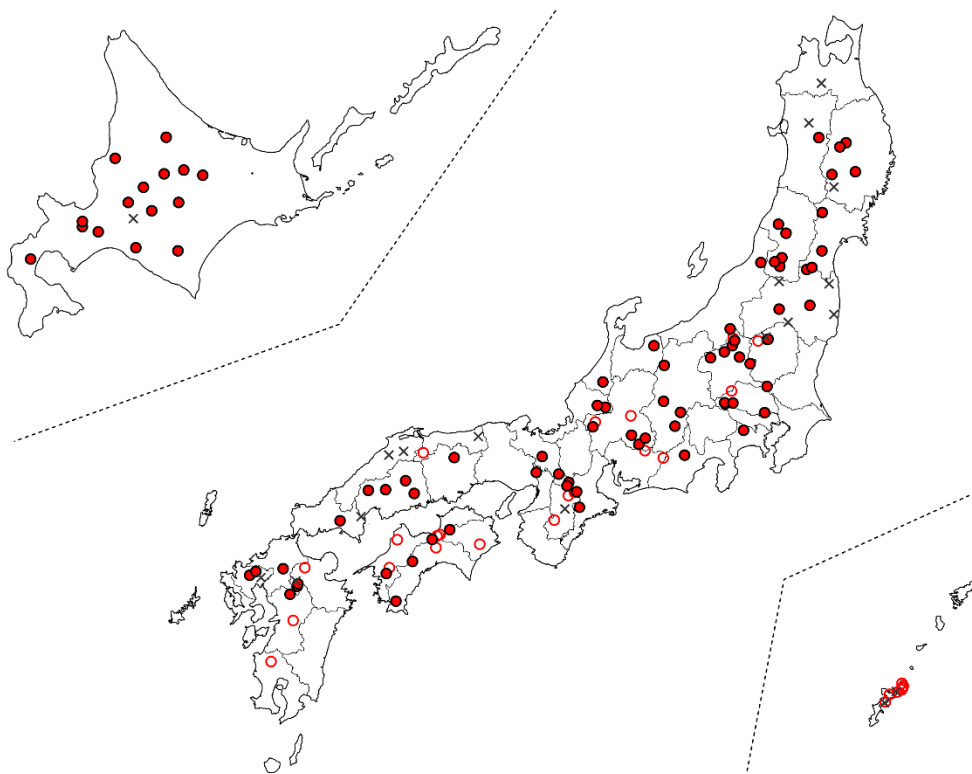
凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4 図 4-38 カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
5
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



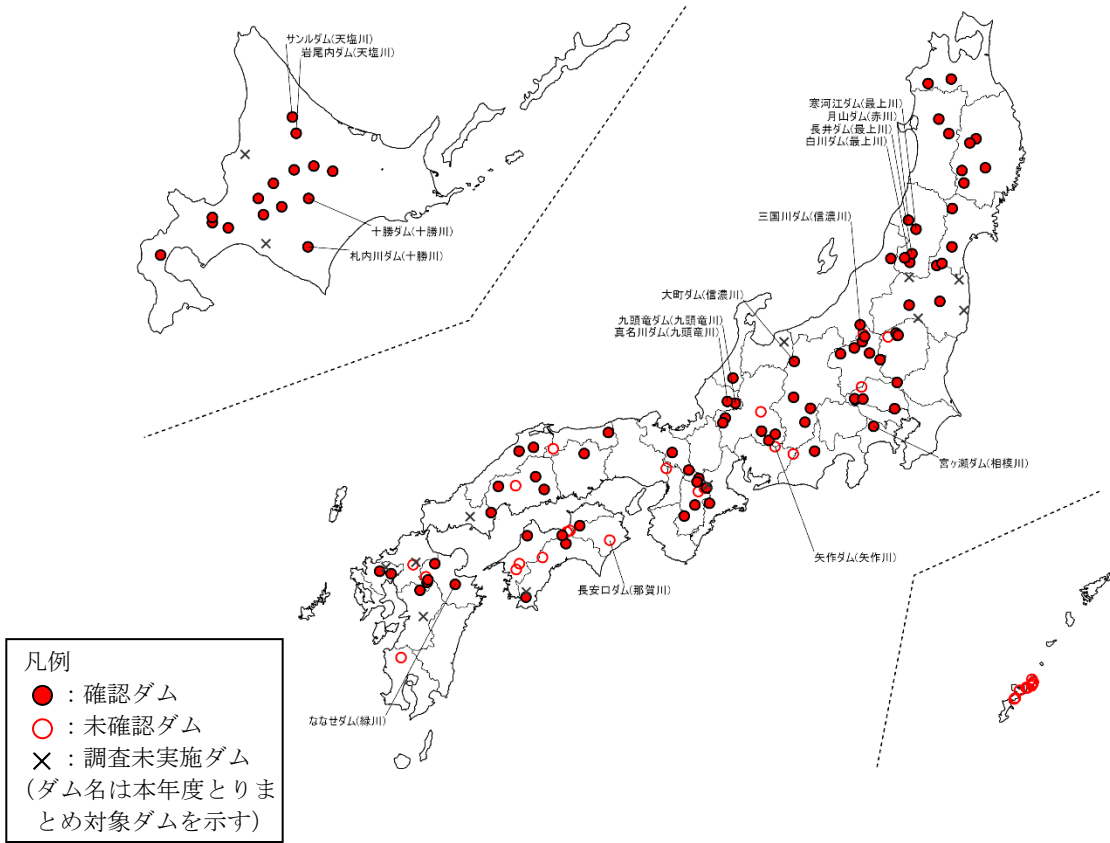
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4
5 図 4-39 カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

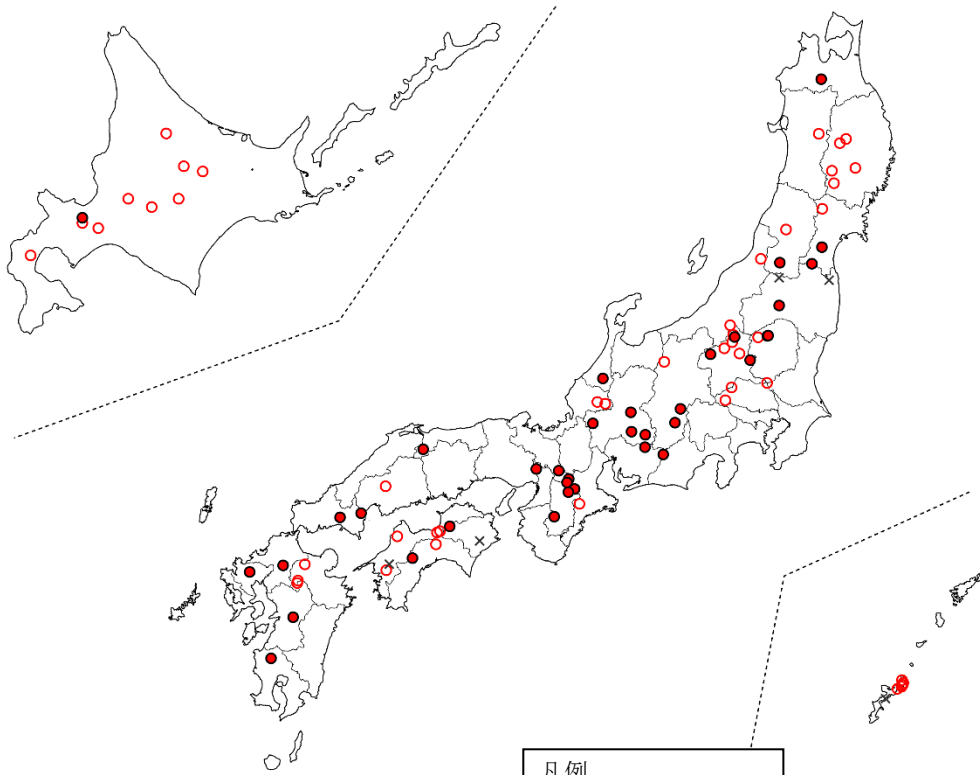
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



2
3
4
5
6

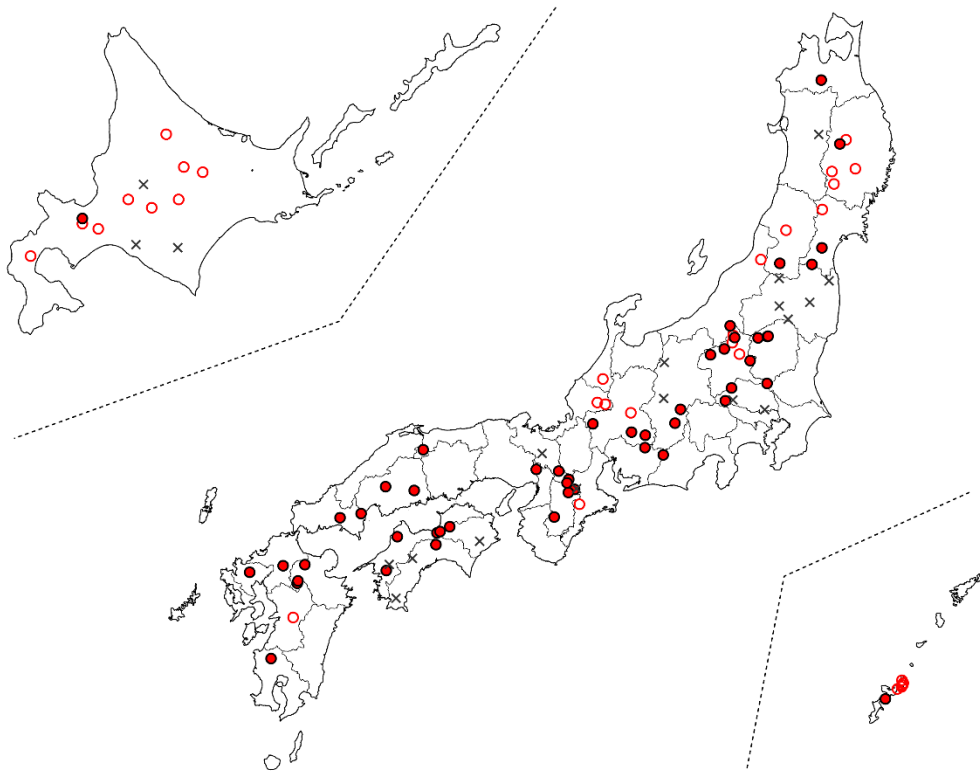
図 4-40 カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)



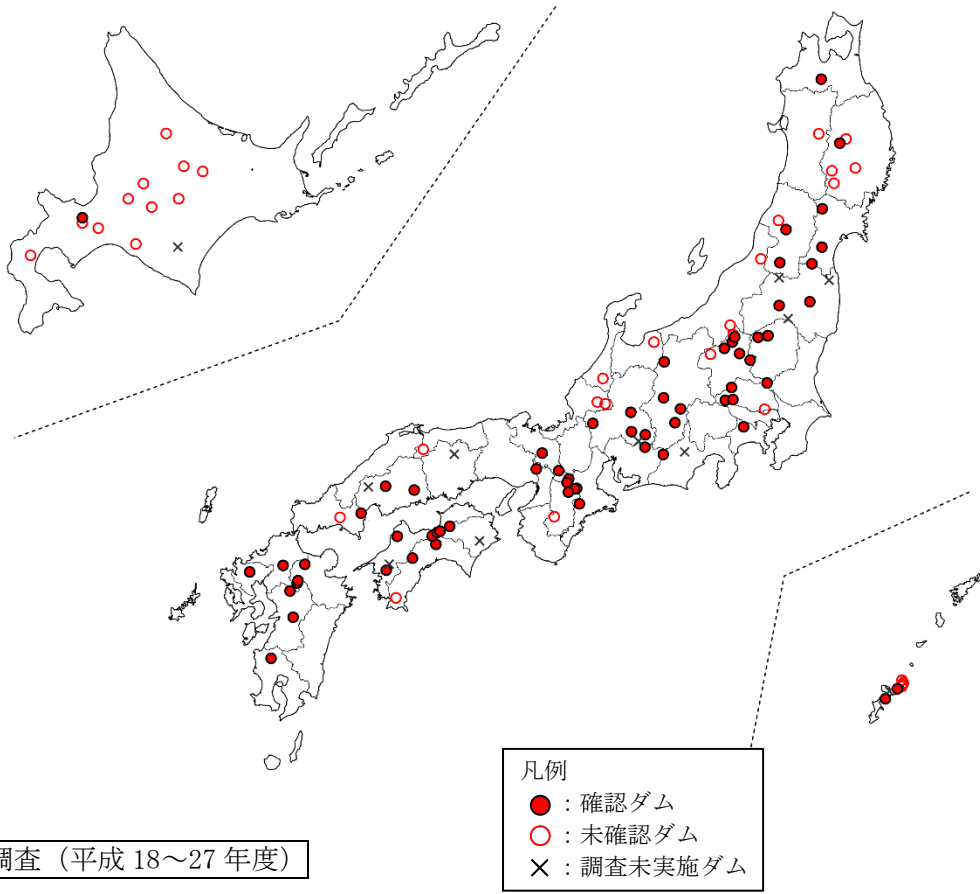
凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

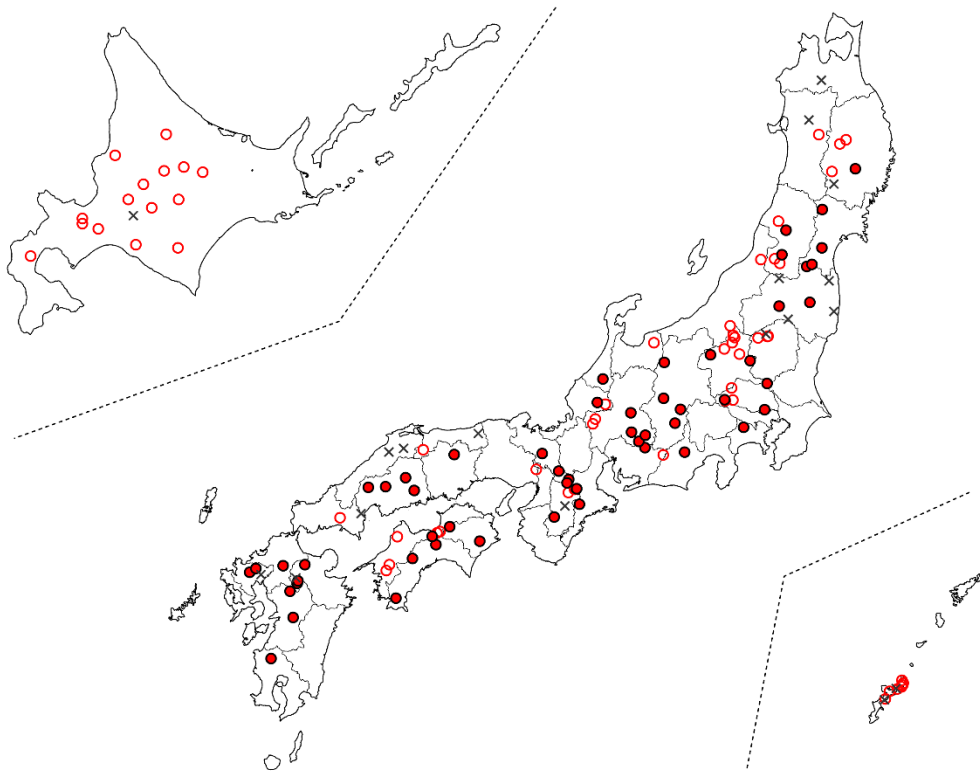


4 図 4-41 シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)
5
6

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

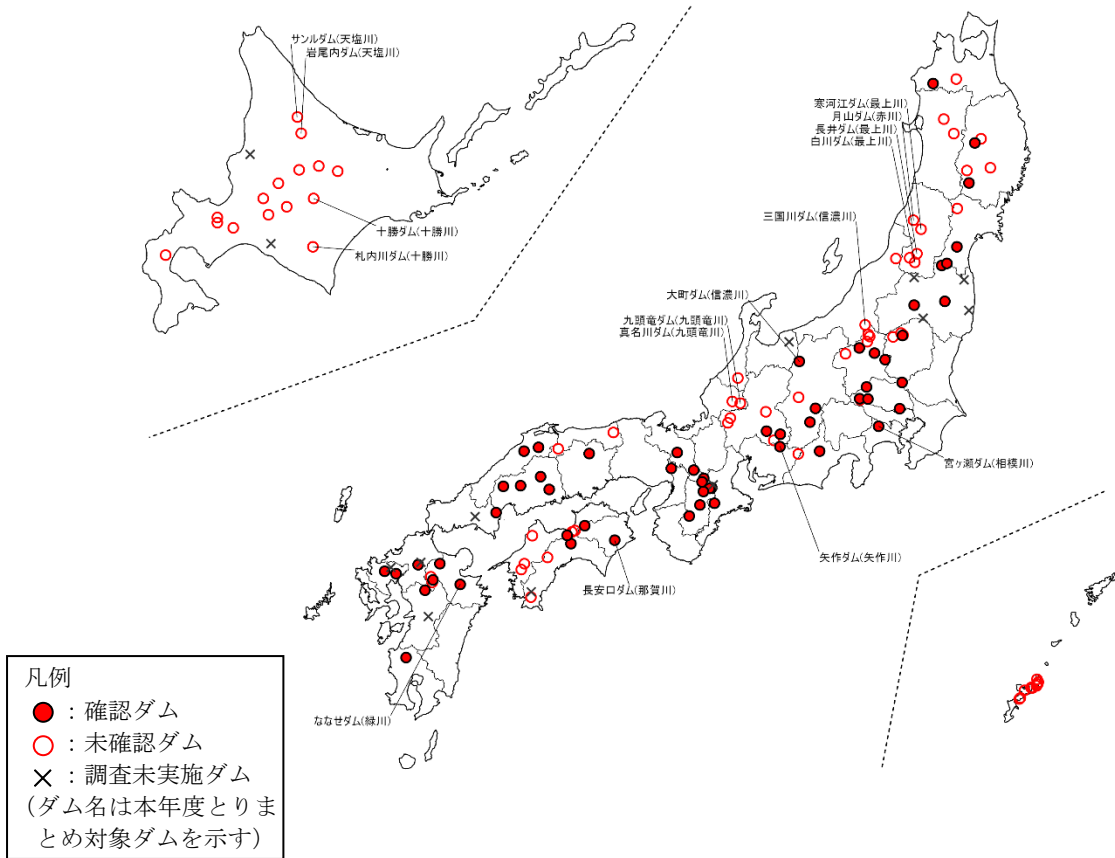


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-42 シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

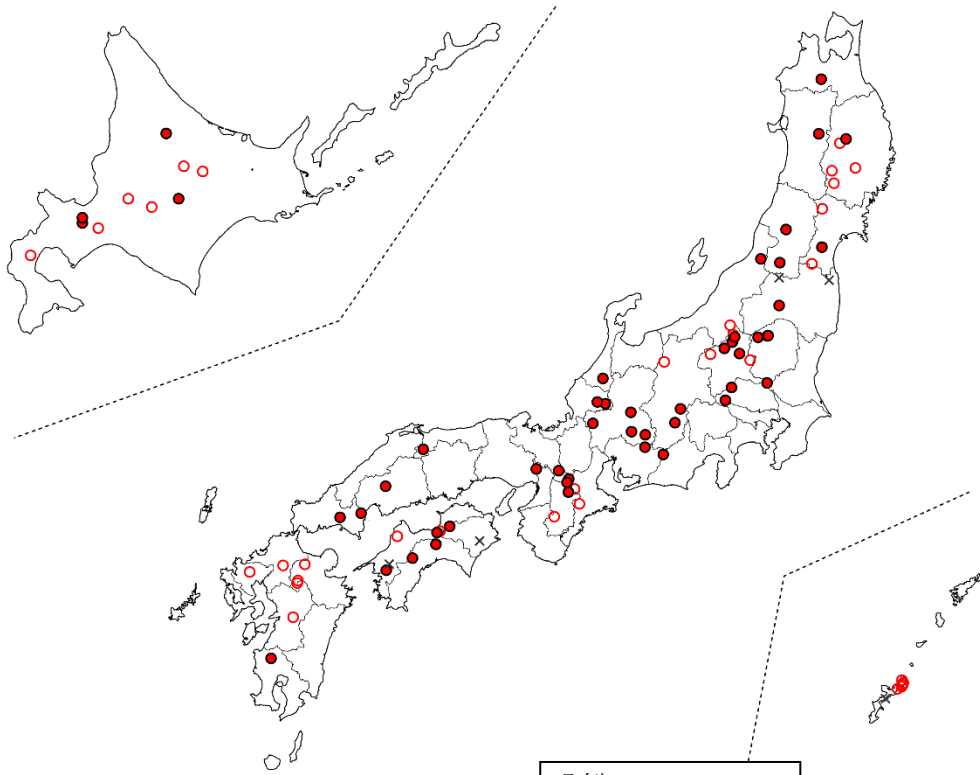
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



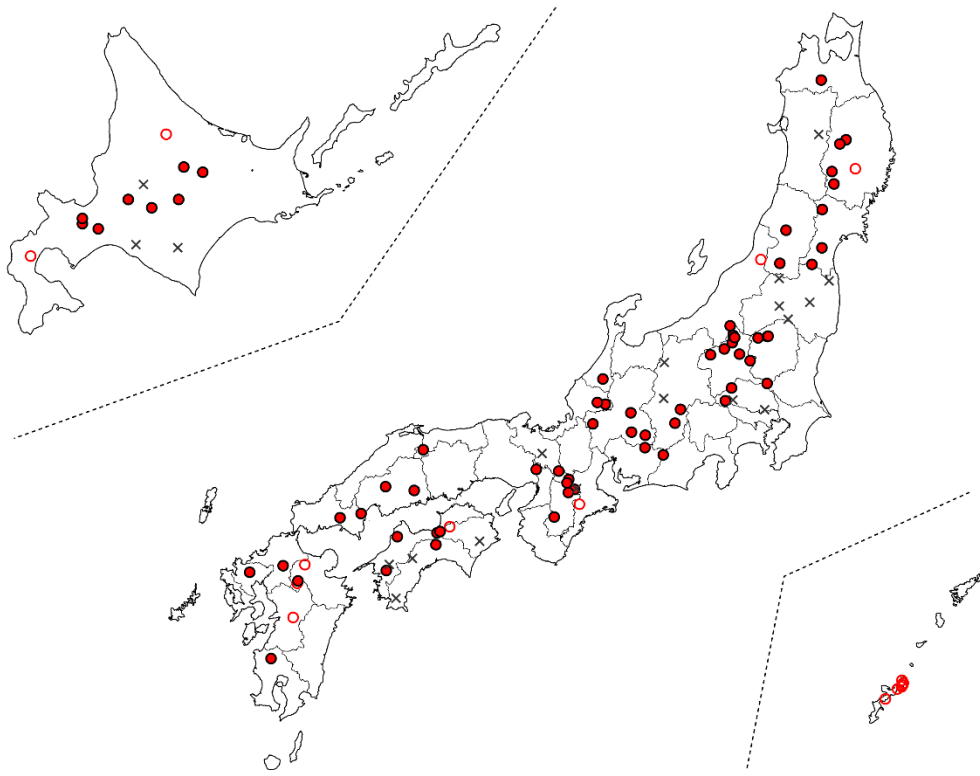
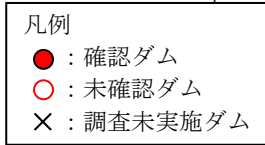
2
3
4
5
6

図 4-43 シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

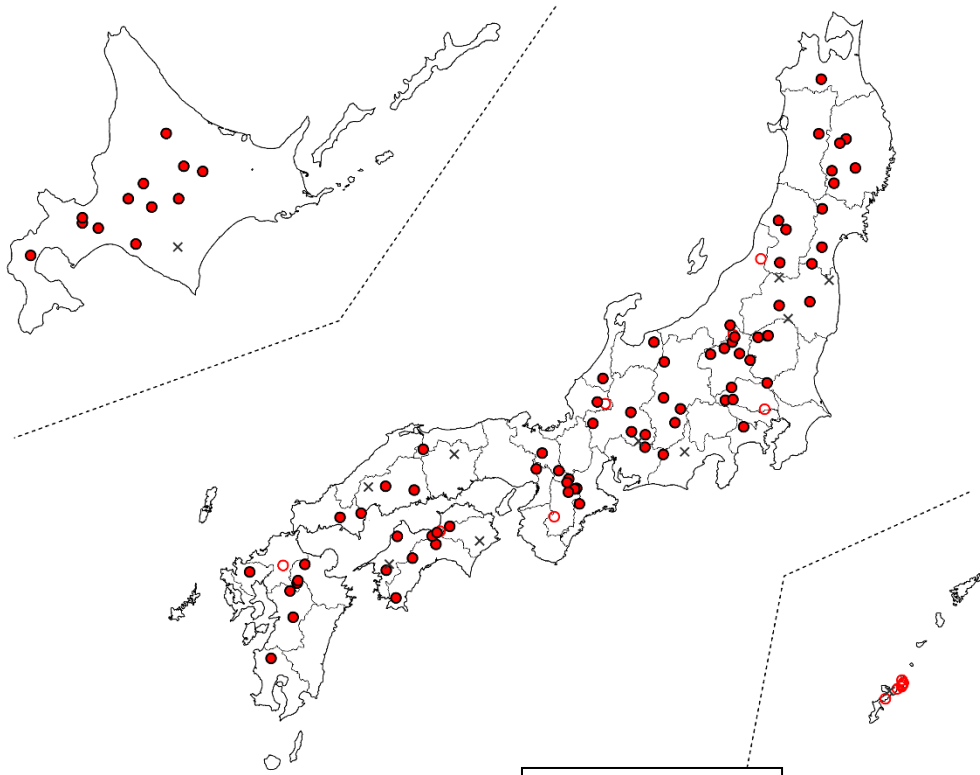


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)

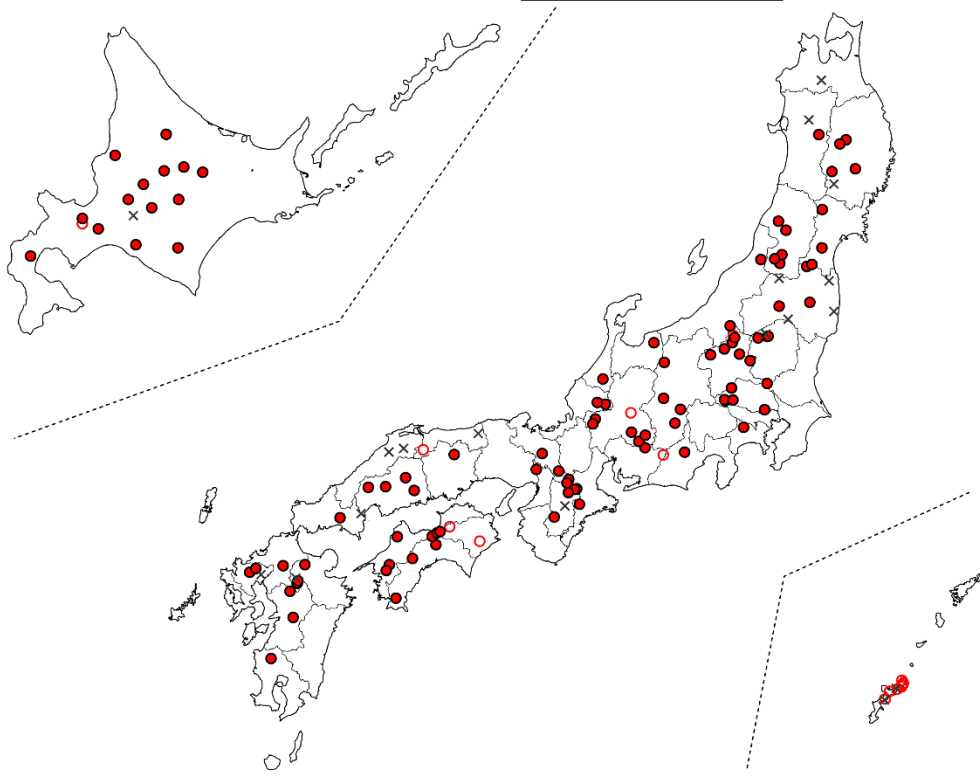


4 図 4-44 オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



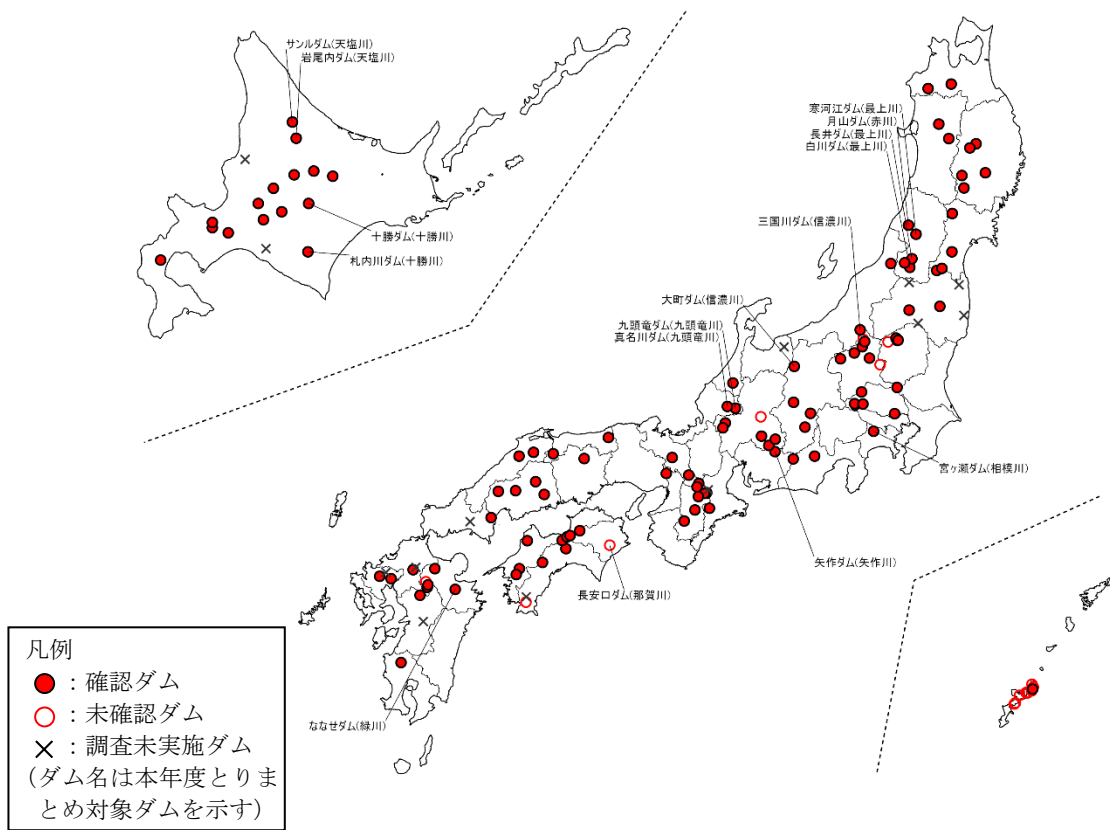
2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

4
5 図 4-45 オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

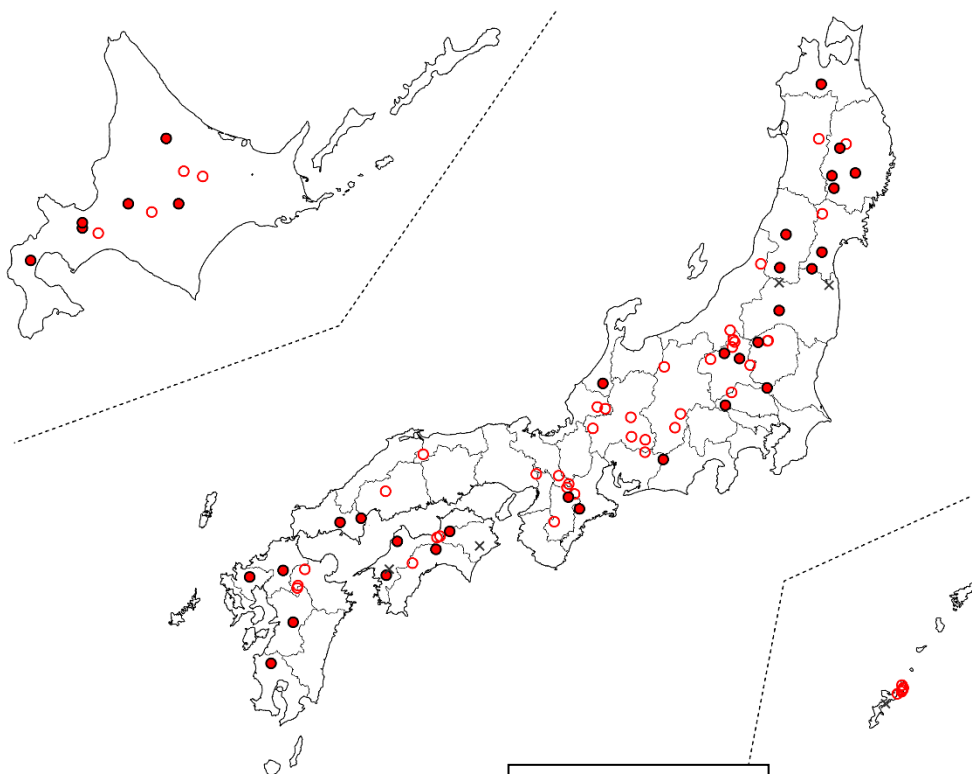
1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)



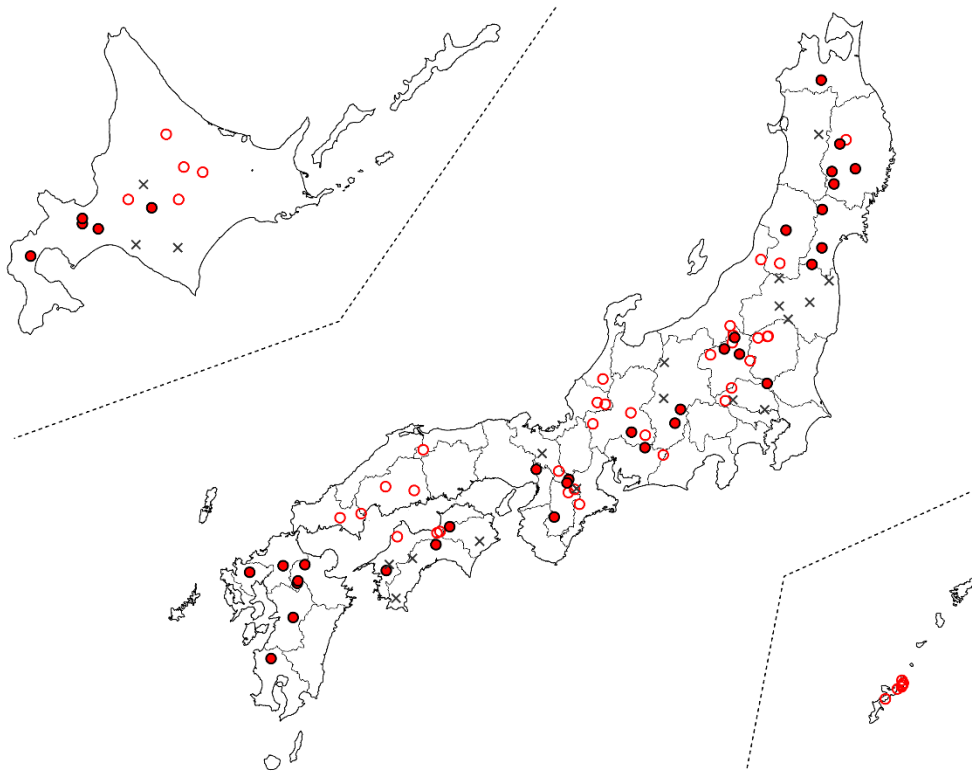
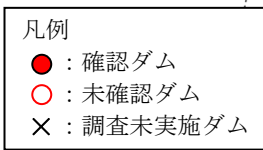
2
3
4
5

図 4-46 オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2~7 年度)

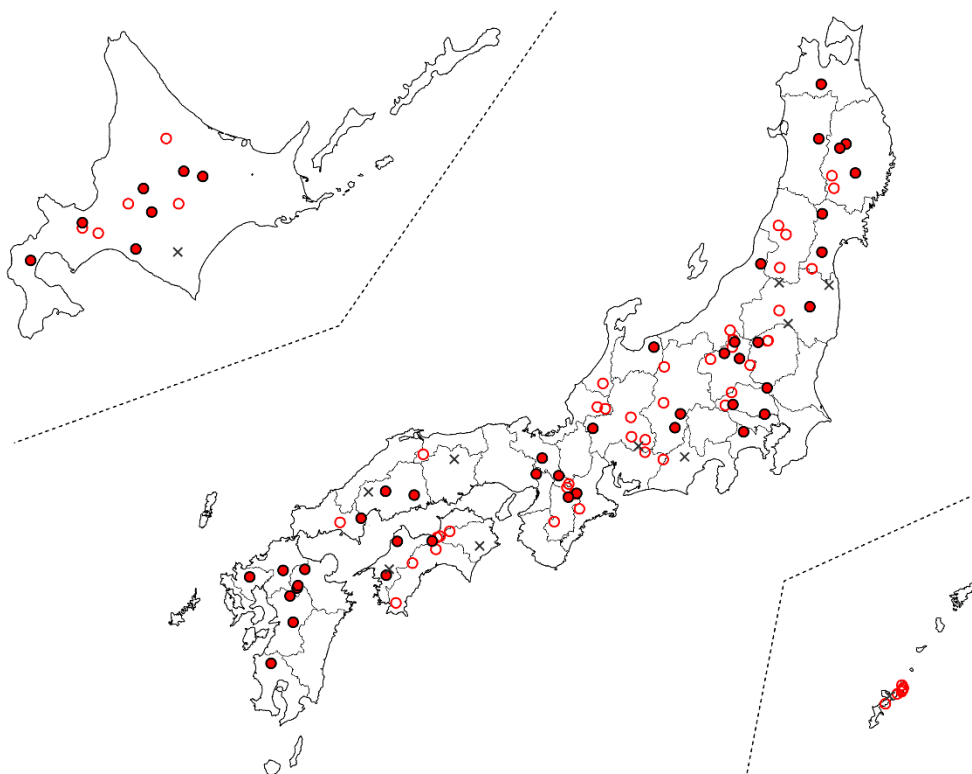


2 2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



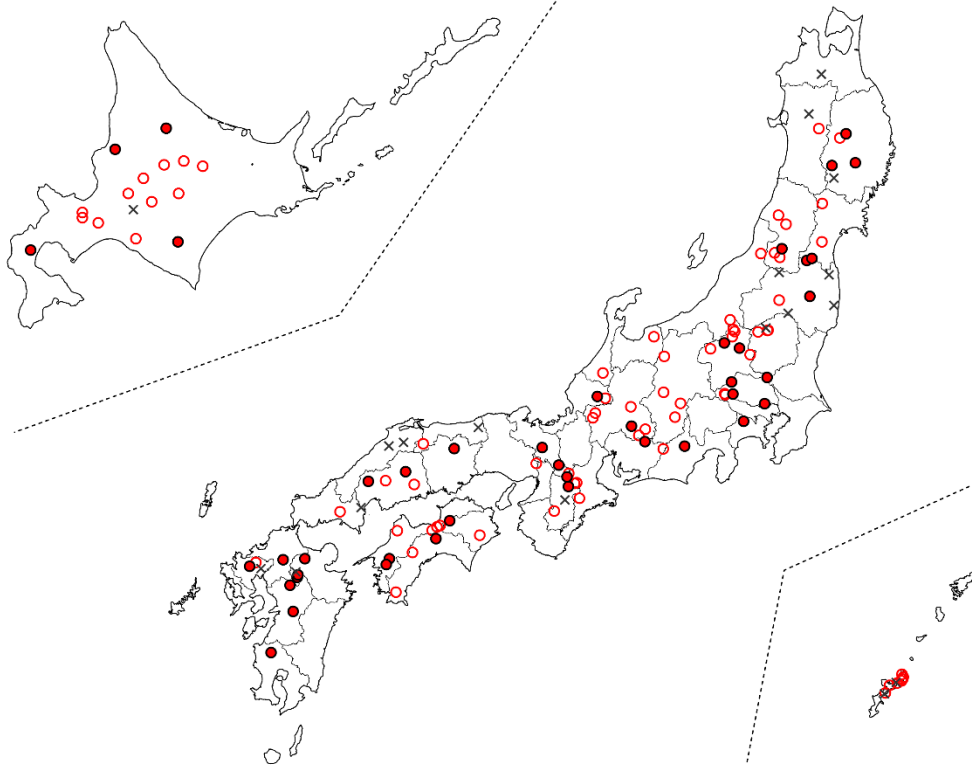
4 図 4-47 ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)

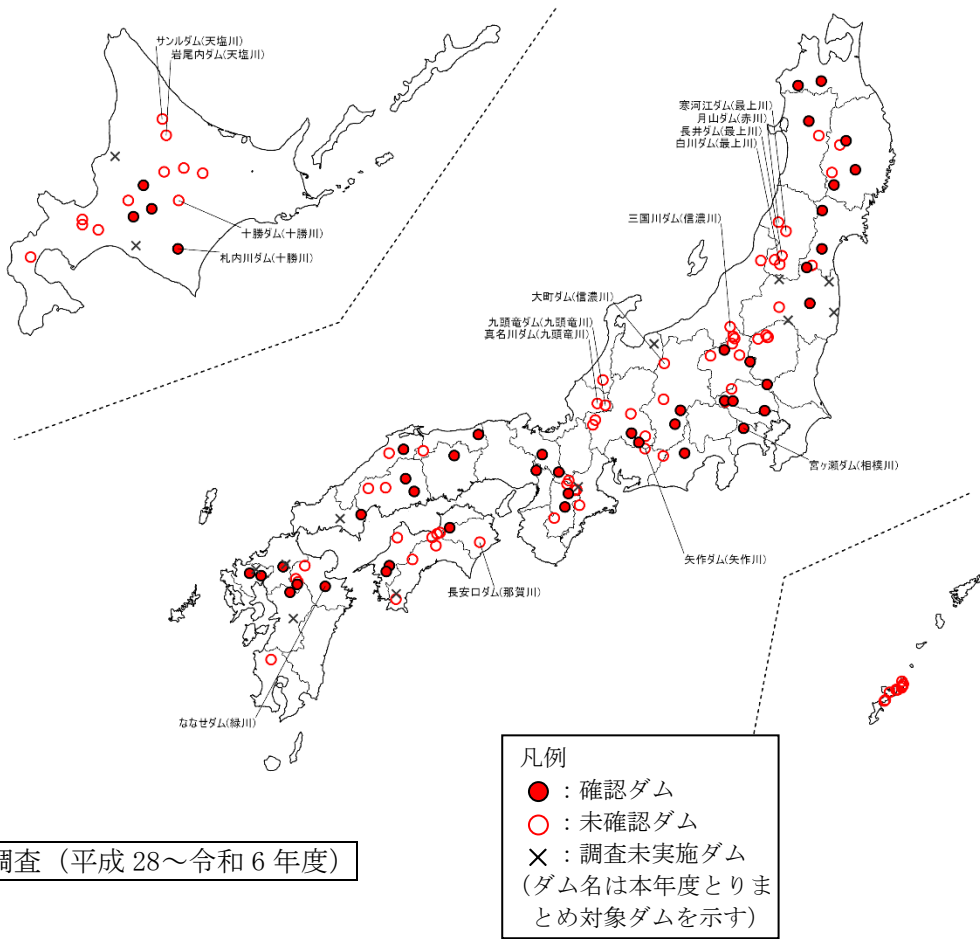


2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)

凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム



4
5 図 4-48 ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(3 巡目調査、4 巡目調査)
6

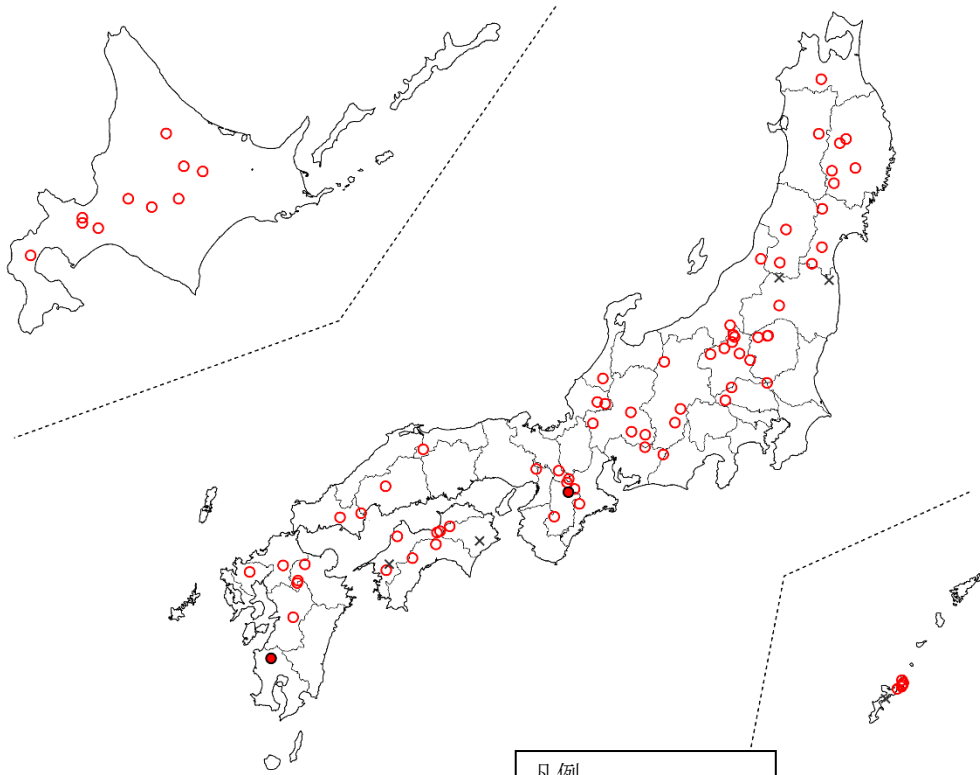


1
2
3
4
5
6

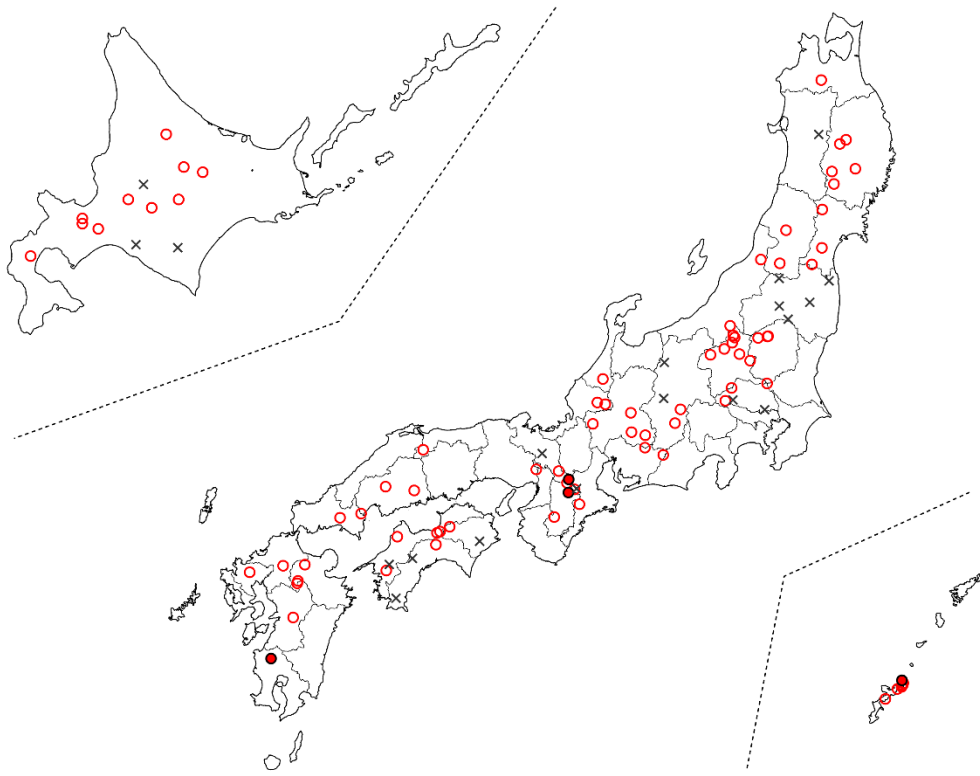
5 巡目調査 (平成 28~令和 6 年度)

図 4-49 ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 1 巡目調査 (平成 2～7 年度)



2 2 巡目調査 (平成 8～12 年度)

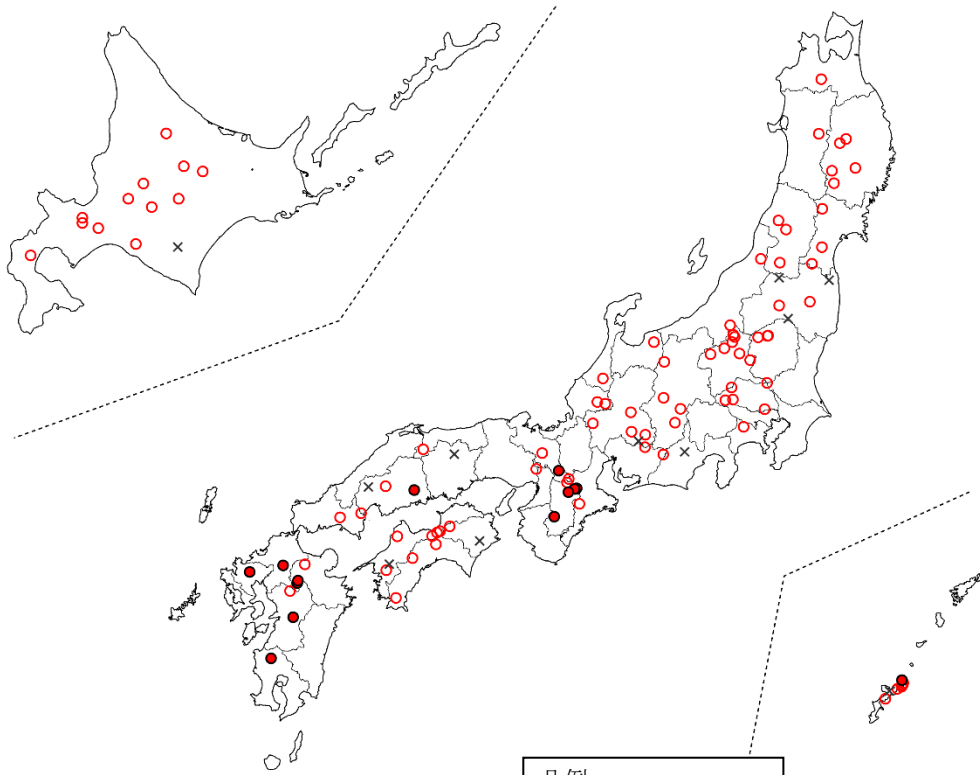


凡例
● : 確認ダム
○ : 未確認ダム
× : 調査未実施ダム

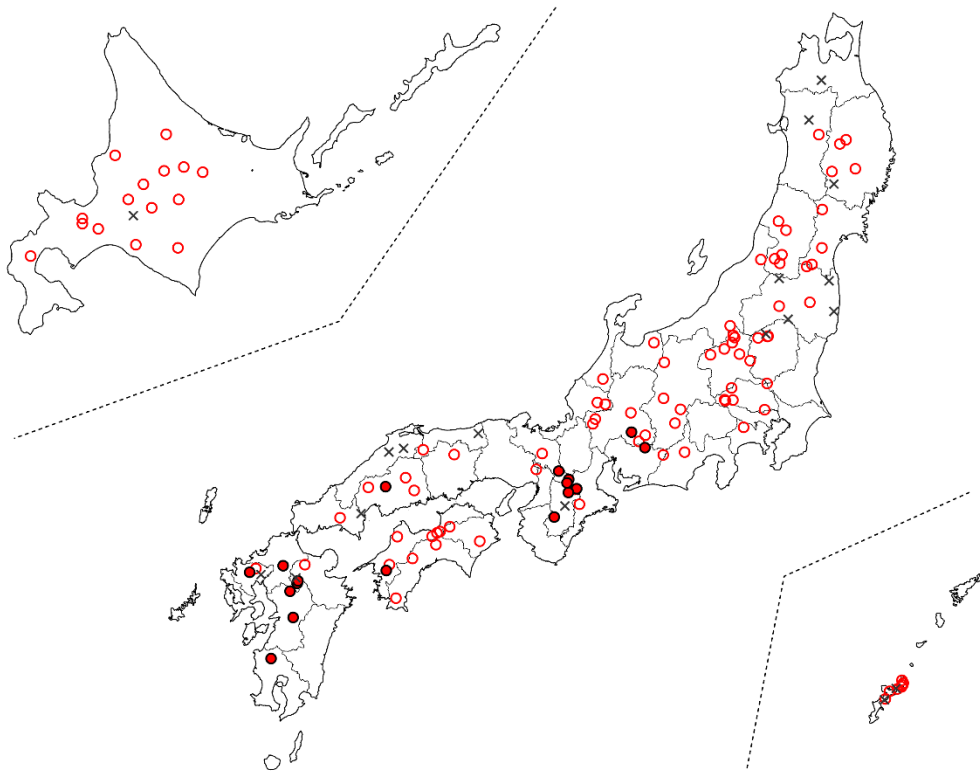
4
5
6

図 4-50 メリケンムグラの確認状況 (1 巡目調査、2 巡目調査)

1 3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



2
3 4 巡目調査 (平成 18~27 年度)



4
5 図 4-51 メリケンムグラの確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)
6

1 5 巡目調査 (平成 28～令和 6 年度)

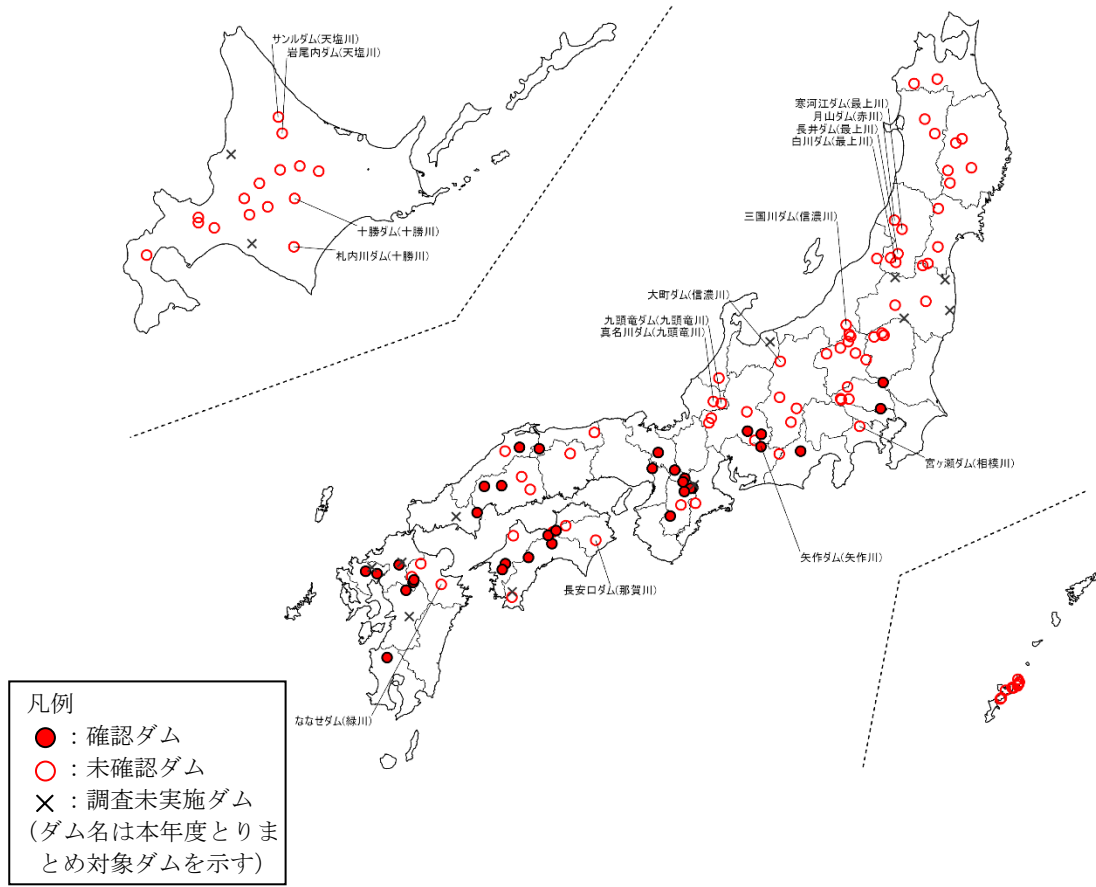


図 4-52 メリケンムグラの確認状況 (5 巡目調査)

2
3
4
5
6
7
8

1 4.3 ダム管理との関わり（ダム湖周辺の生物相）

2 (1) 水位変動域の植物相

- 3
4 • 常時満水位付近に位置する水位変動域の調査地区では他の地区に比べて確認種数が少なく、一部を除き外来種割合が高いことを確認。

5 水位変動域で調査を行った5ダムについて、出現種の状況について確認しました。

6 ダム毎に確認種数を比較すると、水位変動域の調査地区で確認種数が少ない傾向がみられ
7 れました。

8
9 ダム毎に外来種割合を比較すると、宮ヶ瀬ダムを除いた4ダムの水位変動域に共通して、
10 外来種割合が高くなる傾向がみられました。

11 生活型別の在来種および外来種の確認状況をみると、全ダムで多年生草本の割合が高く
12 なりました。生活型別の外来種数についても、全ダム共通して多年生草本ないしは一年生
13 草本が多くみられる傾向にありました。

14 6ダムで共通してみられた外来種は、一年生草本のアメリカセンダングサでした。

15 3ダム以上でみられた外来種は、イタチハギ、メマツヨイグサ、ヒメムカシヨモギ、エゾ
16 ノギシギシ等でした。

17 特定外来生物は、アレチウリが三国川ダムで、オオハンゴンソウが岩尾内ダムでみられ
18 ました。

19 6ダムで共通してみられた在来種はありませんでした。

20 3ダム以上でみられた在来種は、木本のオノエヤナギ、籐本のフジ、多年生草本のクサソ
21 テツ、タチツボスミレ、一年生草本のアキノエノコログサ等でした。
22
23

表 4-6 ダム湖全域および水位変動域の確認種数

		北海道																	
		岩尾内ダム								サンルダム									
水位変動域	ダム湖	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	流入河川	下流河川		水位変動域	ダム湖	ダム湖	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	流入河川	下流河川	環境創出箇所		
天岩湖6	天岩湖3	天岩周1	天岩周2	天岩周3	天岩周4	天岩入1	天岩下1		天サ湖5	天サ湖3	天サ湖4	天サ周1	天サ周2	天サ周3	天サ入1	天サ下1	天サ他1		
水位変動域	天塩川流入部	エコトーン	樹林内(第1位群落)	樹林内(第2位群落)	樹林内(第7位群落)	天塩川(流入河川)	天塩川(下流河川)	全域	水位変動域(ダム湖中流部右岸)	サンル川流入部	湖岸部(ダム湖中流部右岸)	エコトーン(ダム湖中流部左岸)	樹林内(第4位群落:ミズナラ群落)	樹林内(第1位群落:アカトドマツ植林)	サンル川(流入河川)	サンル川(下流河川)	環境創出箇所(造成池)	全域	
確認種数	139	119	234	280	287	271	243	273	477	74	139	144	119	168	137	197	183	148	433
外来種数	42	28	36	35	23	24	28	44	71	22	31	40	30	20	17	22	13	30	63
外来種数割合	30%	24%	15%	13%	8%	9%	12%	16%	15%	30%	22%	28%	25%	12%	12%	11%	7%	20%	15%
ダム全域に占める確認種数割合	29%	25%	49%	59%	60%	57%	51%	57%	-	17%	32%	33%	27%	39%	32%	45%	42%	34%	-

		東北										
		月山ダム										
水位変動域	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	下流河川	下流河川	環境創出箇所		
赤芾月山6	赤芾月山7	赤芾月山11	赤芾月山12	赤芾月山13	赤芾月山22	赤芾月山23	赤芾月山24	赤芾月山25	赤芾月山26	赤芾月山27	全域	
水位変動域(中の平)	エコトーン(中の平)	湖岸道路左岸下流	湖岸道路左岸上流	湖岸道路右岸林道	芾字川紅葉(わさび)橋周辺	田麦川(川沿い)	ダムサイト下流部	中間部(三栗屋)	赤川との合流点(落合)	環境創出箇所(ノコトぶな公園)		
確認種数	68	178	311	317	389	230	320	293	303	289	211	655
外来種数	12	31	34	28	26	9	15	18	25	25	20	58
外来種数割合	18%	17%	11%	9%	7%	4%	5%	6%	8%	9%	9%	9%
ダム全域に占める確認種数割合	10%	27%	47%	48%	59%	35%	49%	45%	46%	44%	32%	-

		関東																
		宮ヶ瀬ダム																
水位変動域1	水位変動域2	ダム湖	ダム湖	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	流入河川	流入河川	下流河川	下流河川	下流河川	下流河川	その他		
水位1	水位2	流入1下流	流入2下流	エコ1	エコ2	群落1	群落2	群落3	群落4	流入1上流	流入2上流	下流1	下流2	下流3	下流4	その他1	全域	
南山橋周辺(伐採スギ植林)	虹の大橋南西(伐採スギ植林)	流入河川(中津川)	流入河川(早戸川)	柳の木トンネル周辺(伐採コナラ林)	南山橋周辺(伐採スギ植林)	第1位スギヒノキ植林	第2位コナラ群落	第3位ススキ群落	特徴のある群落(畑地)	流入河川(中津川)	流入河川(早戸川)	才戸橋付近	平山橋付近	愛川大橋付近	愛川大橋上下流	弁天橋		
確認種数	103	99	362	334	149	114	346	410	426	370	327	306	363	414	143	503	440	898
外来種数	10	16	22	16	7	2	26	27	69	83	22	9	130	116	37	89	82	194
外来種数割合	10%	16%	6%	5%	5%	2%	8%	7%	16%	22%	7%	3%	36%	28%	26%	18%	19%	22%
ダム全域に占める確認種数割合	11%	11%	40%	37%	17%	13%	39%	46%	47%	41%	36%	34%	40%	46%	16%	56%	49%	-

		北陸									
		三国川ダム									
水位変動域	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	ダム湖周辺	流入河川	流入河川	流入河川	下流河川	地形改変		
信三湖4	信三周4	信三周1	信三周2	信三周3	信三入4	信三入5	信三入6	信三下3	信三他1	全域	
水位変動域	エコトーン	フナ・ミズナラ群落	伐採跡地等低木群落	溪側斜面低木群落	三国川	黒又沢	下津川	下流河川	原石山跡地		
確認種数	111	230	356	238	237	319	266	363	370	326	668
外来種数	13	22	17	10	13	21	8	20	48	31	65
外来種数割合	12%	10%	5%	4%	5%	7%	3%	6%	13%	10%	10%
ダム全域に占める確認種数割合	16%	34%	53%	36%	35%	48%	40%	54%	55%	49%	-

(注) ダム毎にダム全域の外来種割合より水位変動域の外来種割合が高い場合は赤字で示した。

1

岩尾内ダム 水位変動域（天岩湖 6）

似峽川流入部付近に位置します、緩傾斜地が存在し、干出時には抽水植物等の植生が見られます。



4 巡目・旭天岩 3
(平成 26 年 8 月)



5 巡目
(令和 5 年 8 月)

水位変動域調査地区の景観

サンルダム 水位変動域（天サ湖 5）

ダム湖中流部右岸の水位変動域に位置します。緩傾斜地が広がり、ダム湖の水位変動域を代表する調査地区として、新たに設定されました。



5 巡目
(令和 5 年 7 月)

水位変動域調査地区の景観

2

3

月山ダム 水位変動域 (赤梵月山 6)

制限水位以上はなだらかな地形となっています。制限水位から常時満水位までの水位変動域は、裸地またはイタチハギ群落が分布しています。制限水位以下は裸地であり、植物は見られません。



4 巡目・赤梵月山 6
(平成 25 年 6 月)



5 巡目
(令和 5 年 6 月)

水位変動域調査地区の景観

宮ヶ瀬ダム 水位変動域 1 (水位 1)

湛水前に伐採された地区で、既存植生はスギ植林です。水位変動域である常時満水位以下は草本群落、低木群落、もしくは裸地であり、イタチハギ、アメリカセンダングサなどが生育し、植被率も 10%~60%と高くなっています。常時満水位から 5m までは低木群落が成立し、それ以上は低木群落、スギ植林が成立しています。5 巡目より新規地区として設定されました。



5 巡目
(令和 5 年 7 月)

水位変動域調査地区の景観

- 1
- 2

宮ヶ瀬ダム 水位変動域 2 (水位 2)

湛水前に伐採された地区で、既存植生はスギ植林です。水位変動域である常時満水位以下の区間には、メヒシバ、エノコログサなどの草本群落が生育し、植被率も 10%~60%と高くなっています。常時満水位以上はスギ植林が成立しています。5 巡目より新規地区として設定されました。



5 巡目

(令和 5 年 5 月)

水位変動域調査地区の景観

三国川ダム 水位変動域 (信三湖 4)

大戸沢の流入地点付近であり、緩傾斜の地形に砂・粘土の土壌がみられます。水際部にはオオイヌタデが生育し、緩傾斜地には主にイタチハギが密に生育しています。



4 巡目・信三ダ 8

(平成 26 年 5 月)



5 巡目

(令和 5 年 7 月)

水位変動域調査地区の景観

1
2

1

2

表 4-7 水位変動域における生活型別の在来種および外来種の確認状況

		北海道				東北				関東				北陸			
		岩尾内ダム		サンルダム		月山ダム				宮ヶ瀬ダム				三国川ダム			
		水位変動域		水位変動域		水位変動域				水位変動域1		水位変動域2		水位変動域			
		5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目		
木本	在来種	20種 14%	23種 15%	8種 11%	-	-	6種 9%	11種 13%	36種 35%	-	-	35種 35%	-	-	27種 24%	11種 13%	
	(うち自生のヤナギの種数)	8種 6%	6種 4%	4種 5%	-	-	1種 1%	4種 5%	0種 0%	-	-	0種 0%	-	-	7種 6%	4種 5%	
	外来種	3種 2%	2種 1%	0種 0%	-	-	1種 1%	1種 1%	1種 1%	-	-	2種 2%	-	-	1種 1%	1種 1%	
	計	23種 17%	25種 17%	8種 11%	-	-	7種 10%	12種 14%	37種 36%	-	-	37種 37%	-	-	28種 25%	12種 14%	
籐本 (ツル性)	在来種	2種 1%	2種 1%	0種 0%	-	-	2種 3%	1種 1%	9種 9%	-	-	4種 4%	-	-	5種 5%	1種 1%	
	外来種	0種 0%	0種 0%	0種 0%	-	-	0種 0%	0種 0%	0種 0%	-	-	0種 0%	-	-	0種 0%	0種 0%	
	計	2種 1%	2種 1%	0種 0%	-	-	2種 3%	1種 1%	9種 9%	-	-	4種 4%	-	-	5種 5%	1種 1%	
多年生 草本	在来種	50種 36%	59種 39%	30種 41%	-	-	19種 28%	31種 36%	42種 41%	-	-	24種 24%	-	-	32種 29%	31種 36%	
	外来種	27種 19%	30種 20%	13種 18%	-	-	2種 3%	5種 6%	1種 1%	-	-	6種 6%	-	-	2種 2%	5種 6%	
	計	77種 55%	89種 59%	43種 58%	-	-	21種 31%	36種 42%	43種 42%	-	-	30種 30%	-	-	34種 31%	36種 42%	
一年生 草本	在来種	25種 18%	26種 17%	14種 19%	-	-	29種 43%	27種 32%	6種 6%	-	-	20種 20%	-	-	34種 31%	27種 32%	
	外来種	12種 9%	8種 5%	9種 12%	-	-	9種 13%	9種 11%	8種 8%	-	-	8種 8%	-	-	10種 9%	9種 11%	
	計	37種 27%	34種 23%	23種 31%	-	-	38種 56%	36種 42%	14種 14%	-	-	28種 28%	-	-	44種 40%	36種 42%	
全体計		139種 -	150種 -	74種 -	-	-	68種 -	85種 -	103種 -	-	-	99種 -	-	-	111種 -	85種 -	

3

4

5

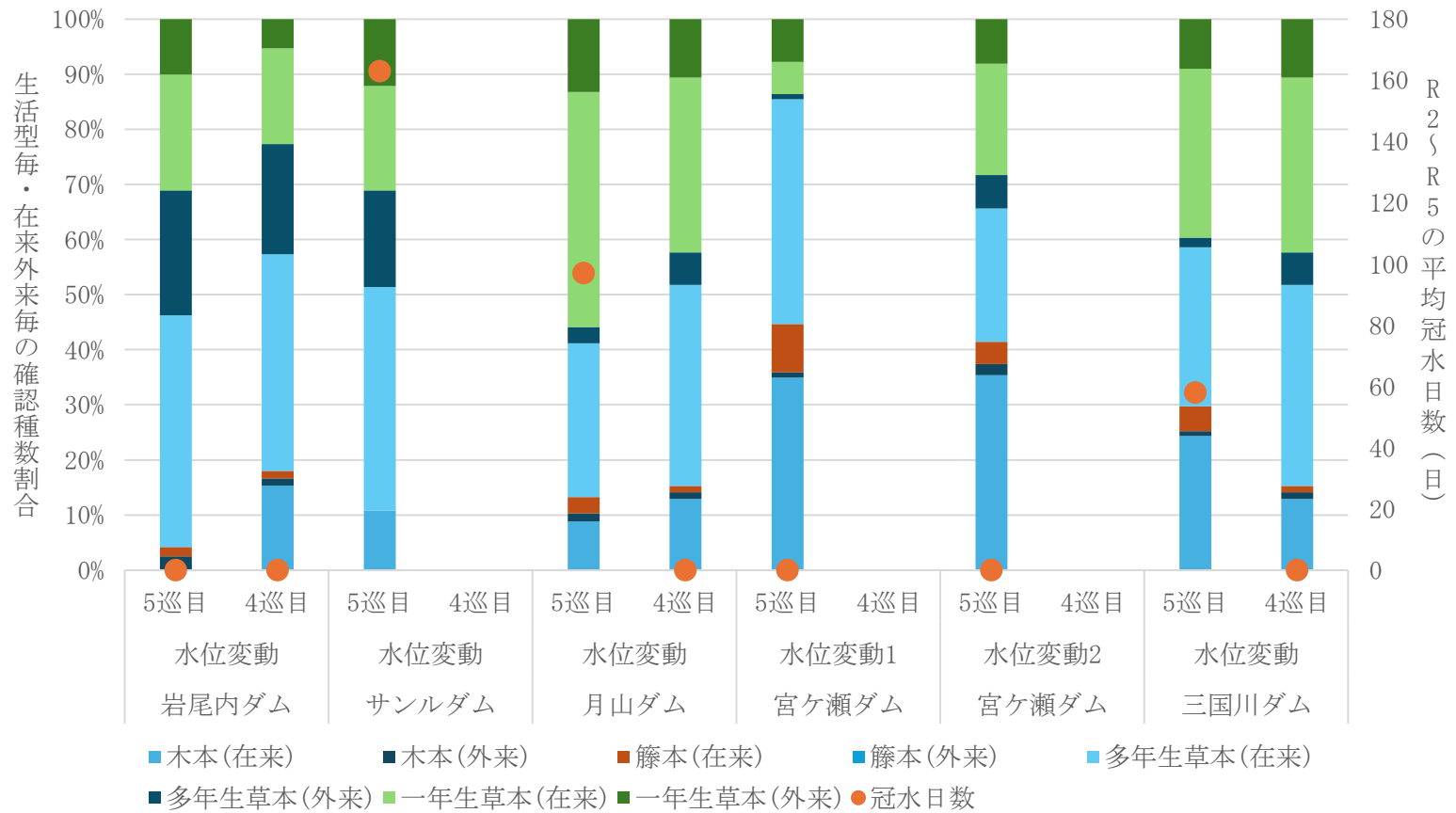


図 4-53

水位変動域における生活型別の在来種および外来種の確認割合および水位変動域冠水日数

※冠水日数は、「常時満水位よりダム貯水位が高くなる日」から計算しているため、実際の冠水日数より少なく計数されている可能性があります。

※4巡目調査が行われていないためダムは5巡目調査の結果のみを整理した。

1
2
3
4
5
6

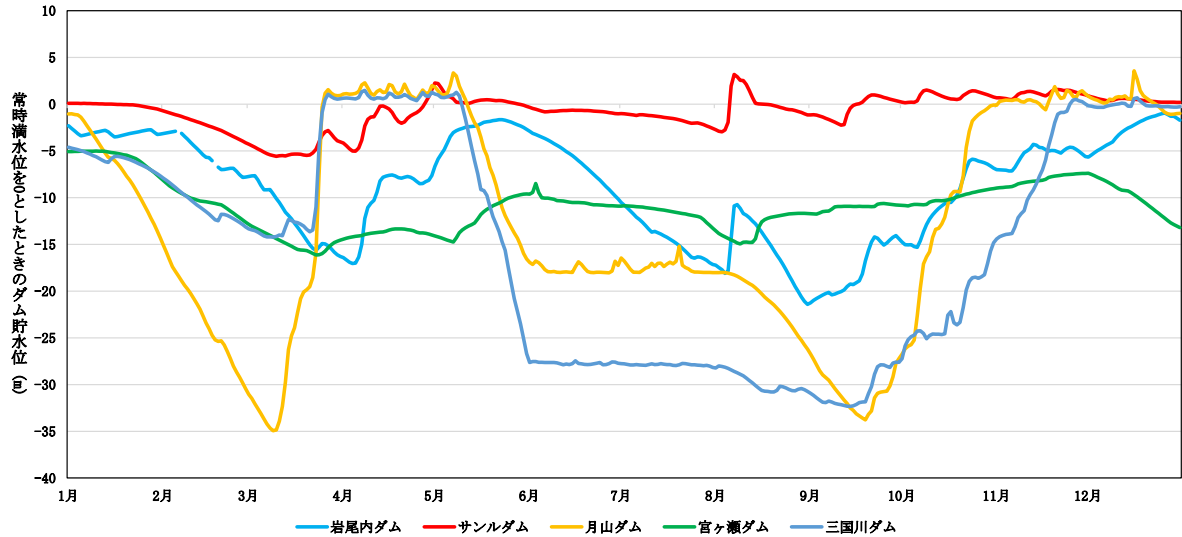
1

表 4-8 各ダムの冠水日数と時期

項目	北海道		北海道		北 関 東	
	岩尾内ダム	サンルダム	月山ダム	宮ヶ瀬ダム	三国川ダム	陸
冠水日数(R2-R5の4年間の平均)	0日	109日	61日	0日	33日	
冠水日数(R5)	0日	163日	97日	0日	58日	
冠水時期(R5)		1/1~1/15 4/28~5/28 8/6~8/16 9/17~12/31	3/26~5/11 11/2~11/15 11/18~12/23		3/26~5/9 11/25~11/30 12/11~12/13 12/16~12/19	

2

3



4

5

6

7

図 4-54 貯水位の変動 (常時満水位 (平常時最高水位) - ダム貯水位)

1 水位変動域でも生育できる在来種の本類として、ヤナギ類があります。ダム湖岸に樹木（木
2 本）が生育することで、景観の保全、根による表土の流出防止効果が期待できるほか、他の生
3 物群の生息場ともなり、生態系の保全にも寄与することが考えられます。

4 今回、水位変動域で調査を行った5ダムで、水辺に生育する在来種であるヤナギ類が合計13
5 種確認されました。

6 ヤナギ類と生育環境が競合すると考えられる、外来種のアレチウリとイタチハギの出現状況
7 もあわせて整理した結果、両種の生育が確認されたダムは三国川ダムのみでした。

8 アレチウリやイタチハギの分布拡大を抑制するため、アレチウリの駆除（浅瀬石川ダム、湯
9 田ダム、大川ダム、美和ダム、小渋ダム、丸山ダム等）、水位変動域外に分布が拡大したイタチ
10 ハギをヤナギ等の在来植物に転換するための取り組み（月山ダム）、イタチハギの伐採（比奈
11 知ダム等）等の対策が各ダムにおいて行われています。

12
13 表 4-9 水位変動域における自生のヤナギ類の確認状況

No.	種和名	分布	北海道		東北	関東		北陸
			岩尾内ダム	サンルダム	月山ダム	宮ヶ瀬ダム		三国川ダム
			天岩湖6	天サ湖5	赤梵月山6	水位1	水位2	信三湖4
1	バッコヤナギ	南千島、北海道、本州（近畿以東）、四国		●				
3	シロヤナギ	北海道（中部・南部）、本州（東北地方、新潟県）						●
5	ネコヤナギ	国後島、北海島、本州、四国、九州	●					●
6	イヌコリヤナギ	南千島、北海道、本州、四国、九州	●					●
7	タチヤナギ	北海道、本州、四国、九州	●					●
8	オノエヤナギ	北海道、本州、四国	●	●	●			●
9	ドロヤナギ	北海道、本州（中部以北）	●	●				
10	トカチヤナギ	北海道、本州（中部以北）	●					
11	エゾノキヌヤナギ	北海道、本州（東北地方、長野県）	●	●				
12	エゾノカワヤナギ	北海道	●					
13	オオキツネヤナギ	本州（東北地方・中部地方の日本海側）						●
		計	8種	4種	1種	0種	0種	5種
参考	アレチウリ							●
	イタチハギ		●		●	●	●	●

14 ※ヤナギ類の種名と生育環境について

15 ・ヤナギ類の種名は、令和6年度河川水辺の国勢調査のための生物リストに基づく種名を用いた。

16 ※ヤナギ類と生育環境が競合する外来種のアレチウリ、イタチハギの出現状況もあわせて整理した。

1 (2) ダム湖周辺の植生

2
3 • 全体的に樹林環境（広葉樹林、植林地）が多くを占めており、また、全国的にイタチハギ、
4 北陸や中部地域のダムでハリエンジュなどの外来植物が優占する群落が見られることを
5 確認

6 令和6年度にダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）を行った13ダムでは、樹林環境
7 （特に広葉樹林、植林地）が多くを占めていました。

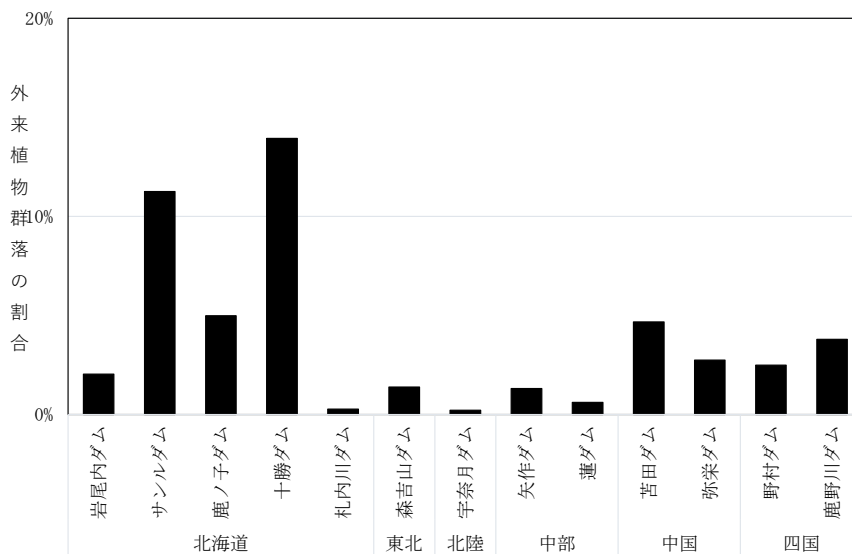
8 札内川ダムをはじめとする北海道地域のダムや東北の森吉山ダムでは、ヤナギ林（高・
9 低木）の面積が多くなる傾向がありました。

10 中部の矢作ダムや蓮ダムでは、他ダムと比して植林地（スギ・ヒノキ・竹林）の割合が
11 高く、これらのダムでは、広葉樹林面積よりも植林地の面積の割合が高くなっていました。

12 外来植物群落の割合は、北海道の十勝ダムで14%と最も高く、オオアワダチソウ群落や
13 クシロヤガミスゲ群落、カラマツ植林がみられました。

14 ダム湖の水位変動域で繁茂し課題となることのあるイタチハギ群落（その他の低木林（外
15 来））は、北海道の岩尾内ダム、札内川ダム、東北の森吉川ダム、北陸の宇奈月ダム、中部
16 の矢作ダム、蓮ダム、中国の苫田ダムの計7ダムで確認されました。

17 沈水植物群落は森吉川ダムや苫田ダム、弥栄ダムの3ダムにおいて、イトモ群落やコカ
18 ナダモ群落、オオフサモ群落などが確認されました。



23 図 4-55 外来植物群落の割合

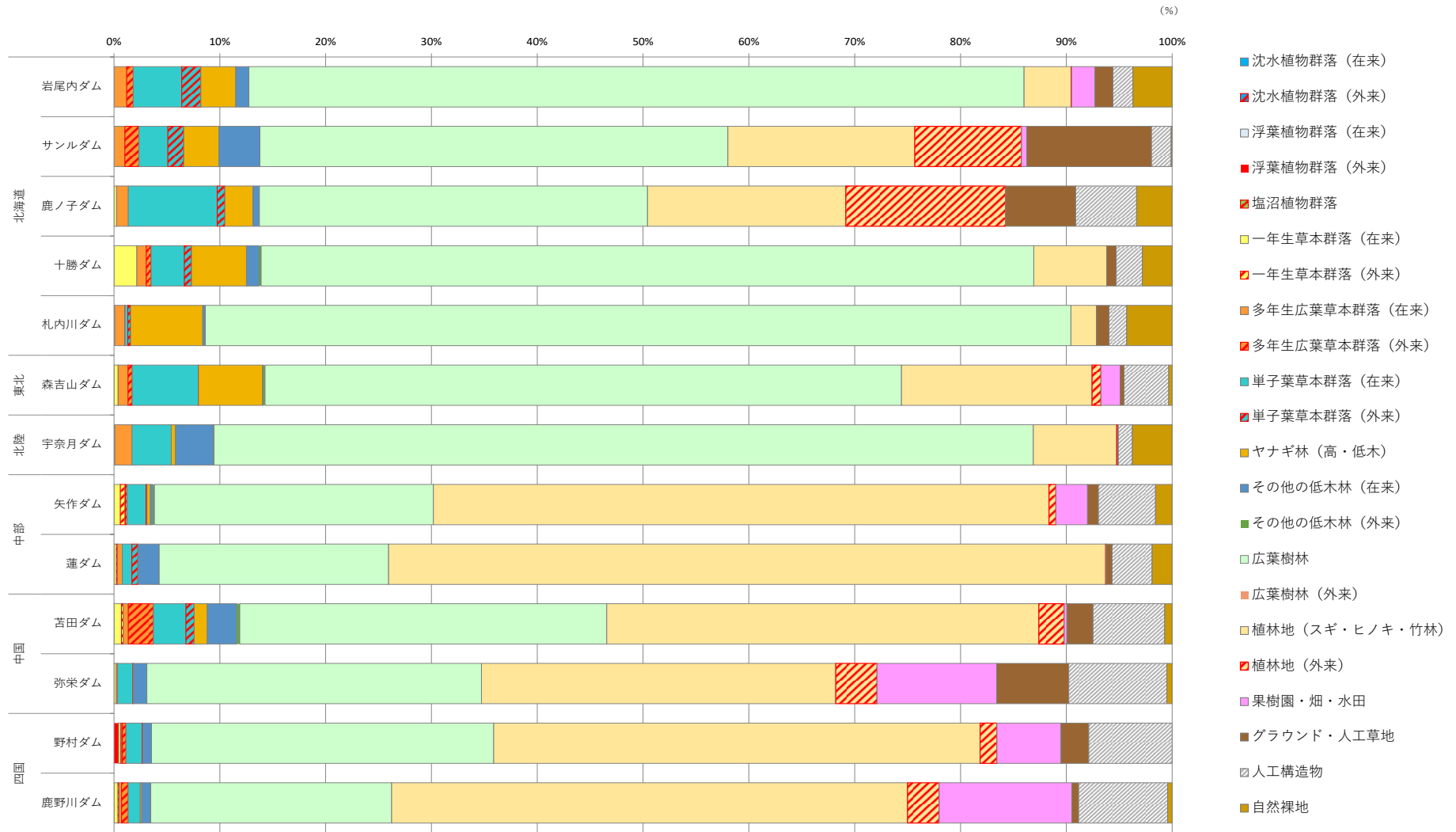
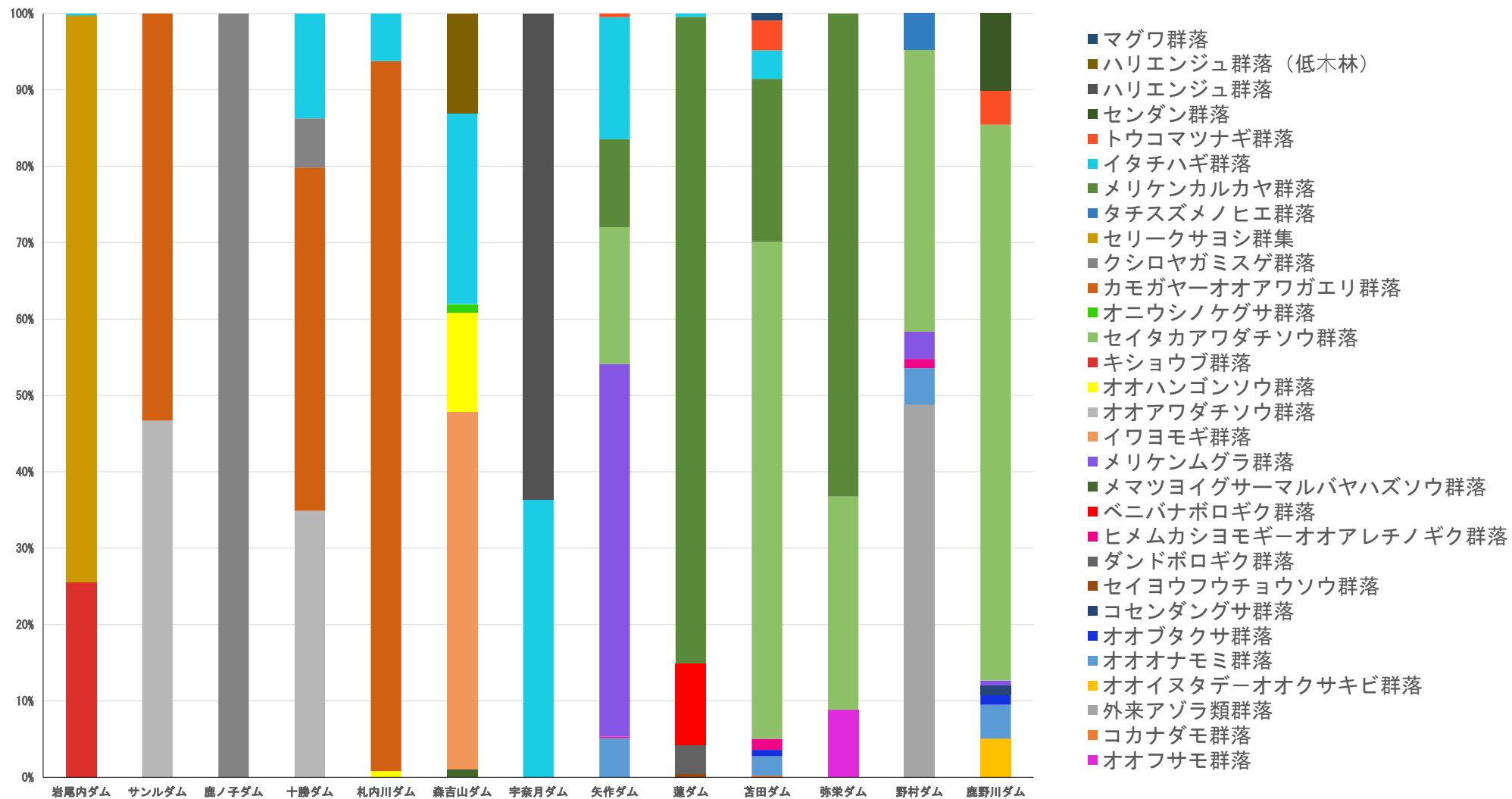


図 4-56 植生面積の割合

1
2
3



1
2

図 4-57 各ダムにおける外来植物群落の面積割合

1
2

表 4-10 (1) 各ダムにおいて確認された植物群落

北海道 岩尾内ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	メヒシバ-エノコログサ群落
一年生草本群落 (外来)	
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落 カワラヨモギ-カワラハハコ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	キシノウエ群落
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落 ツルヨシ群落 イ群落 エゾノサヤヌカグサ群落 ヌマハリイ群落 ノハナショウブ-ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落 セリクサヨシ群落
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群落 エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 (低木林) オオバヤナギ-ドロノキ群落 タチヤナギ群落 (低木林)
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落 ズミ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	アカトドマツ-ミズナラ群落 ウダイカンバ群落 オニグルミ群落 オヒョウ-カツラ群落 ケヤマハンノキ群落 シラカンバ群落 ミズナラ群落 ヤチダモ-ハルニレ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	
植林地 (在来)	アカトドマツ植林
植林地 (外来)	カラマツ植林 ハリエンジュ群落
果樹園・畑・水田	畑地 (畑地雑草群落)
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

北海道 サンルダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	
一年生草本群落 (外来)	
多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサ-オオバコ群落 ワラビ群落 オオヨモギ-オオイタドリ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	オオアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落 ツルヨシ群落 エゾオオヤマハコベク-カサヨシ群落 ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落
ヤナギ林 (高・低木)	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 (低木林)
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落
その他の低木林 (外来)	
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群落 ミズナラ群落 オニグルミ群落 シラカンバ群落 ケヤマハンノキ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	アカトドマツ-ミズナラ群落
植林地 (在来)	アカトドマツ植林 植栽樹林群 アカエゾマツ植林
植林地 (外来)	カラマツ植林 ドイツウヒ植林
果樹園・畑・水田	畑地 (畑地雑草群落)
グラウンド・人工草地	人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

北海道 鹿ノ子ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	岩礫植物群落 アキタブキ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	
単子葉草本群落 (在来)	クサヨシ群落 エゾハリイ群落 アブラガヤ群落
単子葉草本群落 (外来)	クシロヤガミスゲ群落
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群落 エゾノキヌヤナギ群落 (低木林)
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落
その他の低木林 (外来)	
広葉樹林 (在来)	ミズナラ群落 シラカンバ群落 ヤチダモ-ケヤマハンノキ群落 ケヤマハンノキ-オノエヤナギ群落 シラカンバ-エゾノバッコヤナギ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	アカトドマツ-シナノキ群落 アカトドマツ-ハリギリ群落 アカトドマツ-ウダイカンバ群落 アカトドマツ-アカエゾマツ群落
植林地 (在来)	アカトドマツ植林 アカエゾマツ植林 (低木林) シラカンバ植林
植林地 (外来)	カラマツ植林
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

表 4-10 (1) 各ダムにおいて確認された植物群落

北海道 十勝ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ヤナギタデ群落 オオイヌタデ-オオクサキビ群落 メシバ-エノコログサ群落
一年生草本群落 (外来)	
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落 ダイモンジソウ群落 スギナ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	オオアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落 セリ-クサヨシ群落 アブラガヤ群落
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落 クシロヤガミスグ群落
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群落 エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落 クズ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	オヒョウ-カツラ群落 ヤチダモ-ハルニレ群落 ミズナラ群落 ケヤマハンノキ群落 ウダイカンバ群落 アカトドマツ-ミズナラ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	エゾマツ-トドマツ群落
植林地 (在来)	アカトドマツ植林 エゾマツ・アカエゾマツ植林 シラカンバ植林
植林地 (外来)	カラマツ植林
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	人工草地 公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

北海道 札内川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ヤナギタデ群落
一年生草本群落 (外来)	
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落 ダイモンジソウ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	オオハンゴンソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落 セリ-クサヨシ群落
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群落 オオバヤナギ-ドロノキ群落 (低木林) エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 (低木林) クシロヤナギ群落
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落 ミヤマハンノキ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群落 ケヤマハンノキ群落 ケヤマハンノキ群落 (低木林) アカトドマツ-ミズナラ群落 エゾイタヤ-シナノキ群落 ダケカンバ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	
植林地 (在来)	アカトドマツ植林 アカエゾマツ植林
植林地 (外来)	
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

東北 森吉山ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	イトモ群落
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	フトヒルムシロ群落
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ミソソバ群落 ヤナギタデ群落 メシバ-エノコログサ群落 カナムグラ群落 アゼトウガラシ群落 ミヤマニガウリ群落
一年生草本群落 (外来)	メマツヨイグサ-マルバヤハズソウ群落 オオイヌタデ-オオクサキビ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落 ヨモギ-メドハギ群落 クサソテツ群落 カゼクサ-オオバコ群落 ワラビ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	オオハンゴンソウ群落 イワヨモギ群落
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落 ツルヨシ群落 オギ群落 カンガレイ群落 ヒメガマ群落 ススキ群落 チガヤ群落 タヌキラン群落 アブラガヤ群落
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落 オニウシノケグサ群落
ヤナギ林 (高・低木)	イヌコリヤナギ群落 タチヤナギ群落 (低木林) シロヤナギ群落 シロヤナギ群落 (低木林) オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落 (低木林) バッコヤナギ群落
その他の低木林 (在来)	クズ群落 チシマザサ群落 クマイチゴ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群落 サワグルミ群落 ケヤキ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) オニグルミ群落 ケヤマハンノキ群落 ブナ-ミズナラ群落 タラノキ群落 (伐跡群落) スギ-ブナ群落 コナラ-ミズナラ群落 アカシデ-ケヤキ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落 アカマツ群落 (低木林)
植林地 (在来)	スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地 (外来)	カラマツ植林 ハリエンジュ群落 ハリエンジュ群落 (低木林)
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地 (畑地雑草群落) 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

表 4-10 (1) 各ダムにおいて確認された植物群落

北陸 宇奈月ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ミソソバ群落
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクササキ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	カラムシ群落 オオバギボウシ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	
単子葉草本群落 (在来)	ホッソガヤ群落 ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	
ヤナギ林 (高・低木)	イヌコリヤナギ群集 コゴメヤナギ群集
その他の低木林 (在来)	ミヤマカラハンノキ群落 ヒメヤシヤブシ群落 タニウツギ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	サワグルミ群落 ケヤキ群落 ミズナラ群落 ミズナラ群落 (低木林) コナラ群落 コナラ群落 (低木林) ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) オニグルミ群落 フサザクラ群落 (低木林) ケヤマハンノキ群落 ブナ-ミズナラ群落 クマシデ群落 トチノキ群落 フサザクラ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	ツガ群落
植林地 (在来)	スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地 (外来)	ハリエンジュ群落
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

中部 矢作ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ホシクサ-マツバイ群落 ヤナギタデ群落 メシバ-エノコログサ群落 ヒメグサ群落 ウリカワ-コナギ群集 アゼトウガラシ群集 ダンドボロギク群落
一年生草本群落 (外来)	オオオナモミ群落 ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落 オオイヌタデ-オオクササキ群落 メリケンムグラ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギ-メドハギ群落 カラムシ群落 カゼクサ-オオバコ群集
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集 オギ群落 シバ群落 ススキ群落 チガヤ群落 ヤマアゼスグ群落 ヌマカゼクサ群落 ショウブ群落
単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集 タチヤナギ群集 タチヤナギ群集 (低木林)
その他の低木林 (在来)	サツキ群落 メダケ群集 ネザサ群落 オカメザサ群落 クズ群落 フジ群落 クサギ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落 トウコマツナギ群落
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落 コナラ群落 アベマキ群落 カラハンノキ群落 (低木林) ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) ヤマグワ群落 オニグルミ群落 ムクノキ-エノキ群集 フサザクラ群落 アカシデ群落 イイギリ群落 ミズキ群落 カラスザンショウ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	アラカシ群落 シラカシ群落 アカマツ群落 ヒメコマツ群落 モミ群落
植林地 (在来)	マダケ植林 ヤダケ植林 植栽樹林群 スギ・ヒノキ植林
植林地 (外来)	モウソウチク植林 シンジュ群落 ハリエンジュ群落
果樹園・畑・水田	果樹園 樹園地 茶畑 畑地 (畑地雑草群落) 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

中部 連ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	フトヒルムシロ群落
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ミソソバ群落 ヤナギタデ群落 オヒシバ-アキメヒシバ群集 アゼトウガラシ群集
一年生草本群落 (外来)	ベニバナボロギク群落 レモンエゴマ群落 ダンドボロギク群落 オオイヌタデ-オオクササキ群落 セイヨウフウチョウソウ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	イタドリ群落 カゼクサ-オオバコ群集 アワモリショウマ群落 ワラビ群落 イワタバコ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集 ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集
その他の低木林 (在来)	サツキ群落 ユキヤナギ群落 メダケ群集 ネザサ群落 クズ群落 ウツギ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落 コナラ群落 カラハンノキ群落 (低木林) ヌルデ-アカメガシワ群落 フサザクラ群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落 ツガ群落 アカクロマツ群落 シキミ-モミ群集
植林地 (在来)	マダケ植林 ハチク植林 スギ・ヒノキ植林 スギ・ヒノキ植林 (新植地) スギ・ヒノキ植林 (伐採地) 植栽樹林群
植林地 (外来)	モウソウチク植林
果樹園・畑・水田	果樹園
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地 露岩・崩壊地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

表 4-10 (1) 各ダムにおいて確認された植物群落

中国 苦田ダム		中国 弥栄ダム	
植物基本分類	群落名	植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)		沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	コカナダモ群落	沈水植物群落 (外来)	オオフサモ群落
浮葉植物群落 (在来)		浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)		浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)		塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ミソソバ群落 ヤナギタデ群落 メヒシバ-エノコログサ群落 オヒシバ-アキメヒシバ群落 カナムグラ群落 アゼトウガラシ群落	一年生草本群落 (在来)	メヒシバ-エノコログサ群落 ミソソバ群落
一年生草本群落 (外来)	オオオナモミ群落 ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落 オオイヌタデ-オオクサキビ群落 オオブタクサ群落	一年生草本群落 (外来)	
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギ-メドハギ群落 カゼクサ-オオバコ群落 ワラビ群落 サクラタデ群落	多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサ-オオバコ群落 ワラビ群落 カラムシ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	セイトカアワダチソウ群落	多年生広葉草本群落 (外来)	セイトカアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群落 オギ群落 ヒメガマ群落 セリ-クサヨシ群落 イ群落 シバ群落 ススキ群落 チガヤ群落 ホソイ群落 アブラガヤ群落	単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群落 ウキヤガラ-マコモ群落 ススキ群落 チガヤ群落
単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落	単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群落 タチヤナギ群落 (低木林) ジャヤナギ-アカメヤナギ群落 ヤマナラシ群落	ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群落
その他の低木林 (在来)	メダケ群落 ネザサ群落 クズ群落	その他の低木林 (在来)	ネザサ群落 クズ群落 ウツギ群落 メダケ群落
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落 トウコマツナギ群落	その他の低木林 (外来)	
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落 コナラ群落 コナラ群落 (低木林) カワラハンノキ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) オニグルミ群落 ムクノキ-エノキ群落 アラカシ群落 シラカシ群落	広葉樹林 (在来)	コナラ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) ムクノキ-エノキ群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落 アカマツ群落 (低木林)	針葉樹林 (在来)	アカマツ群落
植林地 (在来)	マダケ植林 ハチク植林 ヤダケ植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群	植林地 (在来)	マダケ植林 ヤダケ植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地 (外来)	ハリエンジュ群落 モウソウチク植林 マダケ群落	植林地 (外来)	モウソウチク植林
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地 (畑地雑草群落) 水田	果樹園・畑・水田	果樹園 畑地 (畑地雑草群落) 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地	グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路	人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地	自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面	開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
 ※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

表 4-10 (1) 各ダムにおいて確認された植物群落

四国 野村ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	
浮葉植物群落 (外来)	外来アゾラ類群落
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	メヒシバ-エノコログサ群落
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落 オオオナモミ群落 ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落 メリケンムグラ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	カラムシ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	セイタカヨシ群落 ツルヨシ群集 ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	タチスズメノヒエ群落
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集
その他の低木林 (在来)	メダケ群集 ネザサ群落 クズ群落
その他の低木林 (外来)	
広葉樹林 (在来)	コナラ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) アラカシ群落 ツブラジイ群落
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落
植林地 (在来)	マダケ植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地 (外来)	モウソウチク植林
果樹園・畑・水田	果樹園 樹園地 畑地 (畑地雑草群落) 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
 ※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

四国 鹿野川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落 (在来)	
沈水植物群落 (外来)	
浮葉植物群落 (在来)	ヒシ群落
浮葉植物群落 (外来)	
塩沼植物群落 (在来)	
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落 ヤナギタデ群落 メヒシバ-エノコログサ群落
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落 オオオナモミ群落 コセンダングサ群落 オオブタクサ群落 メリケンムグラ群落 カナムグラ群落
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギ-メドハギ群落 カラムシ群落 ワラビ群落
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集 ススキ群落
単子葉草本群落 (外来)	
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集 ジャヤナギ-アカメヤナギ群集 (低木林) オオタチヤナギ群落
その他の低木林 (在来)	メダケ群集 クズ群落 キシツツジ群落
その他の低木林 (外来)	トウコマツナギ群落
広葉樹林 (在来)	アキニレ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林) ヤマグワ群落 ムクノキ-エノキ群集 ナラガシワ群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
広葉樹林 (外来)	
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落
植林地 (在来)	マダケ植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地 (外来)	モウソウチク植林 シダレヤナギ植林 センダン群落 シンジュ群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地 (畑地雑草群落) 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	

表 4-11 岩尾内ダムにおける群落面積の変遷

岩尾内ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減 (ha)
		R1	R6	
一年生草本群落 (在来)	メヒシバーエノコログサ群落	1.51	0.24	↓ -1.27
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群集	0.30	0.00	↓ -0.30
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落	16.73	17.32	↑ 0.59
	カワラヨモギ-カワラハハコ群落	1.14	1.63	⇒ 0.49
多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサ-オオバコ群集	0.45	0.00	↓ -0.45
多年生広葉草本群落 (外来)	キショウブ群落	3.37	9.03	↑ 5.66
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落	22.51	36.37	↑ 13.86
	ツルヨシ群集	0.61	0.53	⇒ -0.08
	イ群落	0.00	3.02	↑ 3.02
	エゾノサヤヌカグサ群落	26.87	13.97	↓ -12.90
	ヌマハリイ群落	2.54	14.00	↑ 11.46
	ノハナショウブ-ススキ群集	6.10	12.65	↑ 6.55
	ショウブ群落	0.01	0.00	⇒ -0.01
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落	21.63	13.58	↓ -8.05
	セリクサヨシ群集	38.85	26.27	↓ -12.58
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	1.86	0.64	↓ -1.22
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集	72.20	61.61	↓ -10.59
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集 (低木林)	16.63	23.16	↑ 6.53
	オオバヤナギ-ドロノキ群集	10.06	10.09	⇒ 0.03
	タチヤナギ群集 (低木林)	15.00	14.08	↓ -0.92
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落	20.54	2.83	↓ -17.71
	クマイザサ群落 (枯死)	0.00	15.25	↑ 15.25
	ズミ群落	0.09	0.07	⇒ -0.02
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.00	0.10	⇒ 0.10
広葉樹林	アカトドマツ-ミズナラ群落	724.10	723.20	↓ -0.90
	ウダイカンバ群落	16.17	18.00	↑ 1.83
	オニグルミ群落	0.61	0.31	↓ -0.30
	オヒョウ-カツラ群落	103.72	102.15	↓ -1.57
	ケヤマハンノキ群落	2.72	3.91	↑ 1.19
	シラカンバ群落	43.83	44.13	⇒ 0.30
	ミズナラ群落	137.62	138.03	⇒ 0.41
	ヤチダモ-ハルニレ群集	31.62	36.19	↑ 4.57
植林地	アカトドマツ植林	63.13	65.27	↑ 2.14
植林地 (外来)	カラマツ植林	8.89	9.47	↑ 0.58
	ハリエンジュ群落	0.07	0.07	⇒ 0.00
果樹園・畑・水田	畑地 (畑地雑草群落)	38.56	32.32	↓ -6.24
グラウンド・人工草地	人工草地	43.45	60.43	↑ 16.98
	公園・グラウンド	11.40	16.55	↑ 5.15
	人工裸地	8.39	8.02	↓ -0.37
人工構造物	コンクリート構造物	13.18	2.53	↓ -10.65
	構造物	3.46	5.38	↑ 1.92
	道路	26.99	19.67	↓ -7.32
自然裸地	自然裸地	54.25	53.94	↓ -0.31
	養鶏	54.25	0.00	↓ -54.25
開放水面	開放水面	296.88	292.07	↓ -4.81

表 4-12 サンプルダムにおける群落面積の変遷

サンプルダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R2	R6	
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0.15	0.00	➡ -0.15
多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサ-オオバコ群落	0.27	0.47	➡ 0.20
	ワラビ群落	0.00	1.03	⬆ 1.03
	オオヨモギ-オオイタドリ群落	54.48	15.04	⬇ -39.44
多年生広葉草本群落 (外来)	オオアワダチソウ群落	15.30	21.07	⬆ 5.77
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落	3.98	4.06	➡ 0.08
	ツルヨシ群落	1.69	0.79	⬇ -0.90
	エゾオオヤマハコベ-クサヨシ群落	22.57	36.99	⬆ 14.42
	ススキ群落	0.00	1.89	⬆ 1.89
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落	22.66	24.06	⬆ 1.40
ヤナギ林 (高・低木)	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落	19.21	22.72	⬆ 3.51
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群落 (低木林)	9.33	30.56	⬆ 21.23
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落	89.14	61.89	⬇ -27.25
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群落	139.10	133.14	⬇ -5.96
	ミズナラ群落	153.05	146.31	⬇ -6.74
	オニグルミ群落	0.00	3.43	⬆ 3.43
	シラカンバ群落	147.28	191.60	⬆ 44.32
	シラカンバ群落 (低木林)	23.78	0.00	⬇ -23.78
	ケヤマハンノキ群落	0.00	3.54	⬆ 3.54
針葉樹林 (在来)	アカトドマツ-ミズナラ群落	227.69	229.41	⬆ 1.72
植林地 (在来)	アカトドマツ植林	256.13	271.82	⬆ 15.69
	植栽樹林群	6.89	5.15	⬇ -1.74
	アカエゾマツ植林	0.00	5.55	⬆ 5.55
植林地 (外来)	カラマツ植林	138.98	160.54	⬆ 21.56
	ドイツトウヒ植林	0.00	0.63	⬆ 0.63
果樹園・畑・水田	畑地 (畑地雑草群落)	12.12	8.05	⬇ -4.07
グラウンド・人工草地	人工裸地	9.56	12.09	⬆ 2.53
	人工草地	173.51	176.39	⬆ 2.88
人工構造物	構造物	3.88	2.85	⬇ -1.03
	コンクリート構造物	3.71	3.72	➡ 0.01
	道路	44.34	23.15	⬇ -21.19
自然裸地	自然裸地	21.84	1.55	⬇ -20.29
開放水面	開放水面	228.99	232.58	⬆ 3.59

表 4-13 鹿ノ子ダムにおける群落面積の変遷

鹿ノ子ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R1	R6	
一年生草本群落 (在来)	ヤナギヌカボ群落	1.41	0.00	↓ -1.41
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0.00	0.68	↑ 0.68
多年生広葉草本群落 (在来)	岩礫植物群落	1.86	1.86	⇒ 0.00
	アキタブキ群落	0.49	1.19	↑ 0.70
	ショウブ群落	0.02	0.00	⇒ -0.02
	ヤマドリゼンマイ群落	0.04	0.00	⇒ -0.04
	ヒメシダ群落	0.20	0.00	⇒ -0.20
単子葉草本群落 (在来)	クサヨシ群落	19.56	21.66	↑ 2.10
	エゾハリイ群落	0.97	1.25	⇒ 0.28
	アブラガヤ群落	0.04	0.23	⇒ 0.19
単子葉草本群落 (外来)	クシロヤガミスゲ群落	0.00	1.98	↑ 1.98
	ヌマハリイ群落	0.27	0.00	↓ -0.27
	エゾノサヤヌカグサ群落	0.60	0.00	↓ -0.60
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群集	0.42	0.42	⇒ 0.00
	エゾノキヌヤナギ群集 (低木林)	6.84	6.91	⇒ 0.07
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落	2.91	0.65	↓ -2.26
	クマイザサ (枯死) 群落	0.00	1.03	↑ 1.03
広葉樹林 (在来)	ミズナラ群落	27.52	22.36	↓ -5.16
	シラカンバ群落	27.12	32.23	↑ 5.11
	ヤチダモ-ケヤマハンノキ群落	29.20	29.19	⇒ -0.01
	ケヤマハンノキ-オノエヤナギ群落	16.95	15.97	↓ -0.98
	シラカンバ-エゾノバッコヤナギ群落	1.20	1.26	⇒ 0.06
	ケヤマハンノキ群落 (低木林)	0.35	0.00	↓ -0.35
針葉樹林 (在来)	アカトドマツ-シナノキ群落	229.57	229.32	↓ -0.25
	アカトドマツ-ハリギリ群落	105.20	105.19	⇒ -0.01
	アカトドマツ-ウダイカンバ群落	155.80	155.8	⇒ 0.00
	アカトドマツ-アカエゾマツ群落	0.57	0.57	⇒ 0.00
植林地 (在来)	アカトドマツ植林	39.18	44.4	↑ 5.22
	アカトドマツ植林 (低木林)	5.28	0.00	↓ -5.28
	アカエゾマツ植林 (低木林)	3.28	3.28	⇒ 0.00
	シラカンバ植林	3.85	3.85	⇒ 0.00
植林地 (外来)	カラマツ植林	41.58	41.58	⇒ 0.00
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	4.10	3.62	↓ -0.48
	人工裸地	0.00	0.78	↑ 0.78
	人工草地	13.87	13.85	⇒ -0.02
人工構造物	構造物	0.20	0.17	⇒ -0.03
	コンクリート構造物	1.79	1.82	⇒ 0.03
	道路	13.94	13.88	⇒ -0.06
自然裸地	自然裸地	10.86	9.24	↓ -1.62
開放水面	開放水面	106.61	107.35	↑ 0.74

表 4-14 十勝ダムにおける群落面積の変遷

十勝ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R1	R6	
一年生草本群落 (在来)	ヤナギタデ群落	11.89	3.89	↓ -8.00
多年生広葉草本群落 (在来)	スギナ群落	5.33	4.66	↓ -0.67
	ダイモンジソウ群落	0.10	0.13	⇒ 0.03
	メヒシバーエノコログサ群落	0.67	25.76	↑ 25.09
	オオヨモギ-オオイタドリ群落	4.54	8.89	↑ 4.35
	カワラヨモギ-カワラハハコ群落	0.00	0.00	⇒ 0.00
多年生広葉草本群落 (外来)	オオアワダチソウ群落	7.25	7.10	⇒ -0.15
	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0.28	3.69	↑ 3.41
	オオハンゴンソウ群落	0.01	0.00	⇒ -0.01
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落	1.67	2.80	↑ 1.13
	セリ-クサヨシ群集	39.31	43.91	↑ 4.60
	アブラガヤ群落	1.32	1.51	⇒ 0.19
単子葉草本群落 (外来)	クシロヤガミスゲ群落	0.00	1.31	↑ 1.31
	カモガヤ-オオアワガエリ群落	18.48	9.14	↓ -9.34
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群集	22.38	34.36	↑ 11.98
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集	37.56	45.63	↑ 8.07
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集 (低木林)	3.29	0.00	↓ -3.29
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落	34.76	18.36	↓ -16.40
	クズ群落	0.05	0.06	⇒ 0.01
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落(旧:クロバナエンジュ群落)	0.17	2.79	↑ 2.62
広葉樹林 (在来)	オヒョウ-カツラ群集	24.75	25.01	⇒ 0.26
	ヤチダモ-ハルニレ群集	44.59	43.48	↓ -1.11
	ミズナラ群落	9.24	10.72	↑ 1.48
	ケヤマハンノキ群落	51.10	56.28	↑ 5.18
	ウダイカンバ群落	23.14	33.16	↑ 10.02
	アカトドマツ-ミズナラ群落	959.40	955.50	↓ -3.90
針葉樹林 (在来)	エゾマツ-トドマツ群集	24.72	24.93	⇒ 0.21
植林地 (在来)	アカトドマツ植林	4.67	4.73	⇒ 0.06
	エゾマツ・アカエゾマツ植林	20.44	19.33	↓ -1.11
	シラカンバ植林	1.57	1.57	⇒ 0.00
植林地 (外来)	カラマツ植林	81.00	80.40	↓ -0.60
人工草地	人工草地	8.50	8.07	↓ -0.43
グラウンドなど	公園・グラウンド	4.61	5.07	⇒ 0.46
	人工裸地	1.12	0.79	↓ -0.33
人工構造物	構造物	2.89	2.74	⇒ -0.15
	コンクリート構造物	17.26	20.89	↑ 3.63
	道路	14.08	14.41	⇒ 0.33
自然裸地	自然裸地	59.29	43.30	↓ -15.99
開放水面	開放水面	188.93	165.96	↓ -22.97

表 4-15 札内川ダムにおける群落面積の変遷

札内川ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R2	R6	
一年生草本群落 (在来)	ヤナギタデ群落	0.80	1.00	⇒ 0.20
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落	19.64	12.10	↓ -7.54
	ダイモンジソウ群落	0.73	0.40	↓ -0.33
多年生広葉草本群落 (外来)	オオハンゴンソウ群落	0.03	0.03	⇒ 0.00
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落	0.30	0.30	⇒ 0.00
	セリ-クサヨシ群集	3.67	3.25	↓ -0.42
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落	3.62	3.43	⇒ -0.19
ヤナギ林 (高・低木)	オオバヤナギ-ドロノキ群集	22.02	22.18	⇒ 0.16
	オオバヤナギ-ドロノキ群集 (低木林)	4.12	3.42	↓ -0.70
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集	35.72	39.74	↑ 4.02
	エゾノキヌヤナギ-オノエヤナギ群集 (低木林)	4.77	1.11	↓ -3.66
	ケショウヤナギ群落	22.30	22.60	⇒ 0.30
その他の低木林 (在来)	クマイザサ群落	2.86	2.03	↓ -0.83
	ミヤマハンノキ群落	1.03	0.91	⇒ -0.12
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.25	0.23	⇒ -0.02
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群集	64.88	64.27	↓ -0.61
	ケヤマハンノキ群落	20.80	25.90	↑ 5.10
	ケヤマハンノキ群落 (低木林)	1.34	0.27	↓ -1.07
	アカトドマツ-ミズナラ群落	908.72	855.90	↓ -52.82
	エゾイタヤ-シナノキ群落	76.05	117.30	↑ 41.25
	ダケカンバ群落	4.07	4.79	↑ 0.72
植林地 (在来)	アカトドマツ植林	3.13	2.64	↓ -0.49
	アカエゾマツ植林	25.08	28.88	↑ 3.80
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	14.91	15.09	⇒ 0.18
	人工裸地	13.84	18.00	↑ 4.16
	人工草地	0.52	0.37	⇒ -0.15
人工構造物	構造物	0.42	0.38	⇒ -0.04
	コンクリート構造物	2.64	2.68	⇒ 0.04
自然裸地	自然裸地	52.02	56.11	↑ 4.09
開放水面	開放水面	126.24	130.50	↑ 4.26

表 4-16 森吉山ダムにおける群落面積の変遷

森吉山ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		H31	R6	
沈水植物群落 (在来)	イトモ群落	0.00	0.10	→ 0.10
浮葉植物群落 (在来)	フトヒルムシロ群落	0.10	0.00	→ -0.10
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落	0.20	0.20	→ 0.00
	ヤナギタデ群落	0.10	0.00	→ -0.10
	メヒシバ-エノコログサ群落	5.30	3.60	↓ -1.70
	カナムグラ群落	1.00	0.50	↓ -0.50
	アゼトウガラシ群集	0.30	0.00	↓ -0.30
	ミヤマニガウリ群落	0.30	0.30	→ 0.00
一年生草本群落 (外来)	メマツヨイグサ-マルバヤハズソウ群落	0.90	0.10	↓ -0.80
	オオイヌタデ-オオクサキ群落	1.10	0.90	↓ -0.20
多年生広葉草本群落 (在来)	オオヨモギ-オオイタドリ群落	4.50	2.20	↓ -2.30
	ヨモギ-メドハギ群落	18.60	8.00	↓ -10.60
	クサソテツ群落	0.00	0.10	→ 0.10
	カゼクサ-オオバコ群集	0.70	0.50	→ -0.20
	ワラビ群落	0.00	2.10	↑ 2.10
多年生広葉草本群落 (外来)	オオハンゴンソウ群落	1.10	1.20	→ 0.10
	イワヨモギ群落	0.40	4.30	↑ 3.90
単子葉草本群落 (在来)	ヨシ群落	2.30	1.90	↓ -0.40
	ツルヨシ群集	6.00	7.00	↑ 1.00
	オギ群落	0.30	0.40	→ 0.10
	カンガレイ群落	0.00	0.10	→ 0.10
	ヒメガマ群落	0.00	0.10	→ 0.10
	ススキ群落	87.90	76.80	↓ -11.10
	チガヤ群落	0.00	1.20	↑ 1.20
	タヌキラン群落	0.20	0.20	→ 0.00
	アブラガヤ群落	0.00	0.10	→ 0.10
単子葉草本群落 (外来)	カモガヤ-オオアワガエリ群落	0.10	0.00	→ -0.10
	オニウシノケグサ群落	0.20	0.10	→ -0.10
ヤナギ林 (高・低木)	イヌコリヤナギ群集	0.10	0.10	→ 0.00
	タチヤナギ群集 (低木林)	0.00	0.50	↑ 0.50
	シロヤナギ群集	12.80	16.10	↑ 3.30
	シロヤナギ群集 (低木林)	0.80	4.60	↑ 3.80
	オノエヤナギ群落	42.40	55.20	↑ 12.80
	オノエヤナギ群落 (低木林)	15.60	7.60	↓ -8.00
	バッコヤナギ群落	0.60	0.60	→ 0.00
その他の低木林 (在来)	クズ群落	1.40	0.90	↓ -0.50
	チシマザサ群落	0.10	0.10	→ 0.00
	クマイチゴ群落	0.00	0.20	→ 0.20
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.00	2.30	↑ 2.30
広葉樹林 (在来)	ヤチダモ-ハルニレ群集	2.80	3.10	→ 0.30
	サワグルミ群落	13.30	13.30	→ 0.00
	ケヤキ群落	94.70	97.40	↑ 2.70
	ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林)	0.00	1.80	↑ 1.80
	オニグルミ群落	124.40	126.30	↑ 1.90
	ケヤマハンノキ群落	3.70	4.00	→ 0.30
	ブナ-ミズナラ群落	54.70	54.80	→ 0.10
	タラノキ群落 (伐跡群落)	19.30	18.10	↓ -1.20
	スギ-ブナ群落	18.20	18.20	→ 0.00
	コナラ-ミズナラ群落	492.90	498.60	↑ 5.70
	アカシデ-ケヤキ群落	7.30	7.60	→ 0.30
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	7.20	7.10	→ -0.10
	アカマツ群落 (低木林)	0.30	0.90	↑ 0.60
植林地 (在来)	スギ・ヒノキ植林	252.00	249.30	↓ -2.70
	植栽樹林群	0.80	1.40	↑ 0.60
植林地 (外来)	カラマツ植林	1.90	1.70	→ -0.20
	ハリエンジュ群落	7.40	10.70	↑ 3.30
	ハリエンジュ群落 (低木林)	0.50	1.20	↑ 0.70
果樹園・畑・水田	果樹園	0.40	0.40	→ 0.00
	畑地 (畑地雑草群落)	3.90	5.00	↑ 1.10
	水田	20.90	19.90	↓ -1.00
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	2.70	2.70	→ 0.00
	人工裸地	3.40	2.60	↓ -0.80
人工構造物	構造物	5.70	6.00	→ 0.30
	コンクリート構造物	19.10	18.40	↓ -0.70
	道路	36.20	34.70	↓ -1.50
自然裸地	自然裸地	2.90	4.60	↑ 1.70
開放水面	開放水面	188.40	186.40	↓ -2.00

表 4-17 宇奈月ダムにおける群落面積の変遷

宇奈月ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		H31	R6	
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落	0.70	0.38	↓ -0.32
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0.00	0.15	→ 0.15
多年生広葉草本群落 (在来)	カラムシ群落	18.90	9.69	↓ -9.21
	オオバギボウシ群落	8.20	0.57	↓ -7.63
	オオヨモギ-オオイタドリ群落	0.30	0.00	↓ -0.30
	ヨモギ-メドハギ群落	0.80	0.00	↓ -0.80
単子葉草本群落 (在来)	ホッスガヤ群落	0.00	0.04	→ 0.04
	ススキ群落	25.40	23.31	↓ -2.09
ヤナギ林 (高・低木)	イヌコリヤナギ群集	0.20	0.10	→ -0.10
	コゴメヤナギ群集	1.20	2.50	↑ 1.30
その他の低木林 (在来)	ミヤマカワラハンノキ群落	1.30	1.90	↑ 0.60
	ヒメヤシヤブシ群落	6.90	15.90	↑ 9.00
	タニウツギ群落	0.60	4.70	↑ 4.10
	ケハギ群落	0.10	0.00	→ -0.10
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.20	0.40	→ 0.20
広葉樹林 (在来)	サワグルミ群落	19.40	14.50	↓ -4.90
	ケヤキ群落	8.30	19.10	↑ 10.80
	ミズナラ群落	82.80	319.40	↑ 236.60
	ミズナラ群落 (低木林)	1.20	3.00	↑ 1.80
	コナラ群落	23.60	6.40	↓ -17.20
	コナラ群落 (低木林)	2.10	0.90	↓ -1.20
	ヌルデ-アカメガシワ群落	0.30	2.30	↑ 2.00
	ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林)	2.20	2.70	↑ 0.50
	オニグルミ群落	1.50	2.20	↑ 0.70
	フサザクラ群落 (低木林)	2.00	3.10	↑ 1.10
	ケヤマハンノキ群落	6.50	6.90	→ 0.40
	ブナ-ミズナラ群落	86.10	64.00	↓ -22.10
	クマシデ群落	231.50	19.30	↓ -212.20
	トチノキ群落	16.30	19.70	↑ 3.40
フサザクラ群落	1.90	4.50	↑ 2.60	
針葉樹林 (在来)	ツガ群落	9.40	16.90	↑ 7.50
植林地 (在来)	スギ・ヒノキ植林	43.70	49.50	↑ 5.80
	植栽樹林群	0.30	0.20	→ -0.10
植林地 (外来)	ハリエンジュ群落	0.60	0.70	→ 0.10
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	0.40	0.20	→ -0.20
人工構造物	構造物	1.30	2.00	↑ 0.70
	コンクリート構造物	2.90	2.70	→ -0.20
	道路	6.80	3.70	↓ -3.10
自然裸地	自然裸地	14.90	23.70	↑ 8.80
開放水面	開放水面	64.90	55.00	↓ -9.90

表 4-18 矢作ダムにおける群落面積の変遷

矢作ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		H30	R6	
一年生草本群落 (在来)	ホシクサ-マツバイ群落	0.00	0.01	→ 0.01
	ヤナギタデ群落	0.04	0.04	→ 0.00
	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	2.39	0.71	↓ -1.68
	メヒシバーエノコログサ群落	2.10	3.95	↑ 1.85
	ヒメクグ群落	0.77	0.26	↓ -0.51
	ウリカワーコナギ群集	0.00	0.06	→ 0.06
	アゼトウガラシ群集	0.03	0.75	↑ 0.72
	ダンドボロギク群落	0.00	1.90	↑ 1.90
一年生草本群落 (外来)	オオオナモミ群落	0.80	0.53	↓ -0.27
	コセンダングサ群落	0.11	0.00	→ -0.11
	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落	0.18	0.02	→ -0.16
	メリケンムグラ群落	2.81	5.04	↑ 2.23
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギ-メドハギ群落	0.21	0.16	→ -0.05
	イタドリ群落	0.39	0.00	↓ -0.39
	カラムシ群落	0.09	0.05	→ -0.04
	カゼクサーオオバコ群集	0.00	0.32	→ 0.32
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落	2.81	1.85	↓ -0.96
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集	3.20	4.21	↑ 1.01
	オギ群落	0.28	0.25	→ -0.03
	ヒメガマ群落	0.18	0.00	→ -0.18
	シバ群落	0.00	0.17	→ 0.17
	ススキ群落	10.11	14.91	↑ 4.80
	チガヤ群落	3.25	2.88	↓ -0.37
	ヤマアゼスゲ群落	0.02	0.01	→ -0.01
	ヌマカゼクサ群落	0.40	0.33	→ -0.07
	ショウブ群落	0.00	0.01	→ 0.01
	単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落	0.19	1.19
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	2.22	1.13	↓ -1.09
	タチヤナギ群集	2.12	2.47	→ 0.35
	タチヤナギ群集 (低木林)	0.76	0.46	↓ -0.30
その他の低木林 (在来)	サツキ群落	0.06	0.12	→ 0.06
	メダケ群集	0.32	0.22	→ -0.10
その他の低木林	ネザサ群落	1.87	1.47	↓ -0.40
	オカメザサ群落	0.20	0.17	→ -0.03
	クズ群落	1.08	0.28	↓ -0.80
	フジ群落	0.13	0.08	→ -0.05
	クサギ群落	1.31	0.75	↓ -0.56
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	1.40	1.65	→ 0.25
	トウコマツナギ群落	0.26	0.05	↓ -0.21
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落	52.04	43.89	↓ -8.15
	コナラ群落	151.85	156.97	↑ 5.12
	アベマキ群落	37.54	43.11	↑ 5.57
	カワラハンノキ群落 (低木林)	0.29	0.36	→ 0.07
	ヌルデ-アカメガシワ群落	17.55	19.09	↑ 1.54
	ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林)	4.09	7.71	↑ 3.62
	ヤマグワ群落	4.68	3.47	↓ -1.21
	オニグルミ群落	10.30	12.06	↑ 1.76
	ムクノキ-エノキ群集	5.77	6.77	↑ 1.00
	フサザクラ群落	2.83	3.37	↑ 0.54
	アカシデ群落	6.42	5.54	↓ -0.88
	イイギリ群落	0.41	0.47	→ 0.06
	ミズキ群落	4.30	5.31	↑ 1.01
	カラスザンショウ群落	5.40	5.49	→ 0.09
	アラカシ群落	7.76	8.10	→ 0.34
	シラカシ群落	12.92	12.79	→ -0.13
	針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	43.51	47.65
ヒメコマツ群落		0.16	0.19	→ 0.03
モミ群落		0.57	0.64	→ 0.07
植林地 (在来)	マダケ植林	15.07	15.85	↑ 0.78
	ヤダケ植林		0.14	→ 0.14
	スギ・ヒノキ植林	716.73	702.65	↓ -14.08
植林地 (外来)	モウソウチク植林	7.36	7.13	↓ -0.23
	シンジュ群落	0.16	1.00	↑ 0.84
	ハリエンジュ群落	0.07	0.11	→ 0.04
	植栽樹林群	19.75	19.27	↓ -0.48
果樹園・畑・水田	果樹園	6.04	8.57	↑ 2.53
	樹園地	6.07	4.06	↓ -2.01
	茶畑	1.24	0.13	↓ -1.11
	畑地 (畑地雑草群落)	16.04	13.98	↓ -2.06
	水田	11.88	11.24	↓ -0.64
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	4.95	4.31	↓ -0.64
	人工裸地	5.66	8.68	↑ 3.02
人工構造物	構造物	21.75	23.71	↑ 1.96
	コンクリート構造物	9.99	9.88	→ -0.11
	道路	38.73	34.98	↓ -3.75
自然裸地	自然裸地	29.61	19.89	↓ -9.72
開放水面	開放水面	226.61	231.08	↑ 4.47

表 4-19 蓮ダムにおける群落面積の変遷

蓮ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R1	R6	
浮葉植物群落 (在来)	フトヒルムシロ群落	0.00	0.04	→ 0.04
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落	0.02	0.01	→ -0.01
	ヤナギタデ群落	0.20	1.06	↑ 0.86
	オヒシバーアキメヒシバ群集	0.24	0.07	→ -0.17
	アゼトウガラシ群集	0.00	0.57	↑ 0.57
	オオイヌタデーオオクサキビ群落	1.70	0.20	↓ -1.50
一年生草本群落 (外来)	ベニバナボロギク群落	1.21	0.61	↓ -0.60
	レモンエゴマ群落	0.00	0.02	→ 0.02
	ダンドボロギク群落	0.00	0.22	→ 0.22
	セイヨウフウチョウソウ群落	0.00	0.02	→ 0.02
	イタドリ群落	0.00	0.31	→ 0.31
多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサーオオバコ群集	0.13	0.14	→ 0.01
	アワモリショウマ群落	0.01	0.03	→ 0.02
	イワタバコ群落	0.06	0.06	→ 0.00
	ワラビ群落	11.14	3.21	↓ -7.93
	ツルヨシ群集	1.41	1.66	→ 0.25
単子葉草本群落 (在来)	ススキ群落	3.22	5.82	↑ 2.60
単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落	5.26	4.79	↓ -0.47
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	0.03	0.02	→ -0.01
その他の低木林 (在来)	サツキ群落	0.31	0.19	→ -0.12
	ユキヤナギ群落	0.02	0.01	→ -0.01
	メダケ群集	1.50	0.94	↓ -0.56
	ネザサ群落	0.18	0.10	→ -0.08
	クズ群落	0.19	0.72	↑ 0.53
	ウツギ群落	16.91	14.65	↓ -2.26
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.33	0.03	↓ -0.30
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落	75.42	47.35	↓ -28.07
	コナラ群落	32.07	78.06	↑ 45.99
	カワラハンノキ群落 (低木林)	2.86	2.96	→ 0.10
	ヌルデアカメガシワ群落	25.96	29.44	↑ 3.48
	フサザクラ群落	0.94	0.34	↓ -0.60
	アラカシ群落	26.07	20.32	↓ -5.75
	ツブラジイ群落	4.72	1.60	↓ -3.12
	アカガシ群落	0.11	0.00	→ -0.11
	アカマツ群落	15.29	14.41	↓ -0.88
針葉樹林 (在来)	ツガ群落	0.03	0.06	→ 0.03
	アカクロマツ群落	0.12	0.11	→ -0.01
	シキミーモミ群集	3.02	3.59	↑ 0.57
	マダケ植林	0.73	0.40	↓ -0.33
植林地 (在来)	ハチク植林	0.20	0.33	→ 0.13
	スギ・ヒノキ植林	532.48	518.73	↓ -13.75
	スギ・ヒノキ植林 (新植地)	3.04	10.38	↑ 7.34
	スギ・ヒノキ植林 (伐採地)	21.58	28.79	↑ 7.21
	植栽樹林群	5.31	4.45	↓ -0.86
	モウソウチク植林	0.00	0.12	→ 0.12
植林地 (外来)	モウソウチク植林	0.00	0.12	→ 0.12
果樹園	果樹園	0.15	0.07	→ -0.08
人工草地	人工草地	1.47	0.00	↓ -1.47
グラウンドなど	公園・グラウンド	4.73	3.59	↓ -1.14
	人工裸地	7.27	1.23	↓ -6.04
人工構造物	構造物	1.59	11.22	↑ 9.63
	コンクリート構造物	20.96	6.88	↓ -14.08
	道路	13.39	13.34	→ -0.05
自然裸地	自然裸地	17.81	14.64	↓ -3.17
	露岩・崩壊地	7.01	1.10	↓ -5.91
開放水面	開放水面	87.35	106.67	↑ 19.32

表 4-20 苫田ダムにおける群落面積の変遷

苫田ダム					
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減	
		R1	R6		
沈水植物群落 (外来)	コカナダモ群落	0.00	0.06	→ 0.06	
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落	0.14	0.36	→ 0.22	
	ヤナギタデ群落	0.01	0.04	→ 0.04	
	メヒシバーエノコログサ群落	1.37	3.51	↑ 2.14	
	オヒシバーアキメヒシバ群落	0.51	0.31	↓ -0.20	
	カナムグラ群落	0.86	0.30	↓ -0.56	
	アゼトウガラシ群落	0.00	0.05	→ 0.05	
	一年生草本群落 (外来)	オオオナモミ群落	0.09	0.67	↑ 0.58
ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落		0.03	0.38	→ 0.35	
オオイヌタデーオオクサキビ群落		1.09	0.46	↓ -0.63	
オオブタクサ群落		0.20	0.22	→ 0.02	
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギーメドハギ群落	1.04	2.78	↑ 1.75	
	カゼクサーオオバコ群落	0.00	0.54	↑ 0.54	
	ワラビ群落	0.00	0.02	→ 0.02	
	サクラタデ群落	0.00	0.07	→ 0.06	
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落	11.70	17.21	↑ 5.51	
	キショウブ群落	0.00	0.00	→ 0.00	
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群落	12.21	12.80	↑ 0.59	
	オギ群落	0.08	0.05	→ -0.03	
	ヒメガマ群落	0.09	0.10	→ 0.01	
	セリークサヨシ群落	0.04	0.04	→ 0.00	
	イ群落	0.00	0.32	→ 0.32	
	シバ群落	0.04	0.39	→ 0.36	
	ススキ群落	11.95	7.60	↓ -4.34	
	チガヤ群落	0.29	0.82	↑ 0.53	
	ホソイ群落	0.05	0.11	→ 0.06	
	アブラガヤ群落	0.00	0.06	→ 0.06	
	ガマ群落	0.01	0.00	→ -0.01	
	アシカキ群落	0.07	0.00	→ -0.07	
	ヤマアゼスゲ群落	0.07	0.00	→ -0.07	
	コヌカグサ群落	0.30	0.00	↓ -0.30	
	単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落	4.20	5.63	↑ 1.43
	ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群落	6.08	2.85	↓ -3.22
タチヤナギ群落 (低木林)		6.74	5.71	↓ -1.03	
ジャヤナギーアカメヤナギ群落		0.00	0.38	→ 0.38	
ヤマナラシ群落		0.06	0.06	→ 0.00	
その他の低木林 (在来)	メダケ群落	1.01	0.83	→ -0.19	
	ネザサ群落	11.10	13.05	↑ 1.95	
	クズ群落	12.56	6.31	↓ -6.25	
その他の低木林 (外来)	イタチハギ群落	0.39	0.99	↑ 0.59	
	トウコマツナギ群落	1.39	1.03	↓ -0.36	
広葉樹林 (在来)	ケヤキ群落	5.45	4.41	↓ -1.04	
	コナラ群落	117.46	119.30	↑ 1.85	
	コナラ群落 (低木林)	20.59	15.89	↓ -4.70	
	カワラハンノキ群落	0.27	0.12	→ -0.15	
	ヌルデーアカメガシワ群落	16.09	37.77	↑ 21.68	
	ヌルデーアカメガシワ群落 (低木林)	80.44	67.36	↓ -13.08	
	オニグルミ群落	0.16	1.25	↑ 1.10	
	ムクノキーエノキ群落	0.00	0.25	→ 0.25	
	アラカシ群落	2.64	2.93	→ 0.29	
シラカシ群落	1.55	1.95	→ 0.39		
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	30.38	29.66	↓ -0.72	
	アカマツ群落 (低木林)	2.16	1.28	↓ -0.88	
植林地 (在来)	マダケ植林	20.71	17.09	↓ -3.62	
	ハチク植林	0.05	0.04	→ -0.01	
	ヤダケ植林	0.30	0.28	→ -0.02	
	スギ・ヒノキ植林	265.11	266.75	↑ 1.64	
	植栽樹林群	11.89	11.56	↓ -0.33	
植林地 (外来)	ハリエンジュ群落	0.10	0.15	→ 0.04	
	モウソウチク植林	16.61	17.01	→ 0.40	
	マグワ群落	0.09	0.24	→ 0.15	
果樹園・畑・水田	果樹園	0.51	0.61	→ 0.11	
	畑地 (畑地雑草群落)	0.94	0.92	→ -0.01	
	水田	0.83	0.28	↓ -0.55	
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	13.06	10.93	↓ -2.13	
	人工裸地	9.46	6.95	↓ -2.51	
人工構造物	構造物	8.66	9.17	↑ 0.51	
	コンクリート構造物	12.19	10.28	↓ -1.91	
	道路	30.02	29.64	↓ -0.38	
自然裸地	自然裸地	2.34	5.08	↑ 2.75	
開放水面	開放水面	219.84	220.36	↑ 0.52	

表 4-21 弥栄ダムにおける群落面積の変遷

弥栄ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		R1	R6	
沈水植物群落 (外来)	オオフサモ群落	0.00	0.06	⇒ 0.06
一年生草本群落 (在来)	メヒシバ-エノコログサ群落	0.27	1.38	↑ 1.11
	ミゾソバ群落	0.00	0.40	⇒ 0.40
多年生広葉草本群落 (在来)	カゼクサ-オオバコ群集	0.00	0.03	⇒ 0.03
	ワラビ群落	0.51	0.85	⇒ 0.34
	カラムシ群落	0.60	0.33	↓ -0.27
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落	0.00	0.19	⇒ 0.19
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集	3.83	3.17	↓ -0.66
	ウキヤガラ-マコモ群集	0.07	0.02	⇒ -0.05
	ススキ群落	3.10	9.91	↑ 6.81
	チガヤ群落	0.59	0.59	⇒ 0.00
単子葉草本群落 (外来)	メリケンカルカヤ群落	0.06	0.43	⇒ 0.37
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	0.23	0.22	⇒ -0.01
その他の低木林 (在来)	ネザサ群落	0.94	3.93	↑ 2.99
	クズ群落	6.57	5.99	↓ -0.58
	ウツギ群落	1.02	0.95	⇒ -0.07
	メダケ群集	1.17	0.89	↓ -0.28
広葉樹林 (在来)	コナラ群落	156.47	175.57	↑ 19.10
	ヌルデ-アカメガシワ群落	30.19	51.27	↑ 21.08
	ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林)	3.57	19.20	↑ 15.63
	ムクノキ-エノキ群集	0.05	0.48	⇒ 0.43
	アラカシ群落	15.44	48.46	↑ 33.02
	ツブラジイ群落	1.97	3.99	↑ 2.02
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	173.40	250.41	↑ 77.01
植林地 (在来)	マダケ植林	4.05	3.75	↓ -0.30
	ヤダケ植林	0.19	0.19	⇒ 0.00
	スギ・ヒノキ植林	169.19	310.51	↑ 141.32
	植栽樹林群	2.37	2.13	↓ -0.24
植林地 (外来)	モウソウチク植林	32.54	36.85	↑ 4.31
果樹園・畑・水田	果樹園	47.68	46.68	↓ -1.00
	畑地 (畑地雑草群落)	8.02	11.28	↑ 3.26
	水田	35.41	48.88	↑ 13.47
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	62.35	61.15	↓ -1.20
	人工裸地	1.08	3.27	↑ 2.19
人工構造物	構造物	45.60	49.83	↑ 4.23
	コンクリート構造物	5.56	5.19	↓ -0.37
	道路	29.79	32.64	↑ 2.85
自然裸地	自然裸地	2.50	4.71	↑ 2.21
開放水面	開放水面	167.86	168.64	↑ 0.78

表 4-22 野村ダムにおける群落面積の変遷

野村ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		H31	R6	
浮葉植物群落 (外来)	外来アゾラ類群落	0.00	4.11	↑ 4.11
一年生草本群落 (在来)	メヒシバ-エノコログサ群落	1.48	1.83	→ 0.35
	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0.08	0.09	→ 0.01
	オオオナモミ群落	0.95	0.44	↓ -0.51
	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落	1.05	0.14	↓ -0.91
	メリケンムグラ群落	0.60	0.32	↓ -0.28
多年生広葉草本群落 (在来)	カラムシ群落	0.06	0.59	↑ 0.53
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落	0.59	3.06	↑ 2.47
単子葉草本群落 (在来)	セイタカヨシ群落	0.00	0.03	→ 0.03
	ツルヨシ群集	3.37	5.02	↑ 1.65
	ススキ群落	2.47	9.11	↑ 6.64
	ガマ群落	0.01	0.00	→ -0.01
単子葉草本群落 (外来)	タチスズメノヒエ群落	0.00	0.43	→ 0.43
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	0.01	0.00	→ -0.01
その他の低木林 (在来)	メダケ群集	0.81	3.19	↑ 2.38
	ネザサ群落	0.00	3.11	↑ 3.11
	クス群落	16.60	1.58	↓ -15.02
広葉樹林 (在来)	コナラ群落	113.75	146.99	↑ 33.24
	ヌルデ-アカメガシワ群落	0.00	3.89	↑ 3.89
	ヌルデ-アカメガシワ群落 (低木林)	29.03	29.57	↑ 0.54
	アラカシ群落	3.29	8.59	↑ 5.30
	ツブラジイ群落	42.71	70.58	↑ 27.87
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	101.14	39.86	↓ -61.28
植林地 (在来)	マダケ植林	1.21	2.36	↑ 1.15
	スギ・ヒノキ植林	427.09	417.67	↓ -9.42
	植栽樹林群	2.03	5.88	↑ 3.85
植林地 (外来)	モウソウチク植林	14.60	14.70	→ 0.10
果樹園・畑・水田	果樹園	18.39	19.36	↑ 0.97
	樹園地	0.86	2.53	↑ 1.67
	畑地 (畑地雑草群落)	17.66	12.60	↓ -5.06
	水田	25.37	21.58	↓ -3.79
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	12.43	14.79	↑ 2.36
	人工裸地	4.58	9.59	↑ 5.01
人工構造物	構造物	37.58	38.94	↑ 1.36
	コンクリート構造物	5.57	5.61	→ 0.04
	道路	28.35	28.51	→ 0.16
自然裸地	自然裸地	2.17	1.60	↓ -0.57
	崩壊跡地	7.56	0.36	↓ -7.20
開放水面	開放水面	83.10	77.97	↓ -5.13

表 4-23 鹿野川ダムにおける群落面積の変遷

鹿野川ダム				
基本分類	群落名等	面積 (ha)		面積増減
		H31	R6	
浮葉植物群落 (在来)	ヒシ群落	0.02	0.24	→ 0.22
一年生草本群落 (在来)	ミゾソバ群落	0.79	1.60	↑ 0.81
	ヤナギタデ群落	0.62	0.02	↓ -0.60
	メヒシバーエノコログサ群落	0.78	1.61	↑ 0.83
	カナムグラ群落	0.73	3.70	↑ 2.97
一年生草本群落 (外来)	オオイヌタデーオオクサキビ群落	0.00	0.80	↑ 0.80
	オオオナモミ群落	0.00	0.65	↑ 0.65
	コセンダングサ群落	0.00	0.17	→ 0.17
	オオブタクサ群落	0.00	0.21	→ 0.21
	メリケムグラ群落	0.00	0.13	→ 0.13
	アメリカタカサブロウ群落	0.57	0.00	↓ -0.57
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落	0.93	0.00	↓ -0.93
多年生広葉草本群落 (在来)	ヨモギーメドハギ群落	1.07	2.02	↑ 0.95
	カラムシ群落	0.21	1.09	↑ 0.88
	イワヒバ群落	0.01	0.00	→ -0.01
	ワラビ群落	0.12	1.13	↑ 1.01
多年生広葉草本群落 (外来)	セイタカアワダチソウ群落	3.49	11.46	↑ 7.97
単子葉草本群落 (在来)	ツルヨシ群集	2.67	6.82	↑ 4.15
	ススキ群落	17.73	14.48	↓ -3.25
	タカサゴユリ群落	0.03	0.00	→ -0.03
ヤナギ林 (高・低木)	ネコヤナギ群集	0.01	0.17	→ 0.16
	タチヤナギ群集	0.23	0.00	↓ -0.23
	ジャヤナギーアカメヤナギ群集 (低木林)	0.45	0.65	→ 0.20
	オオタチヤナギ群落	2.29	1.66	↓ -0.63
その他の低木林 (在来)	メダケ群集	6.40	7.81	↑ 1.41
	クズ群落	9.41	7.42	↓ -1.99
	マルバウツギ群落	0.02	0.00	→ -0.02
その他の低木林 (外来)	トウコマツナギ群落	0.59	0.68	→ 0.09
広葉樹林 (在来)	クヌギ群落	216.08	0.00	↓ -216.08
	クヌギ群落 (低木林)	3.74	0.00	↓ -3.74
	アキニレ群落	4.77	4.60	→ -0.17
	ヌルデーアカメガシワ群落	44.06	34.98	↓ -9.08
	ヌルデーアカメガシワ群落 (低木林)	36.50	36.16	↓ -0.34
	ヤマグワ群落	1.71	2.82	↑ 1.11
	ムクノキーエノキ群集	17.48	23.25	↑ 5.77
	ナラガシワ群落	1.02	1.30	→ 0.28
	アラカシ群落	260.63	245.97	↓ -14.66
	ツブラジイ群落	66.99	73.26	↑ 6.27
針葉樹林 (在来)	アカマツ群落	9.56	3.34	↓ -6.22
植林地 (在来)	マダケ植林	12.10	21.70	↑ 9.60
	スギ・ヒノキ植林	615.66	626.14	↑ 10.48
	植栽樹林群	13.21	257.50	↑ 244.29
植林地 (外来)	モウソウチク植林	47.60	53.63	↑ 6.03
	シダレヤナギ植林	0.15	0.15	→ 0.00
	センダン群落	0.57	1.58	↑ 1.01
	シンジュ群落	0.12	0.09	→ -0.03
果樹園・畑・水田	果樹園	92.14	97.36	↑ 5.22
	畑地 (畑地雑草群落)	78.38	77.78	↓ -0.60
	水田	71.01	57.49	↓ -13.52
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド	7.19	6.46	↓ -0.73
	人工裸地	4.84	5.38	↑ 0.54
人工構造物	構造物	63.10	72.46	↑ 9.36
	コンクリート構造物	5.79	3.25	↓ -2.54
	道路	72.15	80.30	↑ 8.15
自然裸地	自然裸地	6.78	8.05	↑ 1.27
開放水面	開放水面	172.60	187.05	↑ 14.45

1 (3) 新しい環境の植物相

2 ダムでは建設に伴い、地形の改変が行われます。また、ダム堤体や周辺道路等によって改変・
3 消失した環境の代償として、生物の生息・生育環境の創出等も行っています。4 巡目の調査から
4 はダムによって作られた新しい環境である地形改変箇所（ダム建設に伴う一般的な地形改変箇
5 所としては、貯水池、ダム堤体のほか、原石採取跡地、建設発生土受入地、大規模な掘削法面
6 等があります）や環境創出箇所（生物の生息・生育環境を創出する目的で整備されたビオトー
7 プ等）に調査地区を設定し、環境への影響、または効果を検証するため、生物の生育・生息状
8 況を確認することとしています。ここでは、その調査結果を整理しました。なお、4 巡目調査が
9 行われていない箇所については、5 巡目調査の結果のみを整理しました。

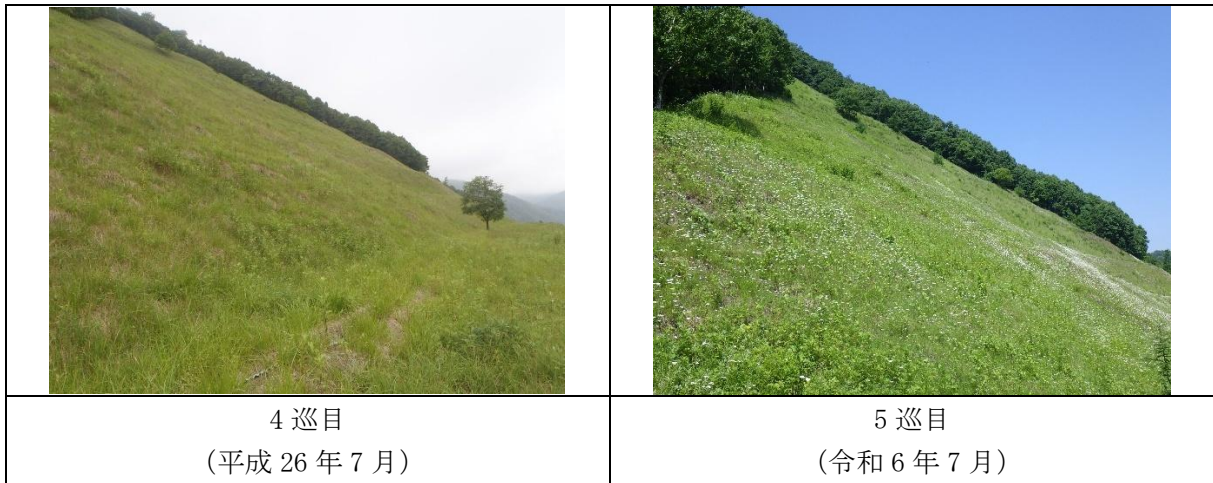
10
11
12 1) 改変箇所における確認状況

13 **・改変箇所は 5 巡目調査時の結果のみ整理**

14 令和 5 年度において、改変箇所の調査が行われたのは十勝ダム、札内川ダム、長井ダム、
15 三国川ダム、ななせダムの 5 ダムでした。ななせダムについては、H31 年度竣工のため、5 巡
16 目調査の結果のみを整理しました。

17 5 巡目調査においては、十勝ダムのロック原石山において 41 科 93 種、外来種 17 種（外
18 来種/合計種数 18%）、札内川ダムの仮置き場跡において 77 科 232 種、外来種 16 種（外来種
19 /合計種数 7%）、同ダムのダムサイト左岸において 48 科 132 種、外来種 24 種（外来種/合計
20 種数 18%）、長井ダムの原石山において 59 科 144 種、外来種 19 種（外来種/合計種数 13%）、
21 同ダムの建設発生土処理場において 83 科 265 種、外来種 27 種（外来種/合計種数 10%）、三
22 国川ダムの原石山跡地において 93 科 326 種、外来種 22 種（外来種/合計種数 7%）、ななせ
ダムの原石山跡において 54 科 173 種、外来種 42 種（外来種/合計種数 24%）、同ダムの材料
山跡において 78 科 233 種、外来種 45 種（外来種/合計種数 19%）が確認されました。

- 1 ① 十勝ダム（十勝ダ帯 20 ロック原石山）[ダム完成度：昭和 59 年度]
 2 ダム湖右岸に位置する大規模な法面です。現在はウシノケグサ類を主体とする牧草類に覆われ
 3 ています。昭和 52 年よりイネ科草本による緑化が行われた箇所です。

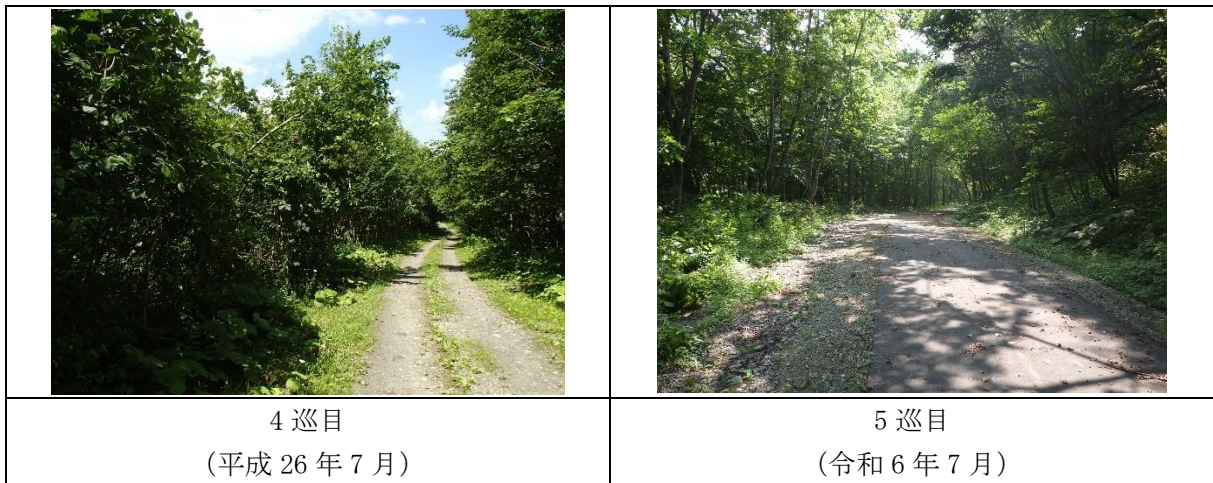


調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	十勝ダム	十勝ダ帯13 ロック原石山	4巡目 (H25.2013)	3科3種	1科4種	0科0種	4科18種	29科66種	37科91種	20	22%
			5巡目 (R5.2023)	5科6種	1科4種	1科1種	3科16種	31科66種	41科93種	17	18%

- 4
5
6
7
8
9

② 札内川ダム（十札ダ帯 25 仮置き場跡）[ダム完成年度：平成 10 年度]

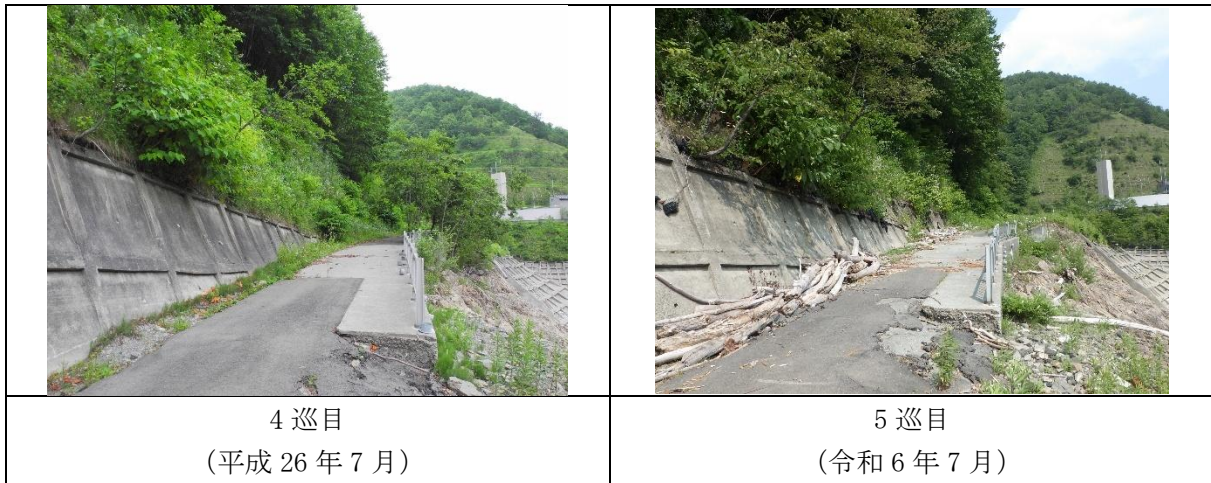
ダム建設工事時の仮置き場跡であり、オオバヤナギ-ドロノキ群集、ケヤマハンノキ群落が分布しています。左岸後背は急傾斜地となっており、アカトドマツ-ミズナラ群落が広がっています。



調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	札内川ダム	十札ダ帯20 仮置き場跡	4巡目 (H25.2013)	5科8種	1科4種	1科1種	5科31種	46科156種	58科200種	24	12%
			5巡目 (R5.2023)	12科22種	1科3種	3科3種	11科37種	50科167種	77科232種	16	7%

- 10
11
12

- 1 ③ 札内川ダム（十札ダ帯 27 ダムサイト左岸）[ダム完成年度：平成 10 年度]
 2 ダムサイト左岸に位置します。構造物、法面などの人工改変部の後背には針広混交林が広がっ
 3 ています。



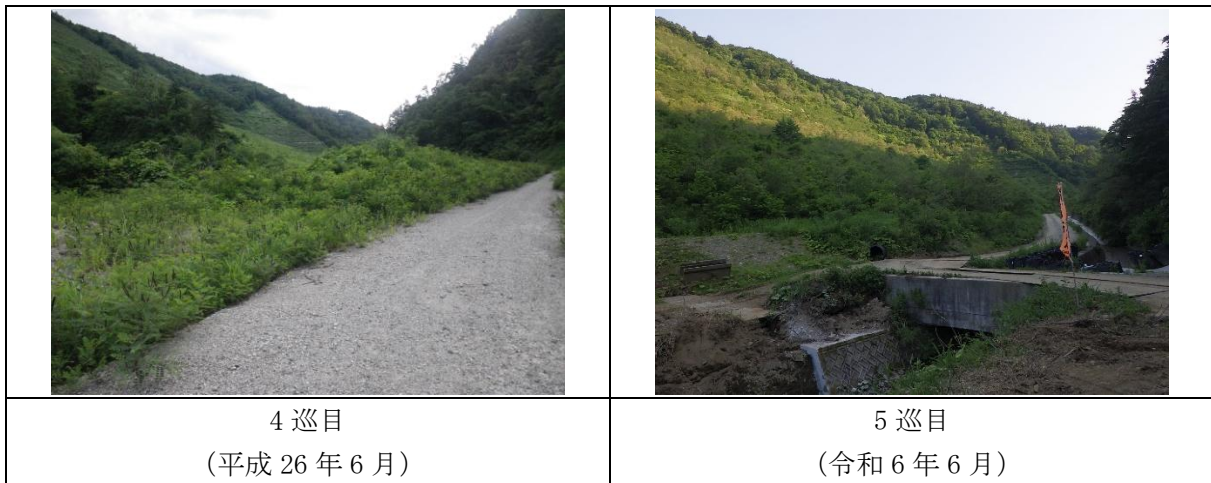
4 巡目
(平成 26 年 7 月)

5 巡目
(令和 6 年 7 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	札内川ダム	十札ダ帯3 ダムサイト左岸	4巡目 (H25.2013)	3科4種	1科1種	2科2種	4科19種	39科107種	49科133種	26	20%
		十札ダ帯27 ダムサイト左岸	5巡目 (R5.2023)	7科8種	0科0種	1科1種	3科20種	37科103種	48科132種	24	18%

- 4
5
6
7
8
9

- ④ 長井ダム（最長最 14 原石山）[ダム完成年度：平成 24 年度]
 原石山対策工事箇所、法面の一部に種子吹き付け等を実施しています。また、緑化用の種子
 を含まない客土を吹き付け、周辺の植物の自然侵入を待ち、在来植物による植生回復を図って
 います。



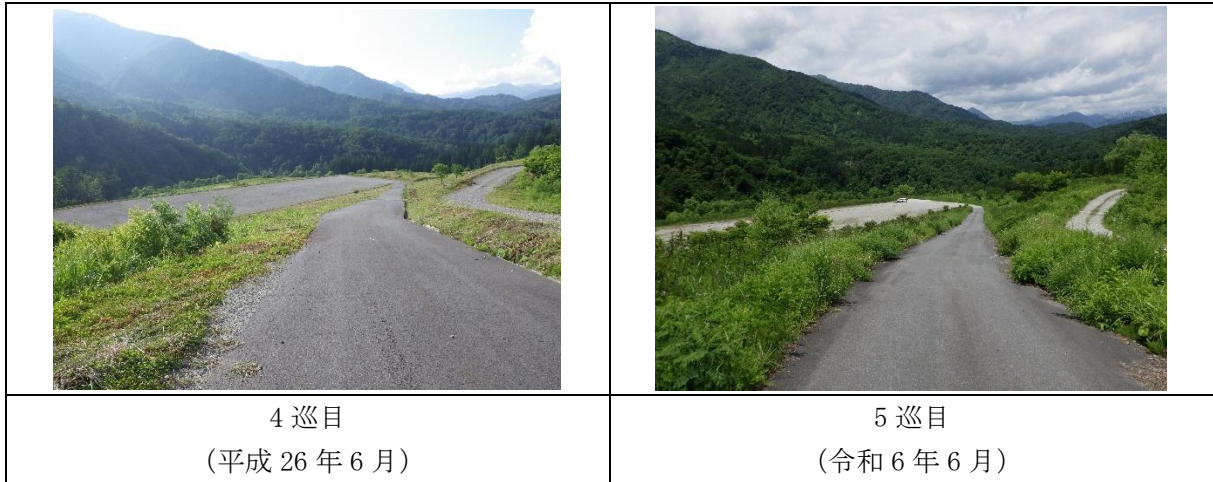
4 巡目
(平成 26 年 6 月)

5 巡目
(令和 6 年 6 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	長井ダム	最長最14 原石山	4巡目 (H25.2013)	6科10種	1科2種	2科2種	8科49種	30科95種	47科158種	24	15%
		最長最14 原石山	5巡目 (R5.2023)	8科13種	1科2種	2科2種	9科23種	39科104種	59科144種	19	13%

- 10
11

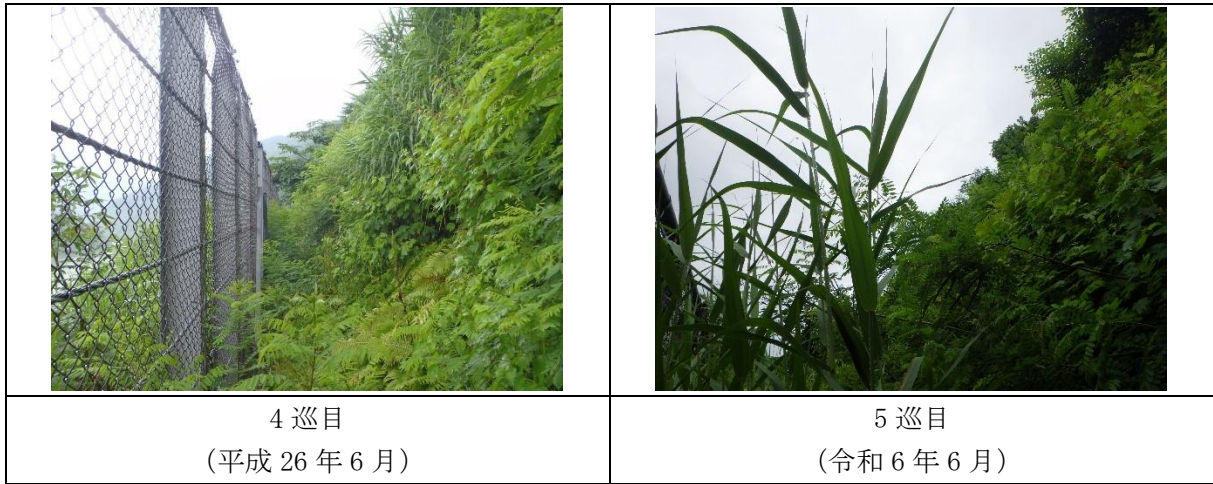
- 1 ⑤ 長井ダム（最長最 15 建設発生土処理場）[ダム完成年度：平成 24 年度]
 2 建設発生土処理場跡地で、法面の一部に種子吹き付けや植樹等を実施しています。また、緑化
 3 用の種子を含まない客土を吹き付け、周辺の植物の自然侵入を待ち、在来植物による植生回復を
 4 図っています。



調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物		種数	外来種/合計種数 (%)
地形改変	長井ダム	最長最15 建設発生土処理場	4巡目 (H25. 2013)	8科13種	2科4種	1科2種	7科47種	50科139種	68科205種	24	12%
		最長最15 建設発生土処理場	5巡目 (R5.2023)	12科21種	2科2種	3科3種	11科61種	55科178種	83科265種	27	10%

- 5
6
7
8

- ⑥ 三国川ダム（信三他 1 原石山跡地）[ダム完成年度：平成 4 年度]
 ダムサイト左岸の原石山の跡地であり、ハギ、ススキ、イタチハギ等で緑化されています。



調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物		種数	外来種/合計種数 (%)
地形改変	三国川ダム	信三他18 原石山跡地	4巡目 (H25. 2013)	10科26種	0科0種	3科4種	11科42種	51科158種	75科230種	25	11%
		信三他1 原石山跡地	5巡目 (R5.2023)	13科42種	1科1種	4科6種	12科64種	63科213種	93科326種	22	7%

- 9
10
11

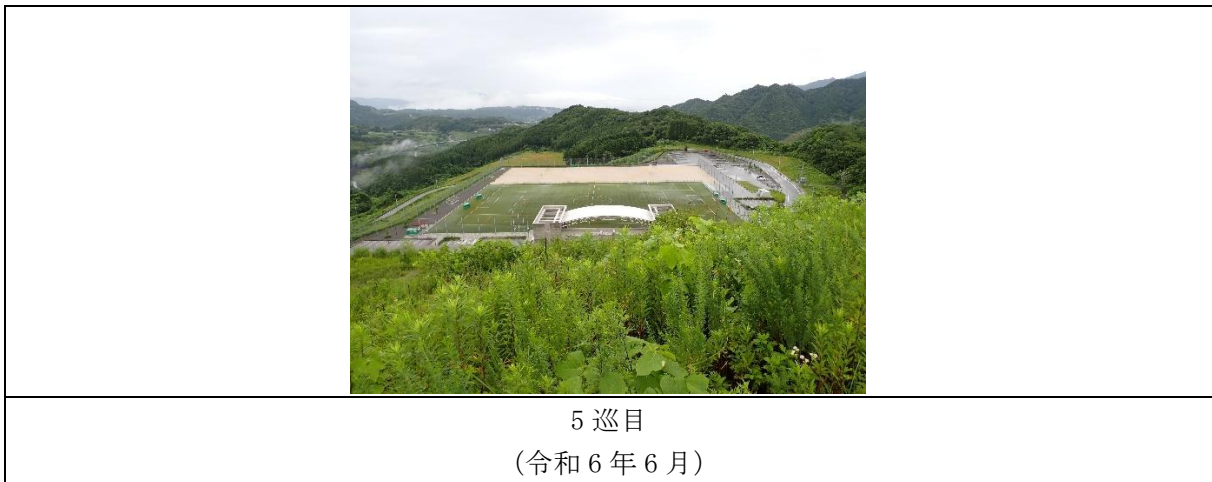
- 1 ⑦ ななせダム（大な他1 原石山跡）[ダム完成年度：平成31年度]
 2 ロック材の採取地として大規模な地形改変を受けた箇所です。元々は山林でしたが、現在は湖
 3 岸へと続く法面となっており、草本類や低木が生育しています。



調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	ななせダム	大な他1 原石山跡	5巡目 (R5.2023)	7科16種	0科0種	1科1種	4科38種	42科118種	54科173種	42	24%

4
5

- 6 ⑧ ななせダム（大な他2 材料山跡）[ダム完成年度：平成31年度]
 7 コア材の採取地として大規模な地形改変を受けた箇所です。元々は里山として利用されていま
 8 したが、現在はその跡地がのつはる天空広場として整備されています。



調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
地形改変	ななせダム	大な他2 材料山跡	5巡目 (R5.2023)	8科15種	2科3種	2科4種	10科55種	56科156種	78科233種	45	19%

9
10

2) 環境創出箇所における確認状況

・年数の経過とともに環境が変化している状況を確認

ダム建設に伴い整備された、環境創出箇所における植物の確認状況を整理しました。環境創出箇所の調査が行われたのは4ダムの4地区でした。サンルダムとななせダムについては、H24年度調査後の竣工であり改変箇所の調査が行われていないため、5巡目調査の結果のみを整理しました。

月山ダム、大町ダムでは確認種数の増加がみられ、特に大町ダムではシダ植物の種数が大きく増加しました。このことから、植生遷移による樹林化が進行し、林床創出がなされている可能性が考えられました。新規地点であるサンルダムでは、61科137種が、ななせダムでは66科158種が確認されました。ななせダムと大町ダムでは、重要種が確認されました。

① サンルダム（天サ他1 環境創出箇所（造成池））[ダム完成年度：令和元年度]

ダム事業の保全対象種の生育環境の保全・創出のために造成された造成池です。貯水地上流端のサンル川本川左岸に位置します。水路や止水域からなり、沈水植物や注水植物が生育しています。重要種は確認されず、オオハンゴンソウ、セイタカアワダチソウ、エゾノギシギシ等の外来植物が確認されました。



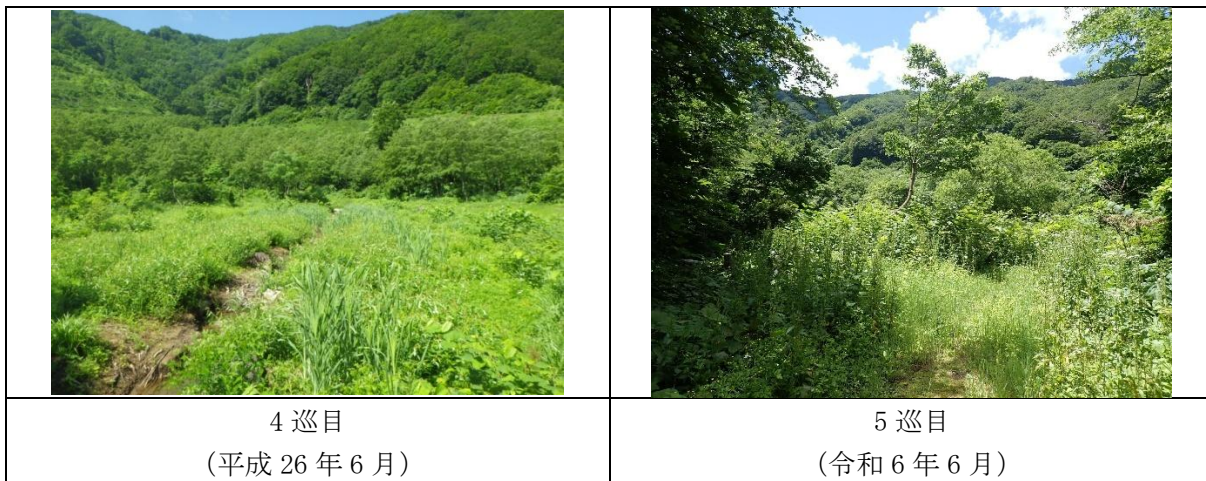
5巡目
(令和6年7月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
環境創出	サンルダム	天サ他1 環境創出箇所（造成池）	5巡目 (R5.2023)	7科16種	1科1種	3科3種	9科19種	41科98種	61科137種	17	12%

19

1 ② 月山ダム (赤梵月山 27 環境創出箇所(ノコトぶな公園)) [ダム完成年度：平成 14 年]
 2 元々は原石山として使用された後、植栽した場所で、公園として整備されています。昆虫類の
 3 調査地点にも設定されています。ブナを中心にアカシデ、オオヤマザクラ、トチノキ、ナナカマ
 4 ド、ホオノキ、ミズナラ、ヤマハンノキ、ヤマモミジなどが植栽されており、タニガワハンノキ
 5 の生育が目立ちます。人工的な水路もあり、周辺にはヤナギ類などがみられます。4 巡目調査で
 6 は 62 科 185 種、外来種 18 種が、5 巡目調査では 74 科 221 種、外来種 20 種が確認され、種数、
 7 外来種ともに増加しました。4 巡目調査から 5 巡目調査にかけて新規で増加した 36 種の内、34
 8 種は在来種で外来種数は 2 種でした。造成地などでは外来種の侵入・定着が進行しやすい傾向に
 9 ありますが、本調査地点では在来植物を主体とした種の増加が認められたことから、公園の整備
 10 を通して地域本来の植生回復を促す良好な生育環境が創出されたものと評価することができま
 11 す。

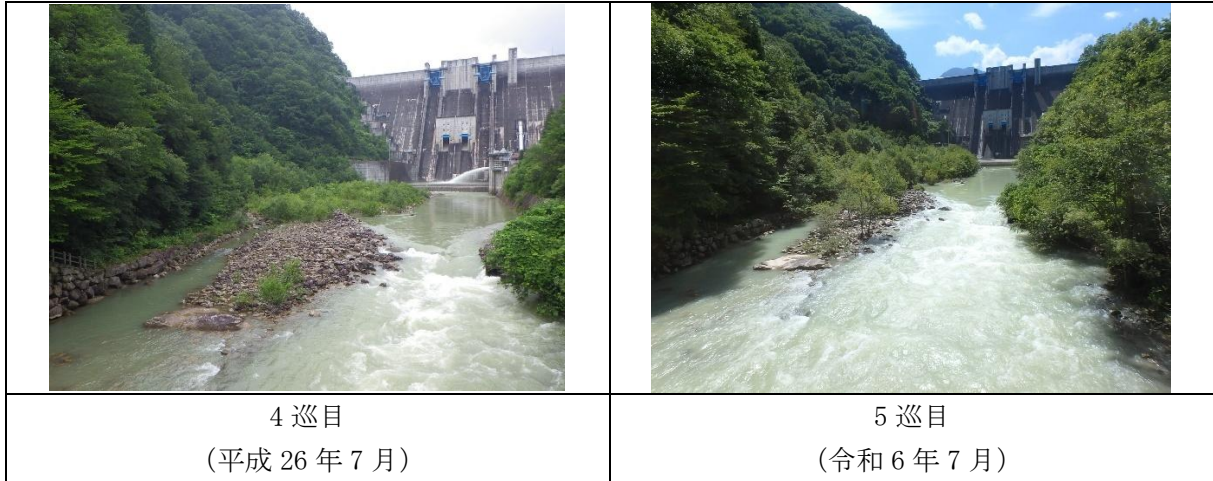
12 新たに確認された在来種として、ジュズスゲ、クロバナヒキオコシ等の林縁部を好む草本や、
 13 オニイタヤ、ツリバナ、キブシ、ウリノキ等の落葉広葉樹、ヤマブドウ、サルナシ等の藤本が挙
 14 げられ、遷移の進行がうかがえます。在来種の多様性同調査区では湿地環境が維持されており、
 15 ガマ、オノエヤナギ等の湿生植物が多く確認されましたが、4 巡目に続いて重要種は確認されま
 16 せんでした。同調査区ではカモガヤ、オニウシノケグサ、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨ
 17 モギ等の外来植物が確認されました。



18
19

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子 植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
環境創出	月山ダム	赤梵月山27 環境創出箇所(ノコトぶな公園)	4巡目 (H25. 2013)	7科13種	0科0種	3科4種	9科29種	43科139種	62科185種	18	10%
			5巡目 (R5.2023)	8科14種	0科0種	4科5種	11科35種	51科157種	74科221種	20	9%

- 1 ③ 大町ダム（ビオ-1 ビオトープ）[ダム完成年度：平成 14 年度]
 2 大町ダムのビオトープは、人工の中州と右岸に沿って沢水を利用した緩流および静水域で構成
 3 されています。4 巡目調査では 57 科 155 種、外来種 20 種が、5 巡目調査では 70 科 237 種、外来種
 4 18 種が確認され、種数が増加したものの、外来種数は減少しました。4 巡目調査では重要種
 5 としてホソバツルリンドウが確認されていましたが、5 巡目調査では確認されず、カワラニガナ
 6 が確認されました。同調査区ではハンノキ類やヤナギ類等の湿生植物が多く確認される一方で、
 7 ドイツトウヒといった木本や、オニウシノケグサ、イタチハギ等の外来植物が確認されました。



4 巡目
(平成 26 年 7 月)

5 巡目
(令和 6 年 7 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
環境創出	大町ダム	ビオ-1 ビオトープ	4巡目 (H25.2013)	3科5種	2科4種	3科3種	5科21種	44科122種	57科155種	20	13%
		ビオ-1 ビオトープ	5巡目 (R5.2023)	9科24種	2科7種	3科4種	5科26種	51科176種	70科237種	18	8%

8

9

- 10 ④ ななせダム（大な他 3 尾原ビオトープ）[ダム完成年度：平成 31 年度]
 11 環境創出箇所として池の造成、樹木の移植、動物の移動などを行った箇所です。今回が初回調
 12 査となります。重要種としてイトモ、ナガミノツルケマン、ミゾコウジュが確認されました。同
 13 調査区では、アゼナルコ等の湿生植物が確認される一方で、カモガヤ、オニウシノケグサ、セイ
 14 タカアワダチソウ等の外来植物が確認されました。



5 巡目
(令和 6 年 6 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
環境創出	ななせダム	大な他 3 尾原ビオトープ	5巡目 (R5.2023)	8科11種	1科1種	1科1種	13科41種	43科104種	66科158種	25	16%

15

1 (4) シカの食害状況

2 **・重要種の食害や、シカの定着が確認されている調査区においては不嗜好性植物が優占する**
 3 **ことを確認。**

4 近年全国的に生息域が拡大、被害が増加しているシカの食害について各ダムの被害状況
 5 を整理しました。

6 サンプルダムにおいては、エゾシカの採食により重要種の消失の可能性が確認されました。

7 今年度対象ダムでは顕著なシカの痕跡は認められませんでした。シカの定着が考えら
 8 れました。シカの定着が予想される調査区では、不嗜好性植物の優占が確認されました。
 9

10

ダム名	シカによる影響の概要
サンプルダム	R6調査地点はダム建設に伴う移植措置で移植したエゾヒメアマナの移植後7年目に該当する。移植地はエゾシカの食害や土壌乾燥等により移植後2年目より生育が確認されていない。なお、R3に周辺域で補足調査を実施した結果、シカリベツ川沿いの岩崖で本種の生育が確認された。
宮ヶ瀬ダム	東沢ビオトープにて今年度調査で未確認となったホソバガクビソウについては、過年度の確認頻度が少ないことから元々生育数が少ない可能性や、樹林内の路傍や林縁に生育する多年草という生態より林縁の環境変化やニホンジカの食害により消失した可能性も考えられる。
大町ダム	現地調査ではカモシカまたはニホンジカによる草本類の食害が見られたものの、散見される程度であった。食痕からはカモシカまたはシカの判別はできなかった。現状では、カモシカまたはニホンジカの食害による植物相及び植生への影響は軽微と考えられる。カモシカについては目撃やフィールドサインにより複数例が確認されたが、ニホンジカの確認は少ない状況であった（明ら
長安口ダム	シカの食害については、調査時に葉の食害などの顕著な痕跡は見られなかったが、下層植生が少ない場所やシカの不嗜好植物であるオオバノイノモトソウ、ナガバヤブマオ、マツカゼソウなどが局所的に多い場所などが存在した。

11

12

13

表 4-24 地形改変箇所・環境創出箇所・水位変動域における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子 植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	十勝ダム	十十ダ帯13 ロック原石山	4巡目 (H25. 2013)	3科3種	1科4種	0科0種	4科18種	29科66種	37科91種	20	22%
			5巡目 (R5.2023)	5科6種	1科4種	1科1種	3科16種	31科66種	41科93種	17	18%
	札内川ダム	十札ダ帯20 仮置き場跡	4巡目 (H25. 2013)	5科8種	1科4種	1科1種	5科31種	46科156種	58科200種	24	12%
			5巡目 (R5.2023)	12科22種	1科3種	3科3種	11科37種	50科167種	77科232種	16	7%
		十札ダ帯3 ダムサイト左岸	4巡目 (H25. 2013)	3科4種	1科1種	2科2種	4科19種	39科107種	49科133種	26	20%
			5巡目 (R5.2023)	7科8種	0科0種	1科1種	3科20種	37科103種	48科132種	24	18%
	長井ダム	最長最14 原石山	4巡目 (H25. 2013)	6科10種	1科2種	2科2種	8科49種	30科95種	47科158種	24	15%
			5巡目 (R5.2023)	8科13種	1科2種	2科2種	9科23種	39科104種	59科144種	19	13%
		最長最15 建設発生土処理場	4巡目 (H25. 2013)	8科13種	2科4種	1科2種	7科47種	50科139種	68科205種	24	12%
			5巡目 (R5.2023)	12科21種	2科2種	3科3種	11科61種	55科178種	83科265種	27	10%
	三国川ダム	信三他18 原石山跡地	4巡目 (H25. 2013)	10科26種	0科0種	3科4種	11科42種	51科158種	75科230種	25	11%
			5巡目 (R5.2023)	13科42種	1科1種	4科6種	12科64種	63科213種	93科326種	22	7%
	ななせダム	大な他1 原石山跡	5巡目 (R5.2023)	7科16種	0科0種	1科1種	4科38種	42科118種	54科173種	42	24%
			5巡目 (R5.2023)	8科15種	2科3種	2科4種	10科55種	56科156種	78科233種	45	19%
環境創出	サンルダム	天サ他1 環境創出箇所(造成池)	5巡目 (R5.2023)	7科16種	1科1種	3科3種	9科19種	41科98種	61科137種	17	12%
			4巡目 (H25. 2013)	7科13種	0科0種	3科4種	9科29種	43科139種	62科185種	18	10%
	月山ダム	赤芫月山27 環境創出箇所(ノコトぶな公園)	5巡目 (R5.2023)	8科14種	0科0種	4科5種	11科35種	51科157種	74科221種	20	9%
			4巡目 (H25. 2013)	3科5種	2科4種	3科3種	5科21種	44科122種	57科155種	20	13%
	大町ダム	ピオ-1 ピオトープ	5巡目 (R5.2023)	9科24種	2科7種	3科4種	5科26種	51科176種	70科237種	18	8%
			5巡目 (R5.2023)	8科11種	1科1種	1科1種	13科41種	43科104種	66科158種	25	16%
水位変動域	岩尾内ダム	旭天岩3 水位変動域(似峡川流入部近傍)	4巡目 (H25. 2013)	4科5種	1科1種	1科1種	10科49種	29科94種	45科150種	40	27%
			5巡目 (R5.2023)	3科4種	1科1種	1科1種	8科38種	33科95種	46科139種	42	30%
	サンルダム	天サ湖5 水位変動域(ダム湖中流部右岸)	5巡目 (R5.2023)	2科3種	0科0種	0科0種	3科17種	22科54種	27科74種	22	30%
			4巡目 (H25. 2013)	6科8種	0科0種	1科1種	8科25種	24科51種	39科85種	15	18%
	月山ダム	赤芫月山6 水位変動域(中の平)	5巡目 (R5.2023)	4科4種	0科0種	1科1種	6科18種	21科45種	32科68種	12	18%
			5巡目 (R5.2023)	7科17種	1科2種	2科3種	5科11種	35科70種	50科103種	10	10%
	宮ヶ瀬ダム	水位1 南山橋周辺(伐採スギ植林)	5巡目 (R5.2023)	4科5種	2科3種	3科4種	3科14種	34科73種	46科99種	16	16%
			4巡目 (H25. 2013)	4科5種	0科0種	0科0種	4科26種	23科61種	31科92種	10	11%
	三国川ダム	信三ダ8 水位変動域	4巡目 (H25. 2013)	3科5種	1科1種	1科1種	4科21種	32科83種	41科111種	13	12%
			5巡目 (R5.2023)	3科5種	1科1種	1科1種	4科21種	32科83種	41科111種	13	12%

2

3

4 巡目調査が行われていないダムは5 巡目調査の結果のみを整理した。

4

5

1
2

表 4-25 林縁部における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
林縁部	丸頭竜ダム	九九周9 No.7	4巡目 (H25.2013)	11科27種	3科6種	3科4種	16科68種	66科243種	99科348種	32	9%
		九九周9 No.7	5巡目 (R5.2023)	12科31種	3科5種	3科4種	11科83種	66科259種	95科852種	40	10%
	真名川ダム	九真周2 No.6	4巡目 (H25.2013)	12科29種	3科3種	3科8種	10科55種	68科259種	96科354種	25	7%
		九真周2 No.6	5巡目 (R5.2023)	14科40種	2科3種	3科8種	12科65種	68科274種	99科390種	26	7%

3
4
5

表 4-26 第一群落における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部被子植物	単子葉植物	真正双子葉植物			
第一群落	岩尾内ダム	旭天岩8 樹林内 (第1位群落)	4巡目 (H25.2013)	12科30種	1科4種	2科2種	11科61種	56科192種	82科289種	36	12%
		天岩周2 樹林内 (第1位群落)	5巡目 (R5.2023)	11科25種	1科6種	4科5種	10科55種	53科189種	79科280種	35	13%
	サンルダム	天サ周3 樹林内 (第1位群落:アカトマツ植林)	5巡目 (R5.2023)	7科16種	1科1種	3科3種	9科19種	41科98種	61科137種	17	12%
	白川ダム	8 最白最8	4巡目 (H25.2013)	13科32種	3科4種	4科5種	12科57種	62科196種	94科294種	7	2%
		最白最8 面積順位第1位 (コナラ群落)	5巡目 (R5.2023)	10科26種	3科4種	4科5種	13科66種	61科201種	91科302種	26	9%
	宮ヶ瀬ダム	群落1 第1位スギ・ヒノキ植林	4巡目 (H25.2013)	12科49種	3科5種	6科10種	10科61種	69科257種	100科382種	20	5%
		群落1 第1位スギ・ヒノキ植林	5巡目 (R5.2023)	11科47種	3科8種	5科11種	10科44種	62科236種	91科346種	26	8%
	大町ダム	周林-3 クリ-ミズナラ群落分布域	4巡目 (H25.2013)	14科53種	3科8種	3科6種	10科36種	61科251種	91科354種	17	5%
		周林-3 クリ-ミズナラ群落分布域	5巡目 (R5.2023)	17科50種	3科9種	4科8種	12科42種	64科269種	100科378種	17	4%
	丸頭竜ダム	九九周1 No.2	4巡目 (H25.2013)	13科33種	2科4種	5科9種	12科58種	69科264種	101科368種	14	4%
		九九周1 No.2	5巡目 (R5.2023)	13科41種	1科1種	5科9種	11科52種	70科272種	100科375種	17	5%
	真名川ダム	九真周3 No.1	4巡目 (H25.2013)	11科33種	2科2種	4科7種	9科61種	73科263種	99科366種	18	5%
		九真周3 No.1	5巡目 (R5.2023)	11科43種	2科4種	3科7種	10科58種	75科266種	101科378種	17	4%
	長安口ダム	那長周5 樹林1 (スギ・ヒノキ植林)	4巡目 (H25.2013)	16科65種	3科7種	4科11種	12科27種	51科142種	86科252種	8	3%
		那長周5 樹林1 (スギ・ヒノキ植林)	5巡目 (R5.2023)	16科73種	3科7種	4科13種	11科30種	49科135種	83科258種	9	3%
	ななせダム	大な周2 クスギ・コナラ林	5巡目 (R5.2023)	14科28種	1科2種	4科9種	9科35種	54科145種	82科219種	16	7%

6
7

4 巡目調査が行われていないダムは5 巡目調査の結果のみを整理した。

表 4-28 令和6年度河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕とりまとめ対象ダム 現地調査実施状況（植物・ダム湖環境基図1）

地方	ダム名	現地調査実施日	植物調査（植物相調査）														基図作成調査										水域調査						
			調査時期						調査地区数								植生図作成調査				群落組成調査			植生断面調査									
																	陸域（植生図作成）調査		調査時期		調査時期		調査地点数		調査時期			調査地点数					
			早 春	初 春	春	初 夏	夏	秋	流入 部	湖岸 部	水位 変動 域	エ コ ト ン	樹 林 内	そ の 他	流入 河川	下流 河川	地形 変化 箇所	環 境 創 出 箇所	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	調査 地点 数		春	夏	秋	冬	調査 地点 数	
北海道	岩尾内ダム	【植物】令和6年6月3日～6日、8月5日～8日、9月24日～27日 【植生図作成】令和6年10月1日～3日 【群落組成】令和6年8月19日～23日、9月25日、10月1日 【植生断面】令和6年8月20日～21日、23日	-	-	○	-	○	○	8	1	-	1	1	3	-	1	1	-	-	-	-	○	-	-	○	○	56	-	○	-	-	2	-
	サンルダム	【植物】令和6年5月20日～23日、7月22日～23日、25日、9月9日～11日 【植生図作成】令和6年7月24日～26日、9月10日～11日 【群落組成】令和6年8月22日～23日、26日～28日 【植生断面】令和6年8月21日～22日	-	-	○	-	○	○	9	1	1	1	1	2	-	1	1	-	1	-	○	○	-	-	○	-	22	-	○	-	-	3	-
	鹿ノ子ダム	【植生図作成】令和6年9月18日～19日 【群落組成】令和6年8月26日～28日、9月18日～19日 【植生断面】令和6年8月29日、9月17日～18日 【水域】9月9日～13日、11月19日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	41	-	○	○	-	3	○	
	十勝ダム	【植物】令和6年5月27日～29日、7月8日～12日、9月9日～11日 【植生図作成】令和6年9月2日～6日 【群落組成】令和6年9月5日 【植生断面】令和6年8月5日～8日	-	-	○	-	○	○	8	1	2	-	-	-	1	2	1	1	-	-	-	○	-	-	-	○	1	-	○	-	-	3	-
	札内川ダム	【植物】令和6年6月3日～7日、7月16日～19日、9月9日～13日 【植生図作成】令和6年10月24日～25日 【群落組成】未実施 【植生断面】令和6年9月4日～5日	-	-	○	-	○	○	11	1	-	-	-	-	3	2	3	2	-	-	-	○	-	-	-	-	0	-	-	○	-	3	-
東北	森吉山ダム	【植生図作成】令和6年9月9日～13日 【群落組成】令和6年9月9日～13日 【植生断面】令和6年9月9日～13日 【水域】令和6年10月21日～25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	12	-	-	○	-	4	○	
	白川ダム	【植物】令和6年6月10日、12日、9月24日、26日	-	-	-	○	-	○	5	-	-	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	長井ダム	【植物】令和6年6月11日～12日、9月25日、10月3日	-	-	-	○	-	○	7	1	-	-	-	1	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寒河江ダム	【植物】令和6年6月13日、9月26日～27日	-	-	-	○	-	○	5	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
関東	月山ダム	【植物】令和6年5月21日～23日、6月25日～27日、9月25日～27日、10月7日	-	○	○	-	-	○	11	-	-	1	1	3	-	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	宮ヶ瀬ダム	【植物】令和6年5月27日～30日、6月5日～6日、7月8日～12日、10月14日～10月18日	-	-	○	-	○	○	17	2	-	2	2	4	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表 4-28 令和6年度河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕とりまとめ対象ダム 現地調査実施状況（植物・ダム湖環境基図2）

地方	ダム名	現地調査実施日	植物調査（植物相調査）														基図作成調査										水域調査							
																	陸域（植生図作成）調査																	
			調査時期						調査地区数								植生図作成調査				群落組成調査			植生断面調査										
			早 春	初 春	春	初 夏	夏	秋		ダム湖			ダム湖周辺			流入 河川	下流 河川	その他		調査時期				調査時期				調査 地点 数	調査時期				調査 地点 数	
流入 部	湖岸 部	水位 変動 域								エコ トーン	樹林 内	その他	地形 変化 箇所	環境 創出 箇所	春			夏	秋	冬	春	夏	秋	春	夏	秋	冬							
北陸	大町ダム	【植物】令和6年5月15日～17日、6月12日、7月16日～19日、8月2日、9月24日～27日	-	-	○	-	○	○	5	-	-	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三国川ダム	【植物】令和6年5月13日～17日、7月1日～5日、9月16日～20日	-	-	○	-	○	○	10	-	-	1	1	3	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	宇奈月ダム	【植生図作成】令和6年9月30日～10月3日 【群落組成】令和6年9月30日～10月3日 【植生断面】令和6年9月30日～10月3日 【水域】令和6年9月30日～10月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	2	-	-	○	-	2	○		
中部	矢作ダム	【植物】令和6年5月22日～24日、9月30日～10月2日 【植生図作成】令和6年9月30日～10月4日、31日 【群落組成】令和6年9月30日～10月4日、31日 【植生断面】令和6年9月30日～10月4日、31日 【水域】令和6年9月30日～10月4日、31日	-	-	○	-	-	○	6	-	-	-	1	2	-	2	1	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	7	-	-	○	-	3	○
	蓮ダム	【植生図作成】令和6年9月17日～20日 【群落組成】令和6年9月17日～20日 【植生断面】令和6年9月17日～20日 【水域】令和6年9月17日～20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6	-	-	○	-	3	○		
近畿	九頭竜ダム	【植物】令和6年5月27日～29日、6月24日～26日、8月5日～7日、10月8日～10日	-	-	○	○	○	○	9	-	-	-	-	3	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	真名川ダム	【植物】令和6年5月27日～29日、6月24日～26日、8月5日～7日、10月8日～10日	-	-	○	○	○	○	5	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中国	苫田ダム	【植生図作成】令和6年10月1日～4日 【群落組成】令和6年10月1日～4日 【植生断面】令和6年10月1日～2日 【水域】令和6年10月1日～2日、10月29日～30日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	7	-	-	○	-	5	○		
	弥栄ダム	【植生図作成】令和6年9月17日～20日、24日～26日 【群落組成】令和6年9月19日～20日 【植生断面】令和6年9月24日～25日 【水域】令和6年10月31日～11月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	2	-	-	○	-	3	○		
四国	長安ロダム	【植物】令和6年5月29日、31日、6月3日～4日、9月18日～19日、10月15日～17日、11月18日～19日	-	-	○	-	-	○	5	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	鹿野川ダム	【植生図作成】令和6年10月4日、8日～11日、23日 【群落組成】令和6年10月4日、8日～11日、23日 【植生断面】令和6年10月4日、8日～11日、23日 【水域】令和6年11月20日～22日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	5	-	-	○	-	3	○		
	野村ダム	【植生図作成】令和6年10月1日～3日、22日 【群落組成】令和6年10月1日～3日、22日 【植生断面】令和6年10月1日～3日、22日 【水域】令和6年11月19日～20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	5	-	-	○	-	3	○		
九州	ななせダム	【植物】令和6年6月24日～27日、7月5日、10月1日～2日、10月4日、8日～9日	-	-	○	○	-	○	13	2	1	-	-	3	-	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

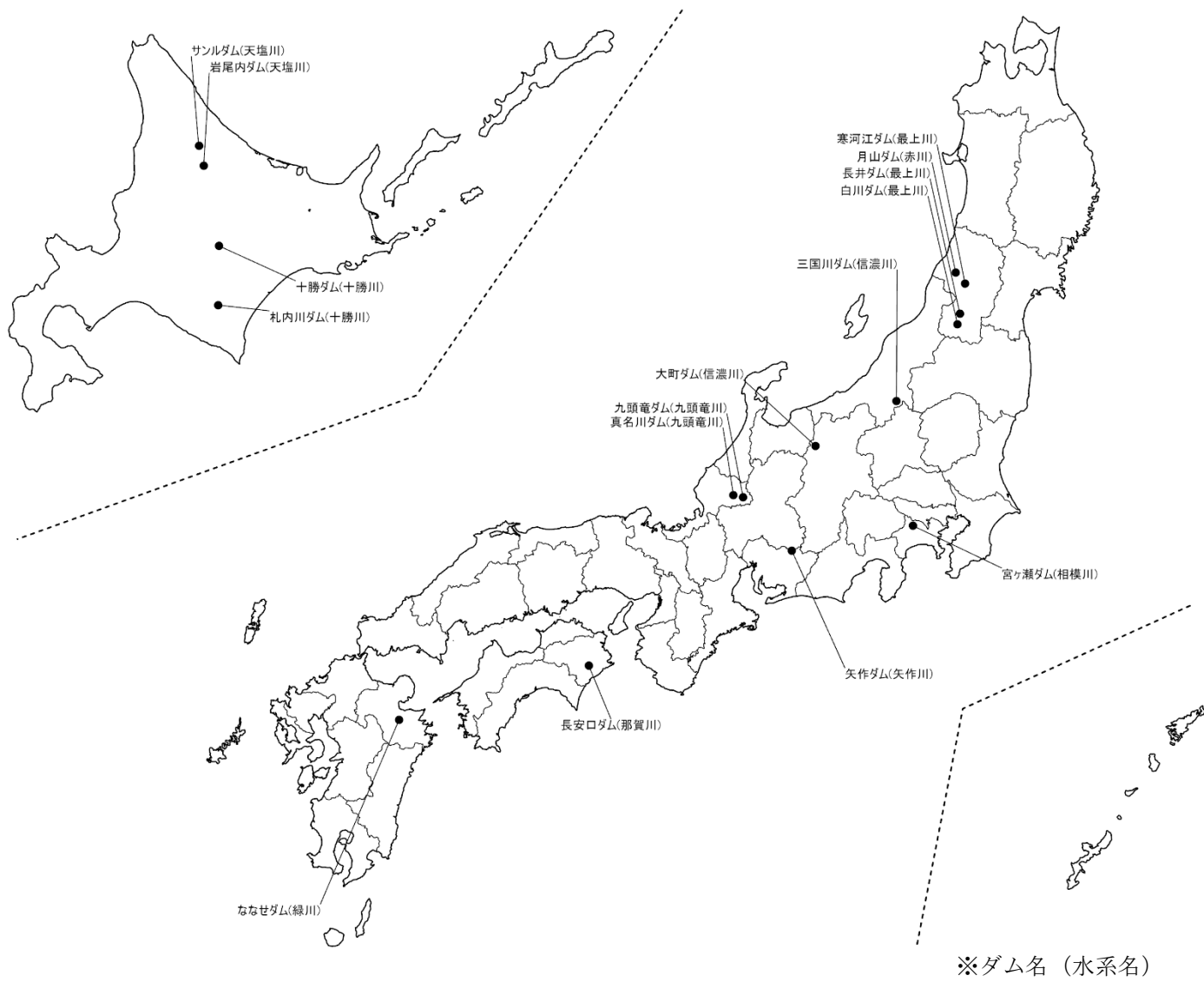


図 4-58 令和 6 年度 とりまとめ対象水系 (ダム) 位置図 (植物)

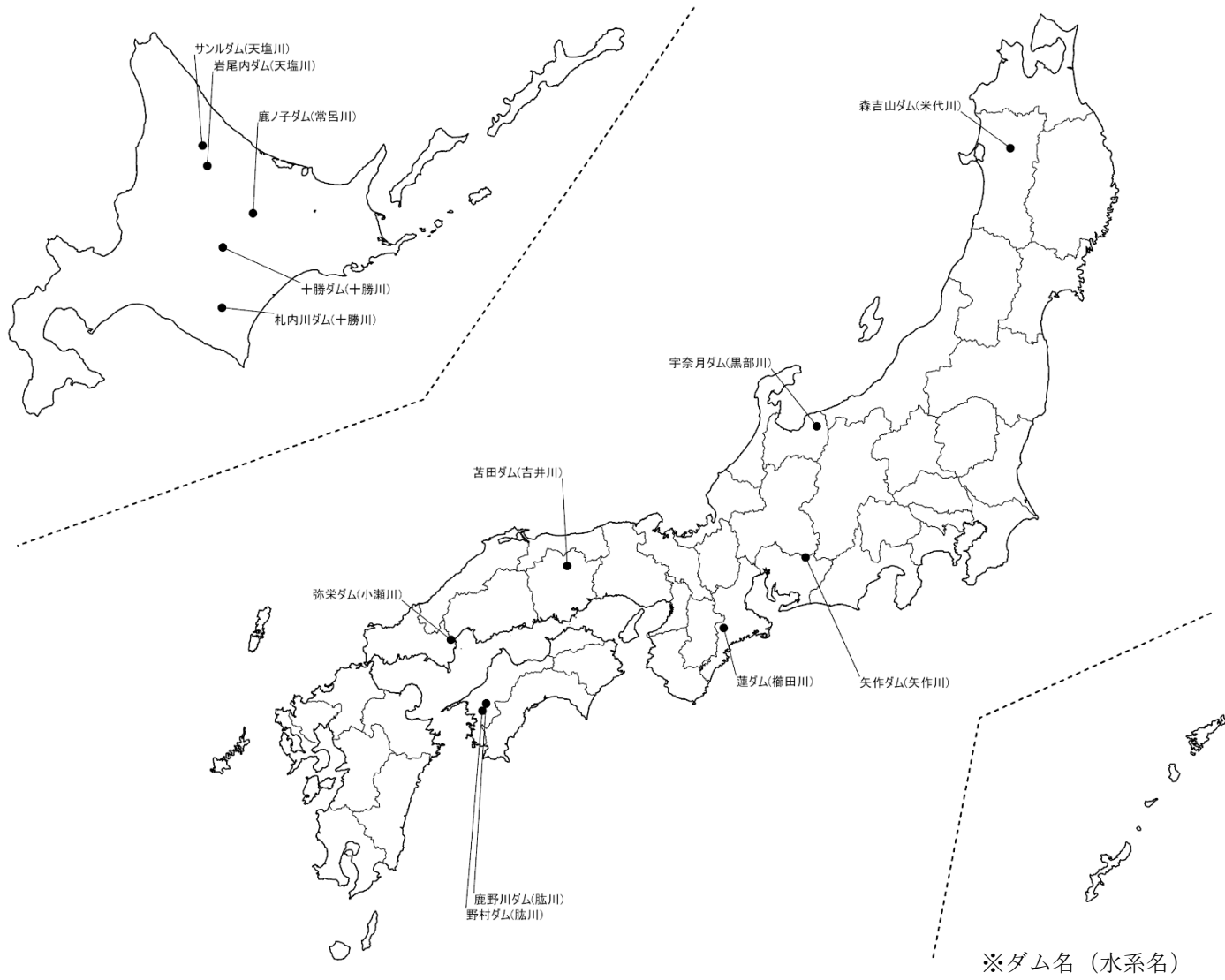


図 4-59 令和 6 年度 とりまとめ対象水系 (ダム) 位置図 (基図)